

香芝市市民アンケート

【結果報告書】(案)

令和7年3月
香芝市

目次

1. 調査の概要	1
(1)調査の目的	2
(2)実施概要	2
(3)報告書の見方	2
2. 調査結果	3
I. 定住意向について	4
II. 香芝市が取り組む施策の評価について	18
III. 市民協働のまちづくりについて	36
IV. 地方創生の取り組み(就労・雇用、子育てなど)について	62
V. あなたご自身のことについて	90
VI. 「暮らしやすさ」や「幸福感(Well-Being)」について	95

1. 調査の概要

(1)調査の目的

「第5次香芝市総合計画」の策定にあたり、市の施策に対する市民の評価、また市民の意識や生活スタイル等を把握し、今後の取組の検討資料を得るため調査を実施しました。

(2)実施概要

ア. 調査対象

香芝市在住の16歳以上の市民、2,000人を無作為抽出

イ. 調査方法

郵送による配布・回収

ウ. 調査期間

令和6年5月31日(金)～令和6年6月16日(日)

エ. 調査票回収状況

有効回収数は845件で、有効回収率は42.3%

(3)報告書の見方

○比率は全て、各設問の集計対象者数(副問では当該設問回答対象者数)に対する百分率(%)を表しています。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問(複数回答設問)では、百分率(%)の合計は、100.0%を超える場合があります。

○百分率(%)は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しました。1つだけ回答を求める設問(単数回答設問)では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率(%)の合計が100.0%にならない場合があります。

○図表中の「n」は集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を示しています。

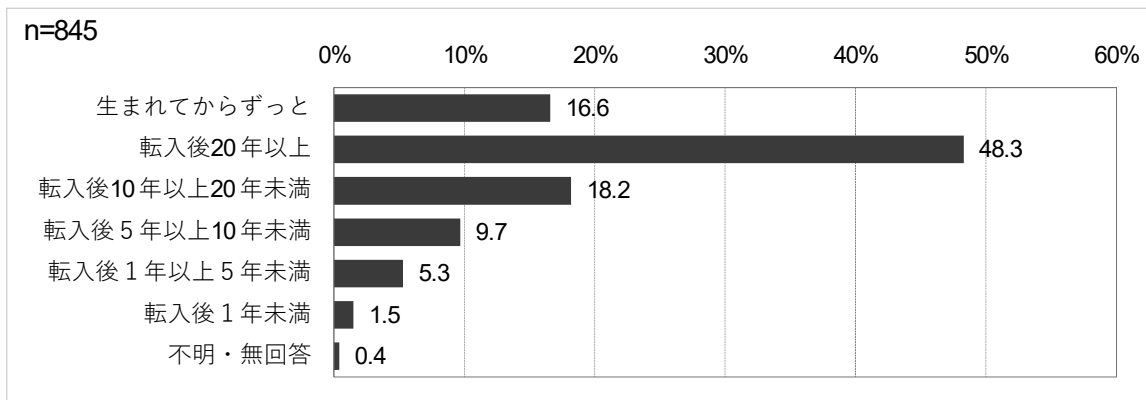
2. 調査結果

I. 定住意向について

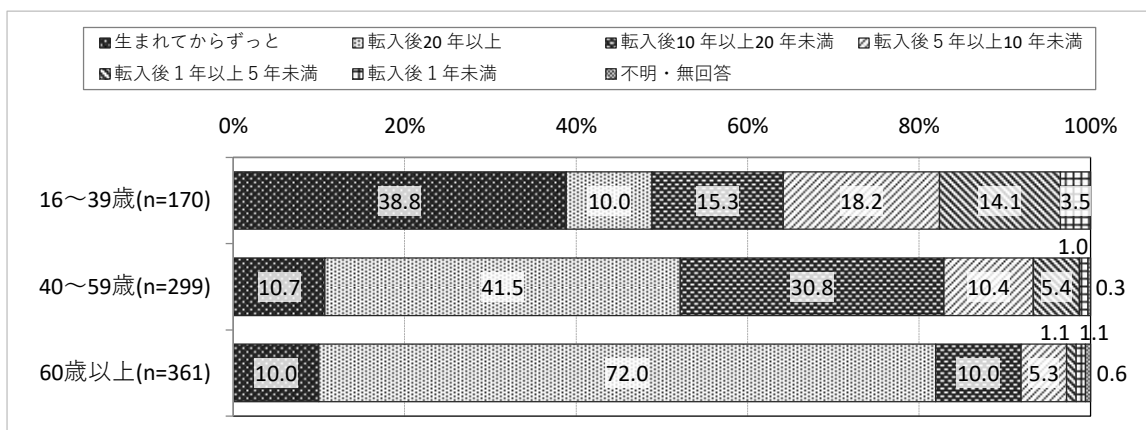
問1 あなたは、香芝市に何年お住まいですか。(1つに○)

【全体結果】

「転入後20年以上」が48.3%で最も多く、次いで、「転入後10年以上20年未満」が18.2%が続いています。年齢別にみると、「生まれてからずっと」では16～39歳が40歳以上より回答割合が高くなっています。また、「転入後20年以上」では、年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。



■年齢別

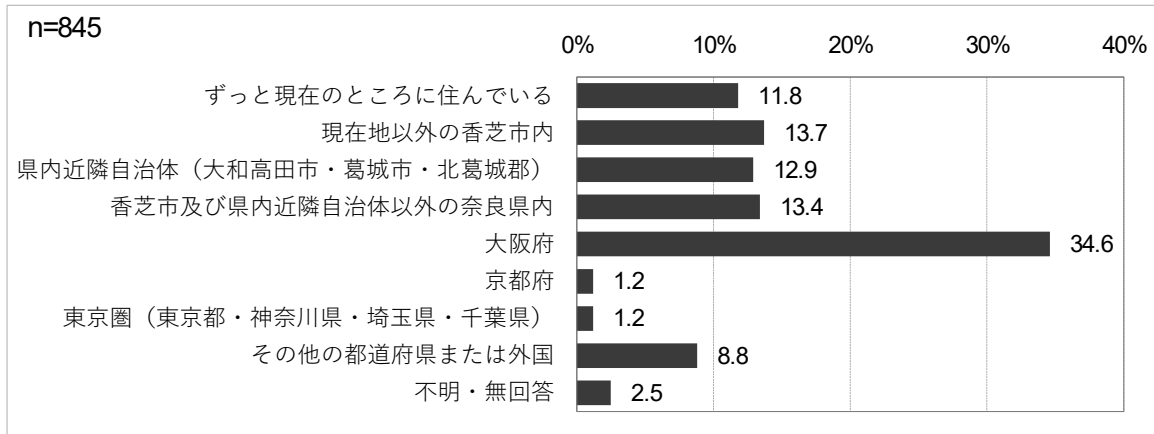


問2 現在のお住まいに来られる以前はどこに住んでおられましたか。(1つに○)

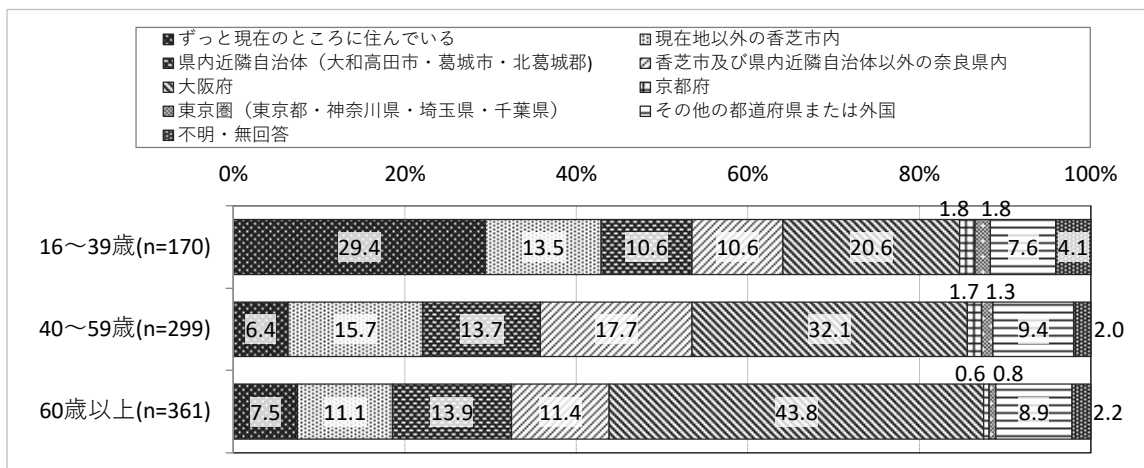
【全体結果】

「大阪府」が34.6%で最も多く、次いで「現在地以外の香芝市」が13.7%、「香芝市及び県内近隣自治体以外の奈良県内」が13.4%が続いています。

年齢別にみると、本市へ転入前の居住地は、奈良県以外では、どの年齢も大阪府が多くなっています。



■年齢別

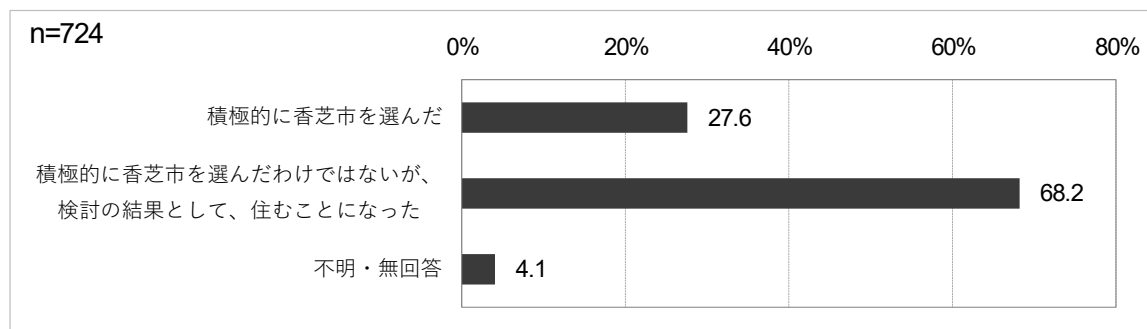


問3 問2で「1.」以外に○をつけた方のみお答えください。

あなたはどのような経緯で香芝市をお住まいに選びましたか。(1つに○)

【全体結果】

「積極的に香芝市を選んだわけではないが、検討の結果として、住むことになった」が68.2%で最も多くなっています。



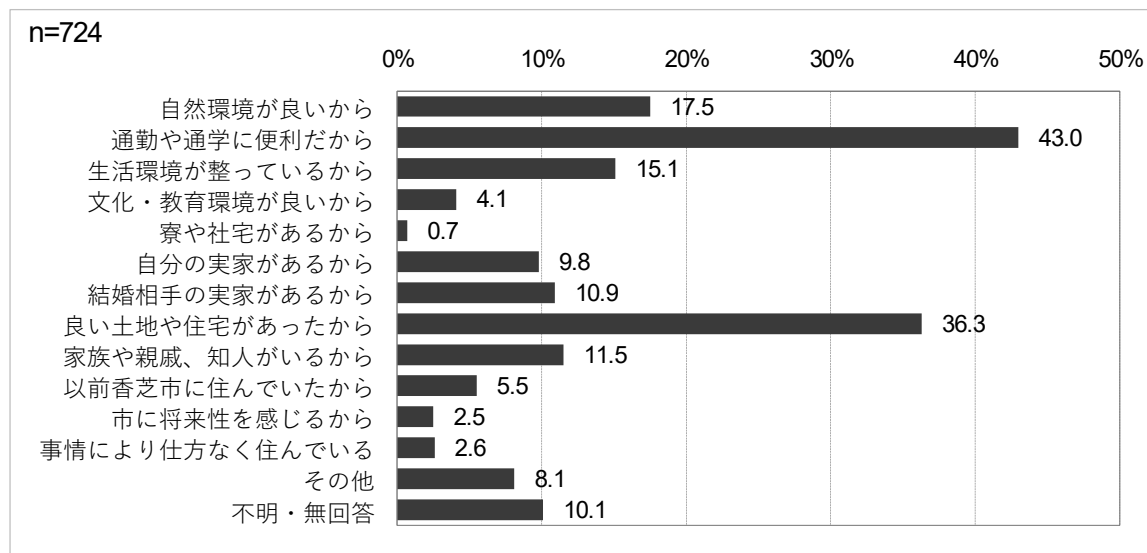
問4 問2で「1.」以外に○をつけた方のみお答えください。

あなたが香芝市をお住まいに選んだ理由は何ですか。(あてはまるもの3つ以内に○)

【全体結果】

「通勤や通学に便利だから」が43.0%で最も多く、次いで「良い土地や住宅があったから」が36.3%で続いています。

年齢別にみると、16～39歳、40～59歳で、「通勤や通学に便利だから」が最も回答割合が高くなっている一方で、60歳以上では、「良い土地や住宅があったから」が最も回答割合が高くなっています。

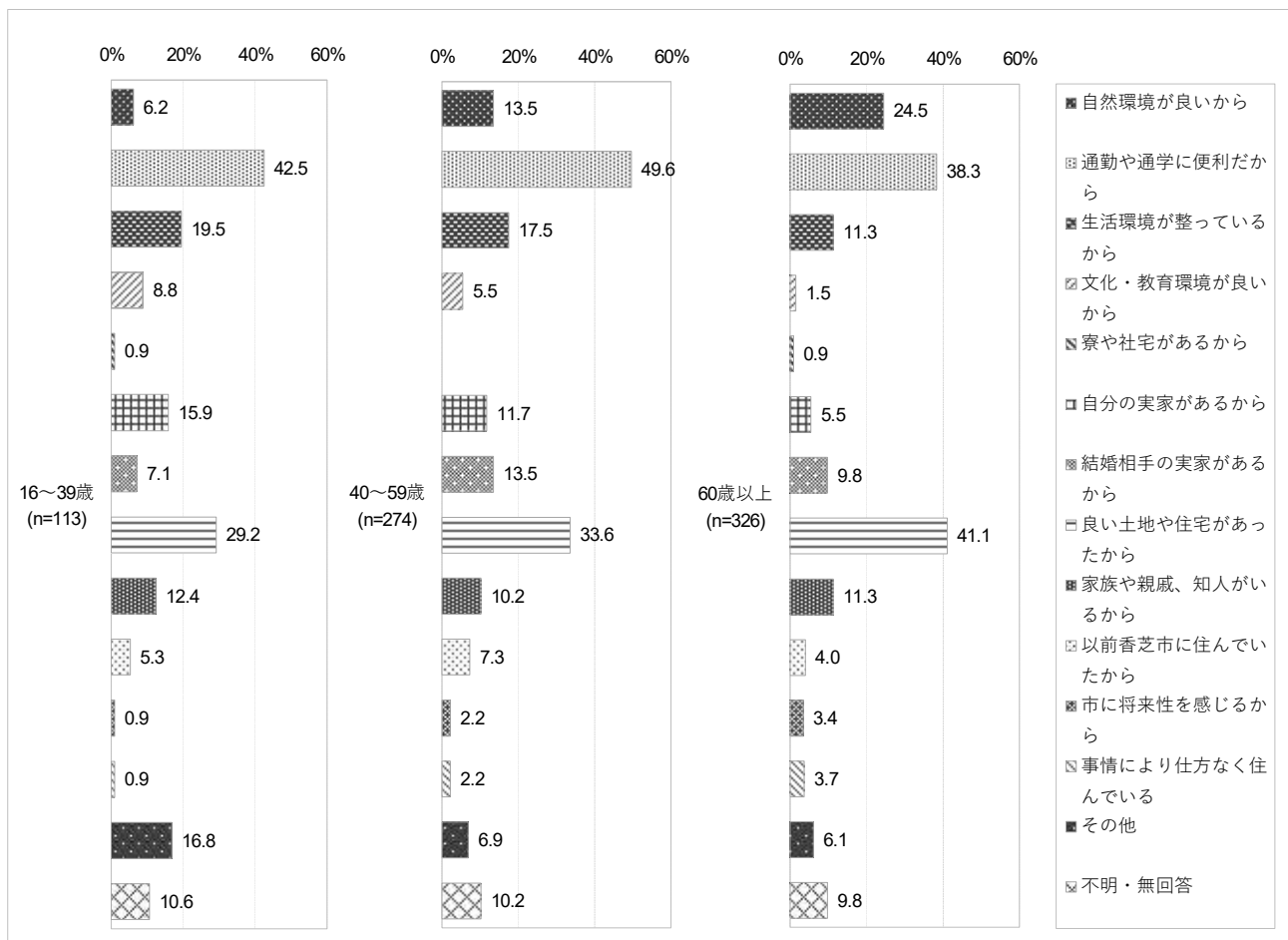


●「13.その他」回答一覧

内容	件数
親・実家の都合	13
結婚相手・パートナーの都合	7
交通の利便性が良いから	5
実家に近いから	4
実家と通勤場所に近いから	3
人口が増加していたから	2

仕事の都合	2
土地を購入したから	2
広い庭がほしかったから	1
犬を飼えるハイツがあったから	1
公営住宅があったから	1
知人の居住地と近いから	1
香芝市が好きだから	1
歴史・文化が深いから	1
災害リスクが低そうだから	1
子どもを育てるのに良いと思ったから	1
地元に帰りたくなったから	1
指定ごみ袋が不要だから	1
大阪より地価が安価だから	1
地元と似ていると思ったから	1
同居の為	1

■年齢別



問5 すべての方にうかがいます。

香芝市に住んでいて、①よかったことは何ですか。また、②困ることは何ですか。よかったことと困ることのそれぞれについて、下からあてはまるもののすべての番号を書いてください。

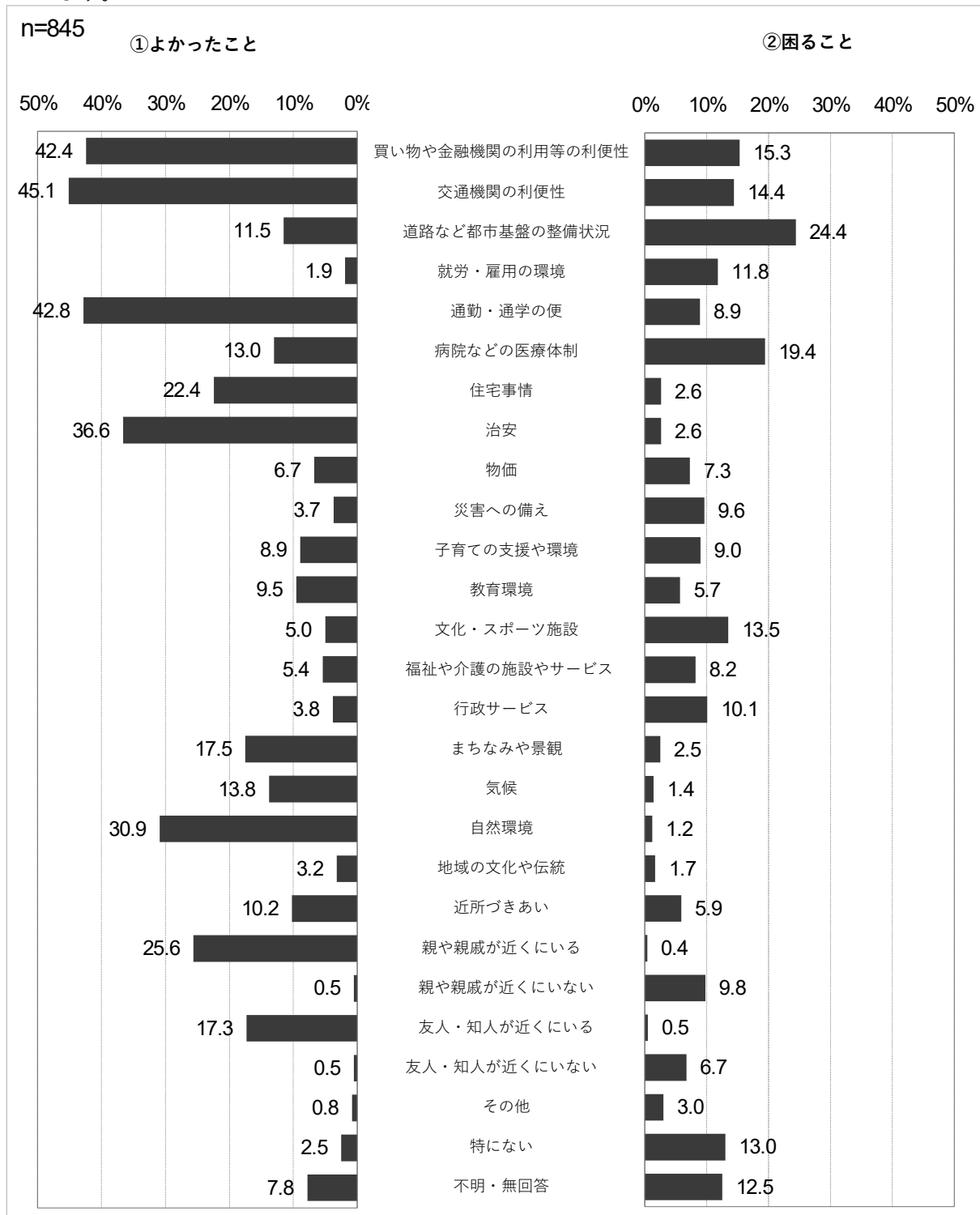
【全体結果】

① よかったこと

「交通機関の利便性」が45.1%で最も多く、次いで「通勤・通学の便」が42.8%、「買い物や金融機関の利用等の利便性」が42.4%で続いています。

② 困ること

「道路などの都市基盤の整備状況」が24.4%で最も多く、次いで「病院などの医療体制」が19.4%で続いています。



●「25.その他」回答一覧

	内容	件数
①よかったこと	大阪圏に近い	1
	ごみ袋が無料等、ゴミの捨てやすさ	1
	デマンド・コミュニティバス	1
	子どもが香芝市に住んでいる	1
	野菜・いちごがおいしい	1
	急行が止まる五位堂駅があるから	1
	二上山など自然豊か	1
②困ること	坂道が多く困っている	2
	下水道がない、浄化槽の汚水の流れが悩み	2
	音楽ホールのイベントが少ない	2
	車両の爆音が多くうるさい、バイク騒音	2
	店舗が少ない、ない(コンビニ・デパート・ファミレスなど)	3
	タクシーが少ない	1
	ペットボトルの回収頻度が少ない	1
	介護関係	1
	歩道が少なく危ない	2
	街灯が少なく危険	1
	五位堂南側出口の付近の車と人の混雑具合	1
	市民プールが閉鎖された	1
	市役所・保健センターへのアクセス	1
	自治会の当番	1
	住宅・マンションが増えて狭い道を車がよく通る	1
	小学校移転問題	1
	大阪のようにバーベキューなどができる大きい公園がない	1
	コロナ禍の際のサービスが悪すぎた	1
	産業がない	1
	物価高への支援がない	1
	子育て世代以外の世代に対して他市町村に比べて支援が少なすぎる	1
	駅は多いが停車する電車の本数が少ない	1

①よかったこと

■年齢別

「治安」では25～29歳をはじめとして、50～54歳までは回答割合が高く、おおむね40%台後半から60%台となっています。

「自然環境」では50歳代以上で回答割合が高く、おおむね30%台後半を超えています。

	利 用 等 の 利 便 性 関 連 の	交 通 機 関 の 利 便 性	整 道 備 路 状 況 など 都 市 基 盤 の	就 労 ・ 雇 用 の 環 境	通 勤 ・ 通 学 の 便	病 院 な どの 医 療 体 制	住 宅 事 情	治 安	物 価	災 害 へ の 備 え	子 育 て の 支 援 や 環 境	教 育 環 境	文 化 ・ ス ポ ー ツ 施 設	サ ー ビ ス 介 護 の 施 設 や
全体	42.4	45.1	11.5	1.9	42.8	13.0	22.4	36.6	6.7	3.7	8.9	9.5	5.0	5.4
16～19歳	28.6	46.4	10.7	3.6	53.6	17.9	21.4	42.9	7.1	7.1	7.1	17.9	7.1	3.6
20～24歳	20.0	40.0	5.7	2.9	34.3	14.3	5.7	31.4	0.0	2.9	11.4	5.7	0.0	2.9
25～29歳	71.4	38.1	14.3	4.8	61.9	4.8	19.0	61.9	23.8	9.5	9.5	19.0	0.0	0.0
30～34歳	34.3	45.7	5.7	0.0	37.1	17.1	31.4	57.1	14.3	0.0	17.1	11.4	0.0	2.9
35～39歳	56.9	51.0	19.6	2.0	43.1	11.8	17.6	45.1	7.8	2.0	13.7	3.9	5.9	0.0
40～44歳	42.1	33.3	5.3	1.8	54.4	8.8	15.8	52.6	7.0	1.8	14.0	14.0	1.8	3.5
45～49歳	42.7	42.7	13.4	3.7	51.2	11.0	19.5	37.8	4.9	1.2	11.0	9.8	4.9	3.7
50～54歳	48.5	50.5	15.5	1.0	51.5	16.5	27.8	50.5	6.2	3.1	10.3	15.5	5.2	3.1
55～59歳	39.7	42.9	17.5	1.6	36.5	6.3	27.0	34.9	6.3	0.0	7.9	11.1	1.6	4.8
60～64歳	34.3	43.3	10.4	1.5	47.8	9.0	20.9	22.4	7.5	1.5	7.5	6.0	3.0	4.5
65～69歳	43.7	46.5	5.6	2.8	42.3	8.5	15.5	36.6	5.6	2.8	8.5	4.2	5.6	2.8
70～74歳	44.4	48.6	5.6	0.0	30.6	16.7	30.6	33.3	4.2	11.1	4.2	6.9	2.8	12.5
75～79歳	47.1	45.7	17.1	2.9	37.1	18.6	28.6	17.1	8.6	5.7	1.4	8.6	8.6	7.1
80歳以上	42.0	48.1	9.9	1.2	32.1	17.3	24.7	21.0	4.9	4.9	8.6	7.4	14.8	12.3

	行 政 サ ー ビ ス	ま ち な み や 景 観	気 候	自 然 環 境	地 域 の 文 化 や 伝 統	近 所 づ き あ い	親 や 親 戚 が 近 く に い	親 や 親 戚 が 近 く に い	友 人 ・ 知 人 が 近 く に	友 人 ・ 知 人 が 近 く に	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	3.8	17.5	13.8	30.9	3.2	10.2	25.6	0.5	17.3	0.5	0.8	2.5	7.8
16～19歳	0.0	25.0	10.7	21.4	3.6	7.1	39.3	0.0	39.3	0.0	0.0	3.6	10.7
20～24歳	2.9	14.3	5.7	20.0	0.0	11.4	28.6	0.0	31.4	2.9	0.0	2.9	0.0
25～29歳	0.0	23.8	9.5	19.0	4.8	9.5	28.6	0.0	14.3	0.0	4.8	0.0	0.0
30～34歳	0.0	20.0	11.4	20.0	0.0	8.6	42.9	0.0	20.0	0.0	2.9	5.7	5.7
35～39歳	5.9	21.6	9.8	29.4	0.0	11.8	31.4	0.0	13.7	0.0	3.9	2.0	5.9
40～44歳	0.0	8.8	12.3	21.1	1.8	15.8	36.8	0.0	21.1	0.0	0.0	5.3	1.8
45～49歳	1.2	12.2	6.1	22.0	2.4	14.6	30.5	1.2	19.5	0.0	0.0	2.4	4.9
50～54歳	6.2	24.7	15.5	36.1	7.2	12.4	27.8	2.1	18.6	1.0	1.0	2.1	2.1
55～59歳	3.2	15.9	11.1	30.2	3.2	9.5	19.0	0.0	12.7	0.0	0.0	1.6	6.3
60～64歳	6.0	16.4	11.9	38.8	1.5	4.5	10.4	0.0	6.0	0.0	0.0	1.5	16.4
65～69歳	2.8	12.7	21.1	29.6	0.0	7.0	25.4	0.0	11.3	0.0	0.0	2.8	9.9
70～74歳	5.6	27.8	15.3	38.9	5.6	8.3	22.2	1.4	15.3	0.0	1.4	4.2	8.3
75～79歳	4.3	20.0	18.6	38.6	5.7	10.0	20.0	0.0	22.9	1.4	0.0	1.4	7.1
80歳以上	6.2	8.6	17.3	35.8	3.7	11.1	17.3	0.0	14.8	1.2	1.2	1.2	19.8

■地域別

「交通機関の利便性」では「五位堂小学校区」、「真美ヶ丘東小学校区」の回答割合が高く、全体平均を10%以上上回っています。

「通勤・通学の便」では「鎌田小学校区」、「真美ヶ丘小学校区」、「五位堂小学校区」、「下田小学校区」、「真美ヶ丘西小学校区」の回答割合が高く、全体平均を10%以上上回っています。

「買い物や金融機関の利用等の利便性」では「真美ヶ丘東小学校区」、「三和小学校区」の割合が高く、全体平均を10%以上上回っています。

	利 用 等 の 利 便 性 機 関 の	交 通 機 関 の 利 便 性	整 備 状 況 な ど 都 市 基 盤 の	就 労 ・ 雇 用 の 環 境	通 勤 ・ 通 学 の 便	病 院 な ど の 医 療 体 制	住 宅 事 情	治 安	物 価	災 害 へ の 備 え	子 育 て の 支 援 や 環 境	教 育 環 境	文 化 ・ ス ポ ー ツ 施 設	サ ー ビ ス の 施 設 や
全体	42.4	45.1	11.5	1.9	42.8	13.0	22.4	36.6	6.7	3.7	8.9	9.5	5.0	5.4
五位堂小学校区	43.9	58.5	4.9	1.2	53.7	11.0	19.5	35.4	9.8	3.7	8.5	6.1	6.1	7.3
下田小学校区	46.5	51.9	8.5	2.3	53.5	13.2	22.5	34.9	7.8	3.1	12.4	8.5	3.9	3.9
二上小学校区	44.9	40.4	12.4	1.1	36.0	13.5	13.5	34.8	6.7	2.2	4.5	6.7	4.5	4.5
志都美小学校区	35.8	38.8	13.4	1.5	26.9	13.4	28.4	28.4	6.0	1.5	9.0	7.5	9.0	3.0
関屋小学校区	16.3	30.0	8.8	1.3	22.5	8.8	23.8	33.8	10.0	2.5	5.0	3.8	3.8	5.0
三和小学校区	55.1	52.6	11.5	5.1	41.0	7.7	25.6	38.5	10.3	2.6	9.0	6.4	10.3	5.1
鎌田小学校区	43.2	48.6	8.1	0.0	56.8	13.5	21.6	43.2	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4
真美ヶ丘東小学校区	55.7	55.7	28.9	3.1	55.7	15.5	25.8	40.2	3.1	8.2	11.3	17.5	4.1	7.2
真美ヶ丘西小学校区	47.0	43.9	13.6	0.0	53.0	12.1	31.8	47.0	6.1	4.5	16.7	19.7	6.1	4.5
旭ヶ丘小学校区	38.6	33.0	4.5	1.1	34.1	18.2	21.6	38.6	3.4	3.4	6.8	11.4	0.0	6.8

	行 政 サ ー ビ ス	ま ち な み や 景 観	気 候	自 然 環 境	地 域 の 文 化 や 伝 統	近 所 づ き あ い	親 や 親 戚 が 近 く に い	親 戚 が 近 く に い	友 人 ・ 知 人 が 近 く に	友 人 ・ 知 人 が 近 く に	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	3.8	17.5	13.8	30.9	3.2	10.2	25.6	0.5	17.3	0.5	0.8	2.5	7.8
五位堂小学校区	6.1	8.5	22.0	23.2	2.4	6.1	23.2	0.0	15.9	0.0	2.4	1.2	12.2
下田小学校区	3.1	15.5	14.0	26.4	3.1	7.0	24.0	0.0	21.7	0.0	0.0	3.1	6.2
二上小学校区	3.4	20.2	16.9	39.3	5.6	11.2	30.3	1.1	20.2	1.1	1.1	3.4	5.6
志都美小学校区	3.0	9.0	10.4	31.3	4.5	14.9	25.4	1.5	19.4	0.0	0.0	3.0	7.5
関屋小学校区	5.0	18.8	10.0	48.8	1.3	12.5	21.3	1.3	6.3	1.3	0.0	3.8	11.3
三和小学校区	1.3	23.1	14.1	32.1	3.8	10.3	29.5	0.0	23.1	1.3	0.0	2.6	7.7
鎌田小学校区	2.7	18.9	27.0	29.7	8.1	21.6	35.1	0.0	16.2	2.7	0.0	2.7	5.4
真美ヶ丘東小学校区	4.1	25.8	6.2	34.0	0.0	4.1	26.8	1.0	14.4	0.0	3.1	1.0	3.1
真美ヶ丘西小学校区	3.0	13.6	13.6	15.2	3.0	15.2	28.8	0.0	21.2	0.0	1.5	1.5	3.0
旭ヶ丘小学校区	4.5	22.7	8.0	22.7	3.4	10.2	21.6	0.0	14.8	0.0	0.0	3.4	9.1

②困ること

■年齢別

「道路など都市基盤の整備状況」では40代～60代で回答割合が高く、20%後半～30%台となっています。

「文化・スポーツ施設」では40代～50代で回答割合が高く、40代は20%を超えています。

	利用等の利便性関の	交通機関の利便性	整備状況など都市基盤の	就労・雇用の環境	通勤・通学の便	病院などの医療体制	住宅事情	治安	物価	災害への備え	子育ての支援や環境	教育環境	文化・スポーツ施設	福祉や介護の施設や
全体	15.3	14.4	24.4	11.8	8.9	19.4	2.6	2.6	7.3	9.6	9.0	5.7	13.5	8.2
16～19歳	14.3	10.7	21.4	3.6	14.3	10.7	3.6	3.6	3.6	3.6	7.1	0.0	10.7	7.1
20～24歳	20.0	17.1	14.3	14.3	20.0	5.7	0.0	0.0	5.7	8.6	2.9	5.7	14.3	8.6
25～29歳	4.8	42.9	19.0	14.3	19.0	23.8	9.5	0.0	14.3	14.3	4.8	0.0	14.3	14.3
30～34歳	17.1	20.0	20.0	17.1	5.7	25.7	5.7	0.0	14.3	0.0	14.3	2.9	11.4	5.7
35～39歳	7.8	7.8	19.6	9.8	11.8	19.6	7.8	2.0	11.8	11.8	17.6	7.8	13.7	2.0
40～44歳	14.0	19.3	31.6	8.8	15.8	19.3	3.5	5.3	5.3	10.5	19.3	12.3	22.8	8.8
45～49歳	24.4	20.7	29.3	15.9	15.9	19.5	2.4	3.7	11.0	11.0	11.0	9.8	20.7	6.1
50～54歳	16.5	12.4	27.8	13.4	7.2	16.5	2.1	0.0	3.1	9.3	11.3	5.2	16.5	12.4
55～59歳	14.3	17.5	25.4	15.9	11.1	28.6	0.0	1.6	11.1	11.1	9.5	1.6	17.5	12.7
60～64歳	20.9	10.4	25.4	14.9	11.9	20.9	3.0	7.5	7.5	10.4	9.0	10.4	11.9	4.5
65～69歳	9.9	8.5	25.4	5.6	4.2	18.3	1.4	2.8	8.5	8.5	7.0	1.4	8.5	5.6
70～74歳	18.1	18.1	23.6	13.9	4.2	16.7	4.2	2.8	6.9	5.6	4.2	9.7	12.5	8.3
75～79歳	17.1	5.7	24.3	4.3	1.4	21.4	0.0	0.0	2.9	12.9	2.9	1.4	11.4	8.6
80歳以上	8.6	12.3	17.3	9.9	1.2	21.0	1.2	0.0	6.2	12.3	3.7	3.7	4.9	11.1

	行政サービス	まちなみや景観	気候	自然環境	地域の文化や伝統	近所づきあい	親や親戚が近くに	親や親戚が近くに	友人・知人が近くに	友人・知人が近くに	その他	特にな	不明・無回答
全体	10.1	2.5	1.4	1.2	1.7	5.9	0.4	9.8	0.5	6.7	3.0	13.0	12.5
16～19歳	10.7	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	3.6	10.7	25.0
20～24歳	8.6	0.0	2.9	2.9	2.9	2.9	0.0	8.6	0.0	5.7	0.0	17.1	2.9
25～29歳	19.0	0.0	4.8	0.0	0.0	9.5	0.0	9.5	0.0	4.8	4.8	23.8	0.0
30～34歳	14.3	0.0	0.0	5.7	0.0	2.9	0.0	5.7	0.0	20.0	8.6	8.6	14.3
35～39歳	7.8	2.0	2.0	0.0	3.9	2.0	0.0	7.8	2.0	7.8	0.0	15.7	9.8
40～44歳	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	12.3	0.0	5.3	5.3	14.0	5.3
45～49歳	15.9	3.7	2.4	3.7	2.4	2.4	0.0	12.2	0.0	7.3	2.4	4.9	6.1
50～54歳	9.3	3.1	0.0	1.0	2.1	7.2	1.0	11.3	0.0	7.2	6.2	14.4	6.2
55～59歳	11.1	3.2	1.6	1.6	0.0	6.3	0.0	12.7	0.0	4.8	1.6	9.5	7.9
60～64歳	13.4	4.5	3.0	1.5	0.0	9.0	1.5	10.4	0.0	11.9	0.0	14.9	14.9
65～69歳	5.6	4.2	1.4	0.0	0.0	5.6	0.0	4.2	0.0	4.2	1.4	15.5	15.5
70～74歳	6.9	1.4	0.0	1.4	2.8	11.1	1.4	9.7	1.4	9.7	2.8	20.8	13.9
75～79歳	8.6	1.4	0.0	0.0	2.9	4.3	0.0	15.7	0.0	2.9	5.7	10.0	18.6
80歳以上	2.5	1.2	2.5	0.0	2.5	11.1	0.0	7.4	2.5	3.7	1.2	9.9	28.4

■地域別

「道路など都市基盤の整備状況」では「鎌田小学校区」の回答割合が高く、全体平均を20%以上上回っています。

「買い物や金融機関の利用等の利便性」では「関屋小学校区」の回答割合が高く、全体平均を25%以上上回っています。

「交通機関の利便性」では「志都美小学校区」の回答割合が高く、全体平均を20%以上上回っています。

	利 用 等 の 利 便 性 機 関 の	交 通 機 関 の 利 便 性	整 道 備 路 状 況 な ど 都 市 基 盤 の	就 労 ・ 雇 用 の 環 境	通 勤 ・ 通 学 の 便	病 院 な ど の 医 療 体 制	住 宅 事 情	治 安	物 価	災 害 へ の 備 え	子 育 て の 支 援 や 環 境	教 育 環 境	文 化 ・ ス ポ ー ツ 施 設	サ ー ビ ス の 介 護 の 施 設 や
全体	15.3	14.4	24.4	11.8	8.9	19.4	2.6	2.6	7.3	9.6	9.0	5.7	13.5	8.2
五位堂小学校区	14.6	3.7	31.7	12.2	0.0	24.4	4.9	1.2	14.6	11.0	13.4	3.7	13.4	7.3
下田小学校区	11.6	7.0	27.9	13.2	10.9	21.7	1.6	3.9	2.3	13.2	6.2	7.0	14.0	10.1
二上小学校区	12.4	15.7	15.7	7.9	10.1	14.6	2.2	3.4	6.7	9.0	9.0	2.2	13.5	10.1
志都美小学校区	19.4	38.8	34.3	13.4	25.4	19.4	0.0	3.0	4.5	14.9	13.4	11.9	16.4	10.4
関屋小学校区	42.5	26.3	22.5	13.8	12.5	15.0	1.3	5.0	7.5	10.0	8.8	10.0	11.3	6.3
三和小学校区	12.8	10.3	29.5	12.8	6.4	20.5	2.6	2.6	3.8	9.0	3.8	6.4	7.7	7.7
鎌田小学校区	10.8	8.1	48.6	10.8	10.8	18.9	5.4	0.0	10.8	21.6	18.9	16.2	21.6	10.8
真美ヶ丘東小学校区	7.2	7.2	9.3	6.2	2.1	22.7	3.1	0.0	7.2	2.1	7.2	1.0	12.4	5.2
真美ヶ丘西小学校区	12.1	7.6	16.7	15.2	3.0	27.3	3.0	3.0	12.1	7.6	13.6	3.0	21.2	9.1
旭ヶ丘小学校区	14.8	25.0	23.9	12.5	12.5	12.5	2.3	0.0	9.1	5.7	4.5	2.3	13.6	8.0

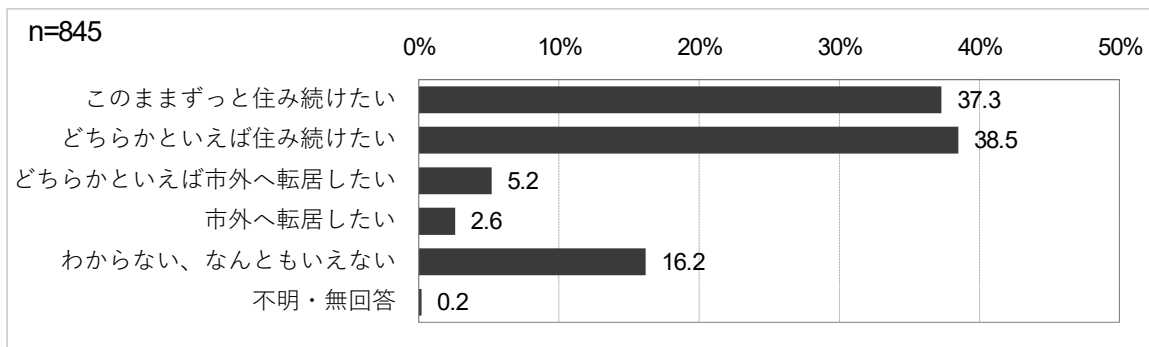
	行 政 サ ー ビ ス	ま ち な み や 景 観	気 候	自 然 環 境	地 域 の 文 化 や 伝 統	近 所 づ き あ い	親 や 親 戚 が 近 く に い	親 い や 親 戚 が 近 く に い	友 人 ・ 知 人 が 近 く に	友 人 ・ 知 人 が 近 く に	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	10.1	2.5	1.4	1.2	1.7	5.9	0.4	9.8	0.5	6.7	3.0	13.0	12.5
五位堂小学校区	9.8	4.9	3.7	0.0	2.4	6.1	1.2	13.4	1.2	11.0	3.7	13.4	13.4
下田小学校区	8.5	1.6	0.8	2.3	0.8	8.5	0.0	14.0	0.0	9.3	1.6	10.9	11.6
二上小学校区	9.0	3.4	1.1	1.1	2.2	3.4	1.1	4.5	0.0	4.5	4.5	14.6	9.0
志都美小学校区	11.9	4.5	0.0	1.5	1.5	7.5	0.0	7.5	1.5	4.5	1.5	6.0	10.4
関屋小学校区	5.0	1.3	2.5	1.3	1.3	11.3	0.0	7.5	0.0	8.8	3.8	7.5	12.5
三和小学校区	5.1	0.0	2.6	1.3	1.3	11.5	0.0	14.1	1.3	3.8	9.0	7.7	16.7
鎌田小学校区	18.9	8.1	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0	5.4	2.7	13.5	8.1
真美ヶ丘東小学校区	10.3	1.0	0.0	0.0	2.1	1.0	0.0	9.3	0.0	6.2	2.1	27.8	11.3
真美ヶ丘西小学校区	15.2	4.5	1.5	1.5	3.0	4.5	1.5	9.1	1.5	7.6	1.5	21.2	7.6
旭ヶ丘小学校区	12.5	1.1	1.1	1.1	2.3	2.3	0.0	10.2	0.0	6.8	1.1	8.0	14.8

問6 あなたは、今後も香芝市に住み続けたいと思われますか。(1つに○)

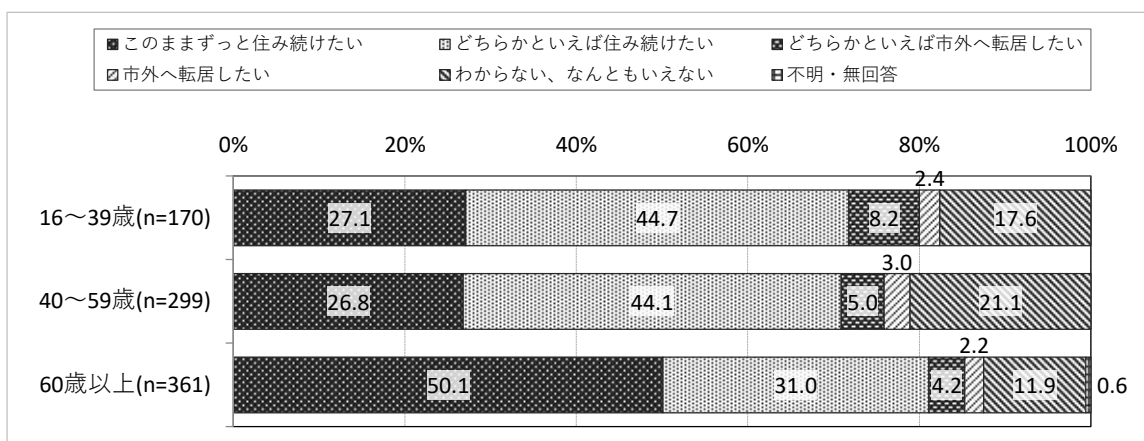
【全体結果】

「どちらかといえば住み続けたい」が38.5%、僅差で「このままずっと住み続けたい」が37.3%で続いており、住み続けたいと回答した人が合わせて75%以上となりました。

年齢別にみると、60歳以上では「このままずっと住み続けたい」の回答割合が他の世代よりも2倍近く高くなっています。16～39歳と、40～59歳の回答の傾向には、ほとんど違いがありません。

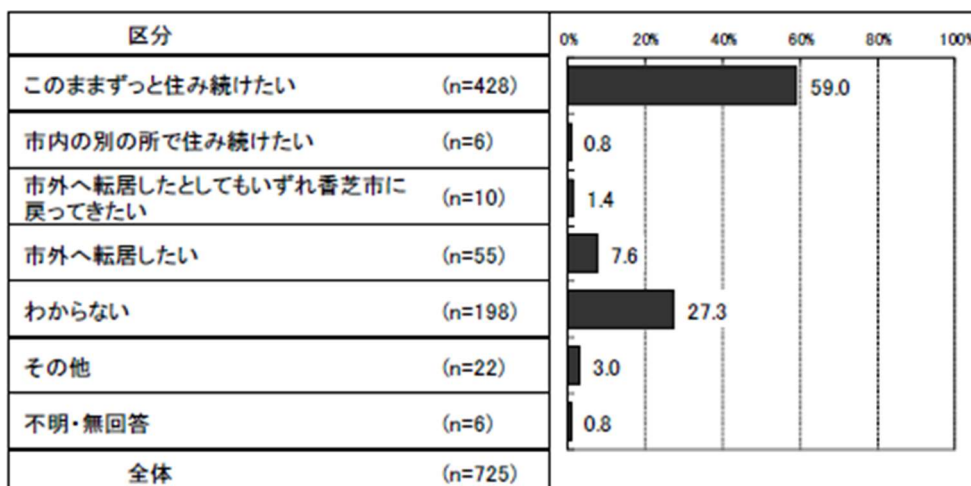


■年齢別



■前回調査(令和元年)結果

※令和元年度調査と項目が異なるため、参考として前回結果を掲載しています。



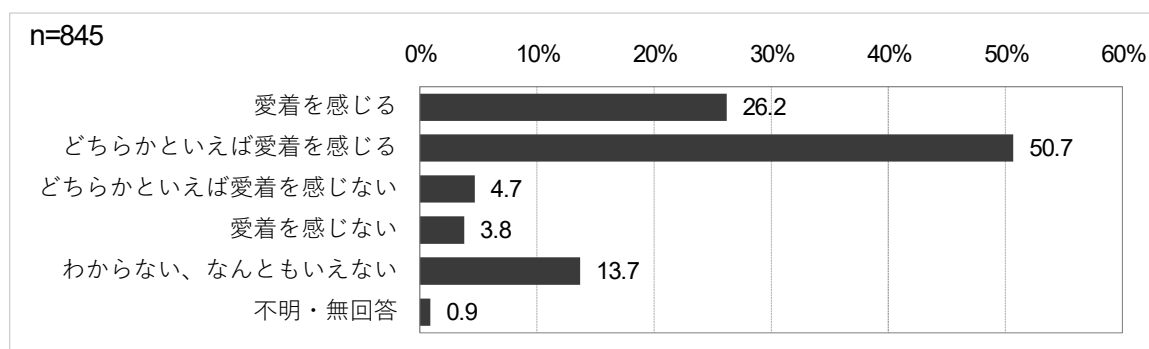
問7 あなたは、香芝市に愛着を感じていますか。(1つに○)

【全体結果】

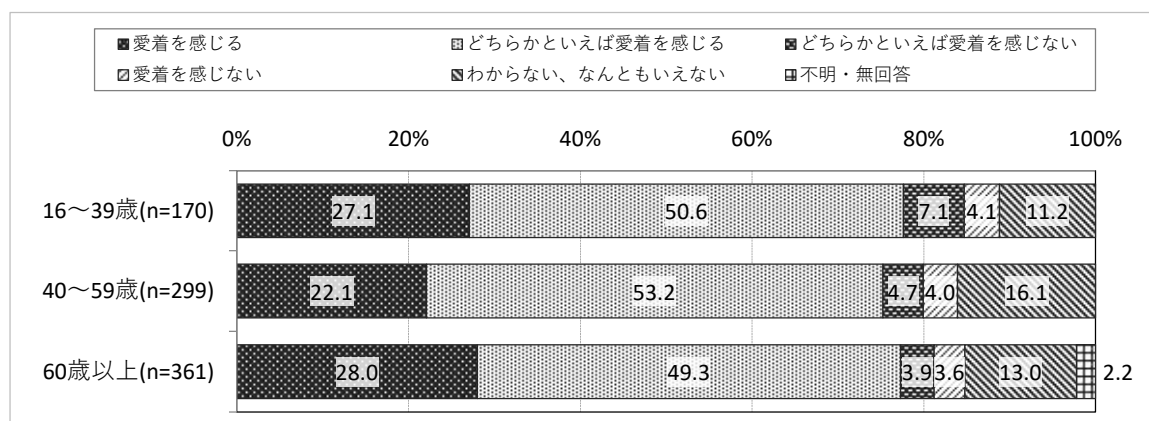
「どちらかといえば愛着を感じる」が50.7%で最も多く、次いで「愛着を感じる」が26.2%で続いており、愛着を感じると回答した人が合わせて75%以上となりました。

年齢別にみると、世代間で大きな変化はありません。

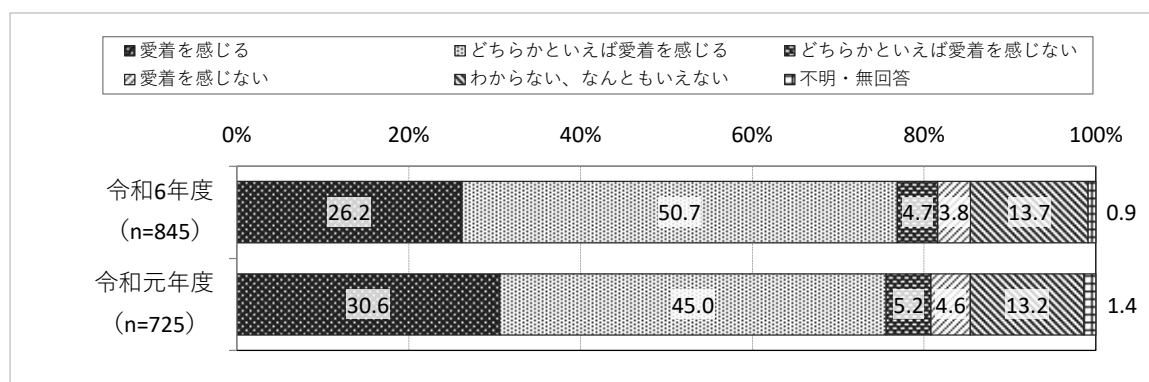
前回調査(令和元年)からの変化をみると、「どちらかといえば愛着を感じる」、「愛着を感じる」を合わせた割合は、ほぼ変わりはないですが、「愛着を感じる」は減少し、「どちらかといえば愛着を感じる」は増加しています。



■年齢別



■前回調査(令和元年)調査からの変化



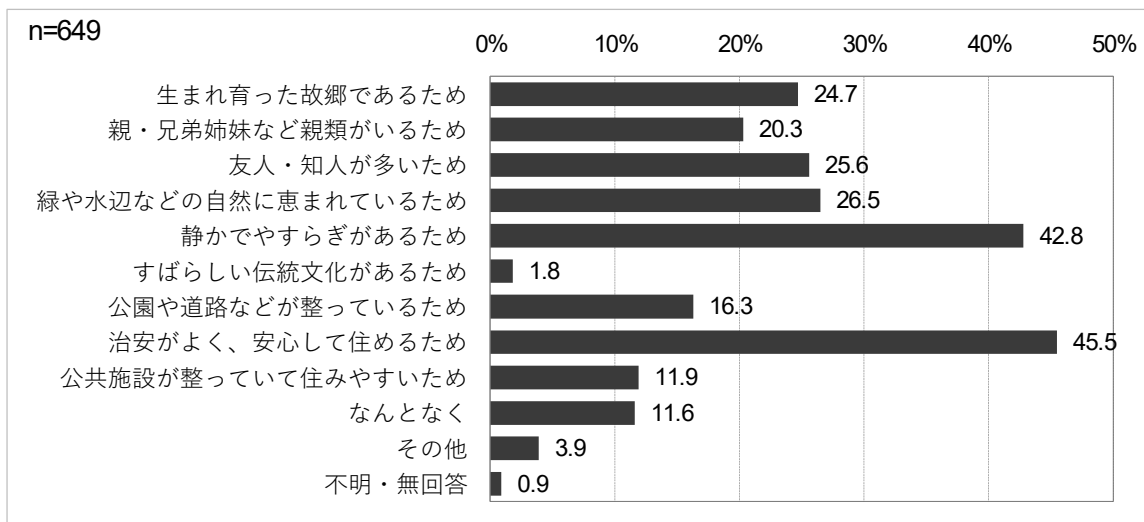
問8 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方のみお答えください。

香芝市に愛着を感じる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体結果】

「治安がよく、安心して住めるため」が45.5%で最も多く、次いで「静かでやすらぎがあるため」が42.8%で続いています。

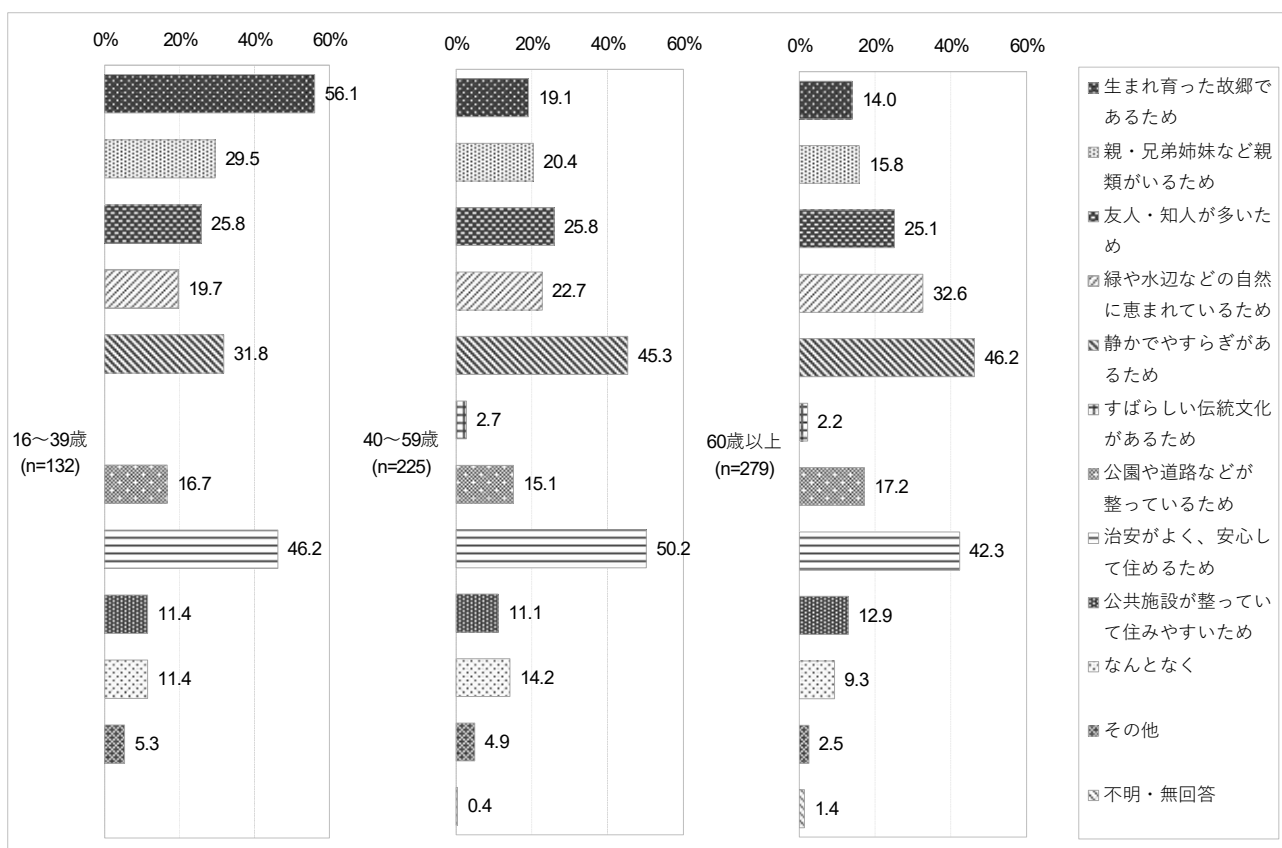
年齢別でみると、上記の2つの回答がどの世代でも比較的回答の割合が高くなっていますが、16～39歳では、「生まれ育った故郷であるため」が最も高くなっています。



●「11.その他」回答一覧

内容	件数
長く住んでいるため	5
利便性が良いため	4
住めば都	2
今の生活が楽しい	1
人口がちょうどよい	1
温泉がある	1
居酒屋がある	1
職場がある	1
家があるから	1
先祖が住んでいた	1
図書館がきれいで本もたくさんある	1
農地を借りて野菜作り	1
大阪市と比べ閑静	1
福祉	1

■年齢別



Ⅱ. 香芝市が取り組む施策の評価について

問9 すべての方にうかがいます。

香芝市が取り組んでいる以下のそれぞれの施策について、

①現在どの程度満足されていますか。②また、今後どのくらい重要な取組だと思いますか。

あなたの考えに近いものを5～1の中から選び、それぞれ1つに○をつけてください。

①現在の満足度

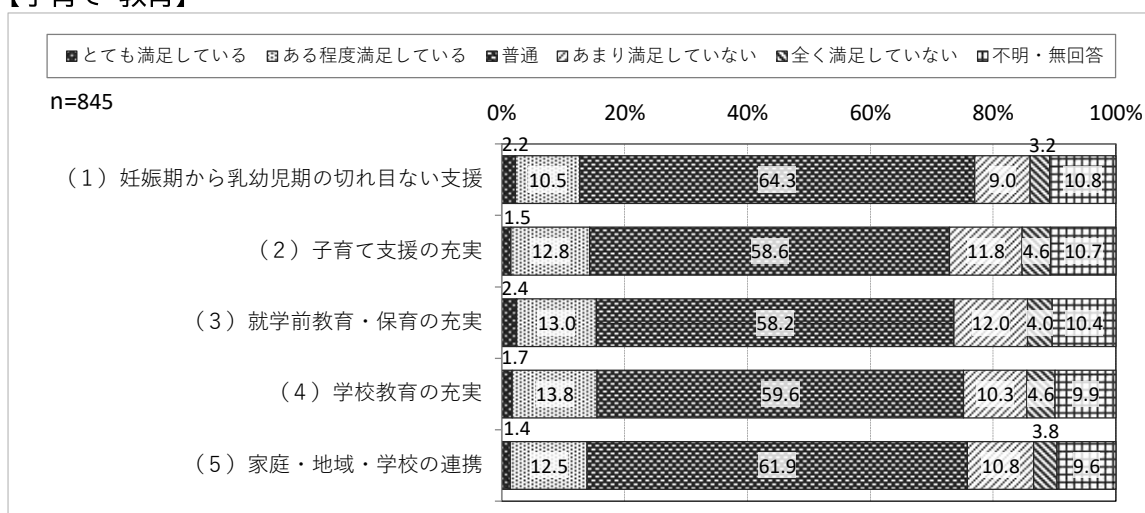
【全体結果】

「とても満足している」と「ある程度満足している」の合計が最も高いのは、「上水道の整備」が20.6%、次いで「医療体制の充実」が19.8%、「下水道の整備」が19.0%で続いています。

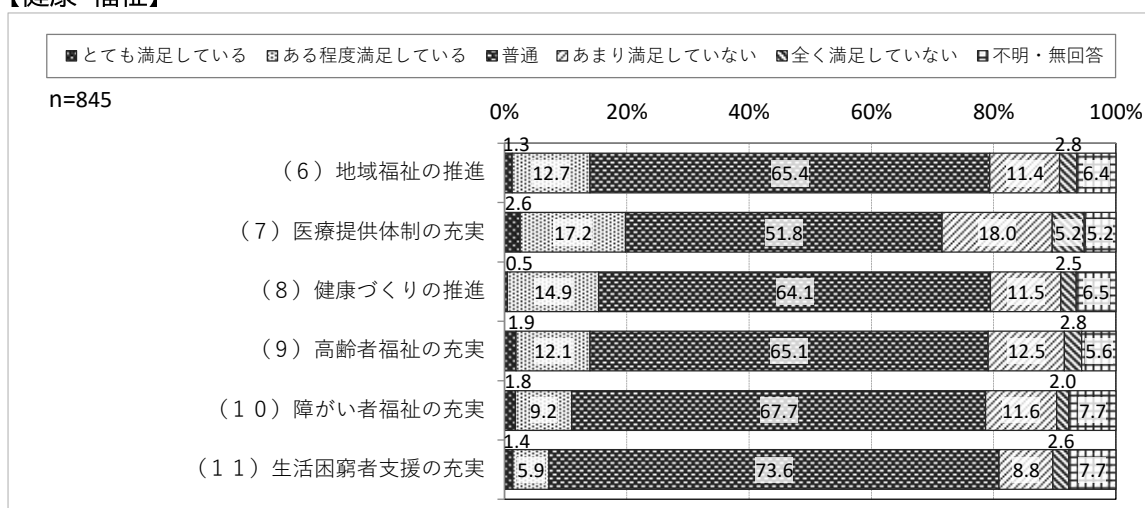
満足度の合計が最も低いのは、「観光の振興」が3.7%、次いで「農業の振興」が5.2%、「行政組織の活性化・組織力の強化」が5.9%となりました。

前回調査(令和元年)調査からの変化をみると、上位項目を中心として、総じて満足度は減少しています。

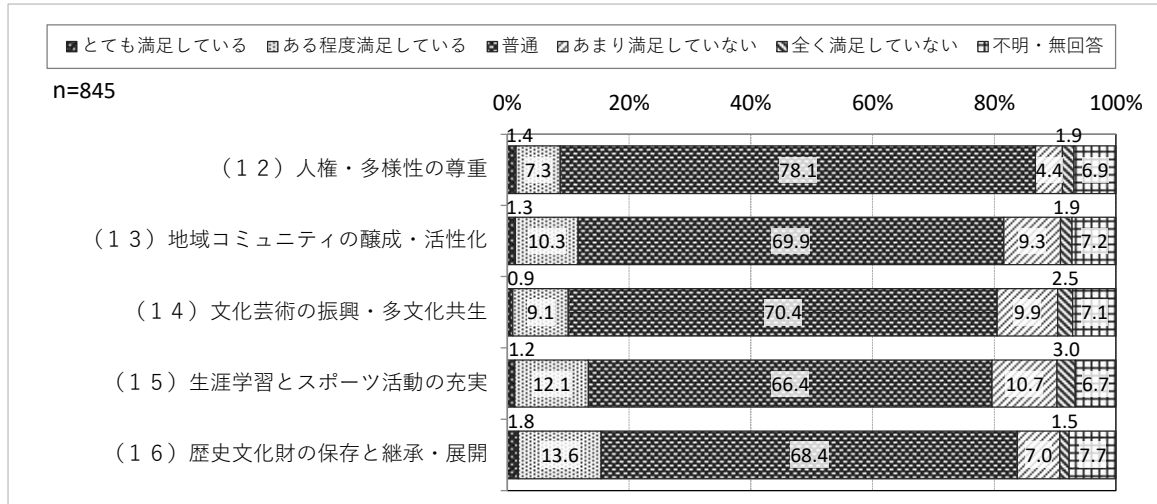
【子育て・教育】



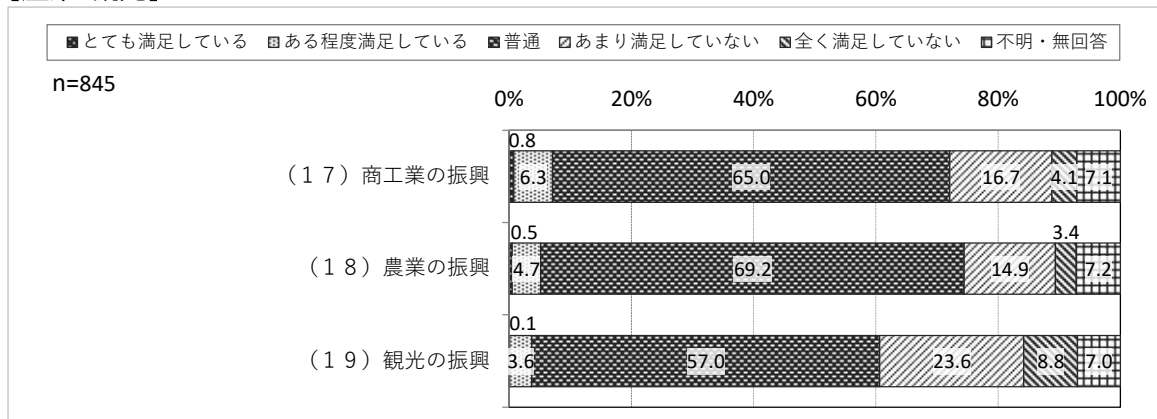
【健康・福祉】



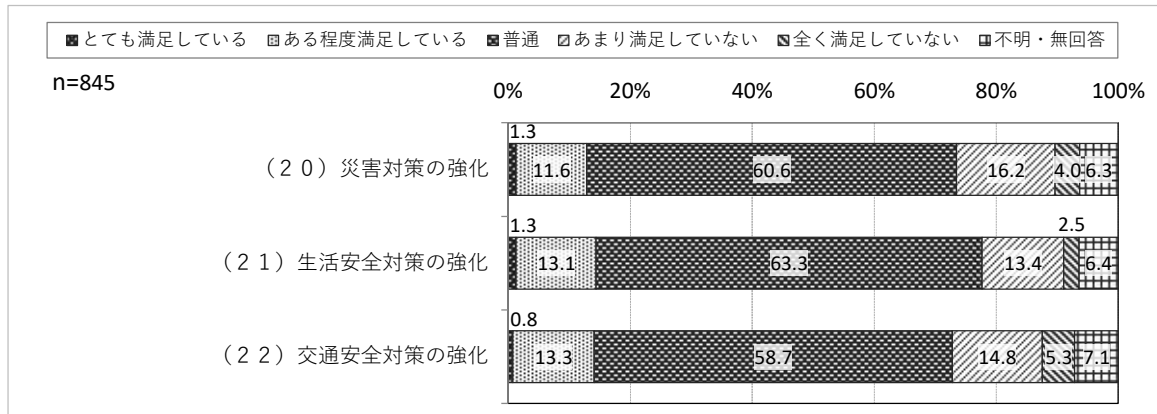
【人権・協働・文化】



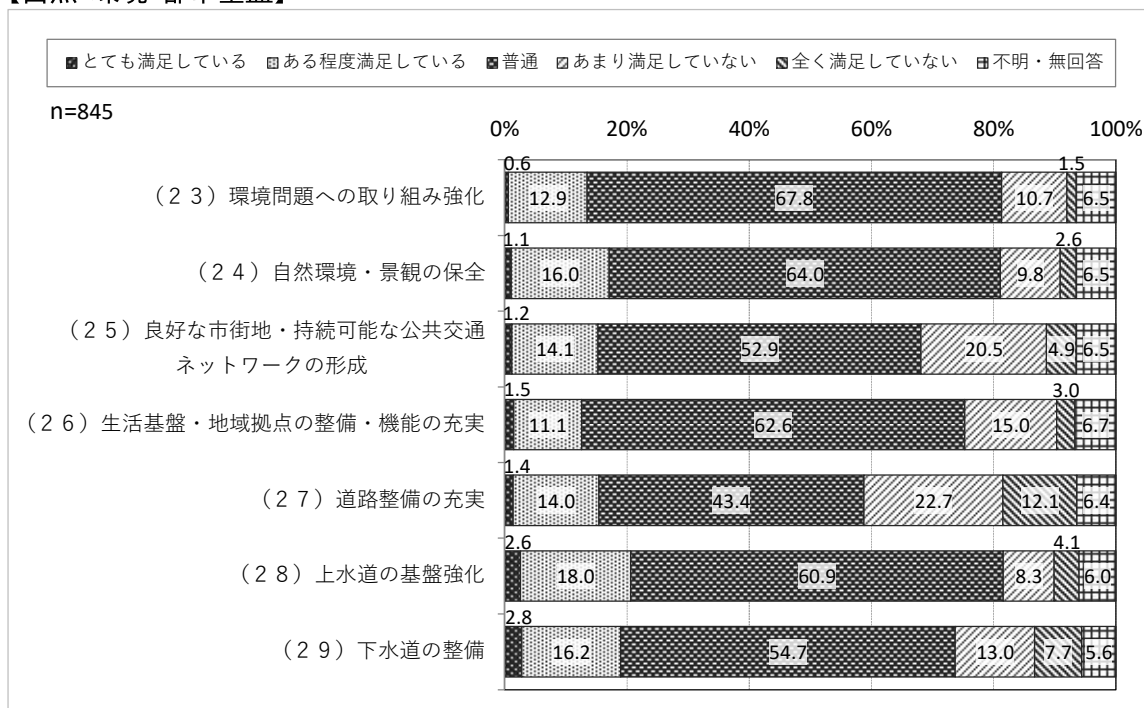
【産業・観光】



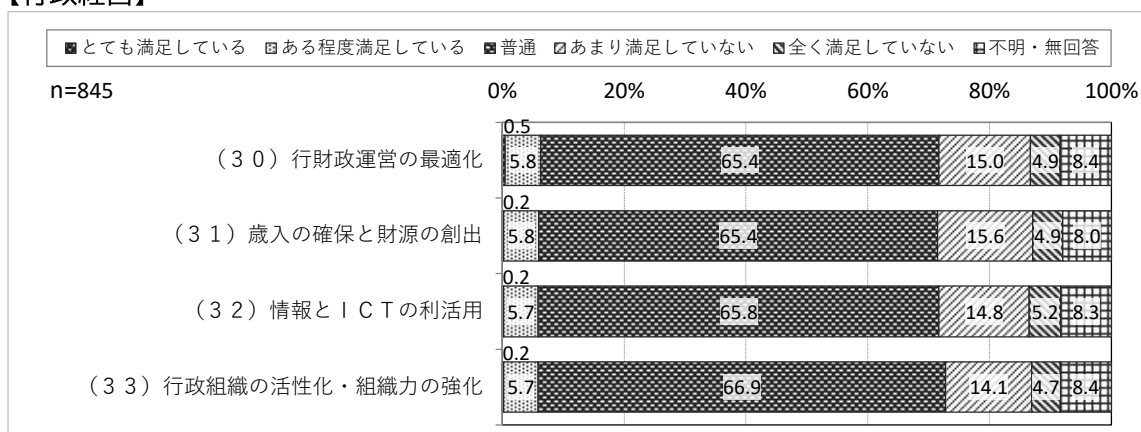
【安全・安心】



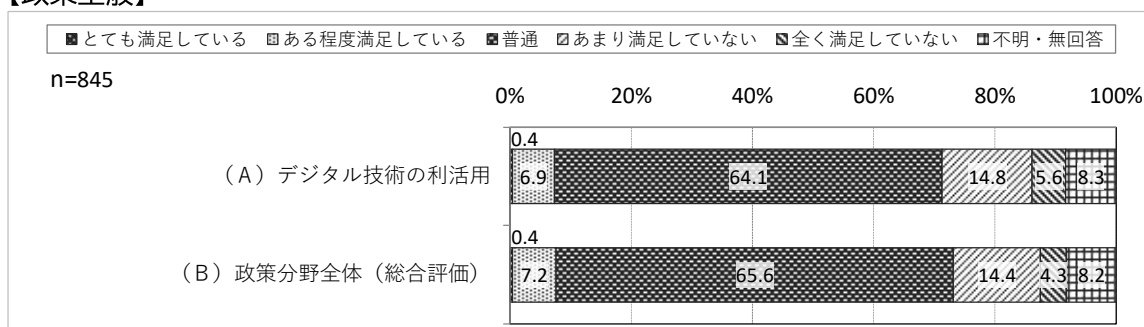
【自然・環境・都市基盤】



【行政経営】



【政策全般】



■満足度ランキング

順位	施策分野	「満足している」の合計
1位	(28) 上水道の基盤強化	20.6
2位	(7) 医療提供体制の充実	19.8
3位	(29) 下水道の整備	19.0
4位	(24) 自然環境・景観の保全	17.1
5位	(4) 学校教育の充実	15.5
6位	(3) 就学前教育・保育の充実	15.4
7位	(8) 健康づくりの推進	15.4
8位	(16) 歴史文化財の保存と継承・展開	15.4
9位	(27) 道路整備の充実	15.4
10位	(25) 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	15.3
11位	(21) 生活安全対策の強化	14.4
12位	(2) 子育て支援の充実	14.3
13位	(22) 交通安全対策の強化	14.1
14位	(6) 地域福祉の推進	14.0
15位	(9) 高齢者福祉の充実	14.0
16位	(5) 家庭・地域・学校の連携	13.9
17位	(23) 環境問題への取り組み強化	13.5
18位	(15) 生涯学習とスポーツ活動の充実	13.3
19位	(20) 災害対策の強化	12.9
20位	(1) 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援	12.7
21位	(26) 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	12.6
22位	(13) 地域コミュニティの醸成・活性化	11.6
23位	(10) 障がい者福祉の充実	11.0
24位	(14) 文化芸術の振興・多文化共生	10.0
25位	(12) 人権・多様性の尊重	8.7
26位	(11) 生活困窮者支援の充実	7.3
27位	(17) 商工業の振興	7.1
28位	(30) 行財政運営の最適化	6.3
29位	(31) 歳入の確保と財源の創出	6.0
30位	(32) 情報とICTの利活用	5.9
31位	(33) 行政組織の活性化・組織力の強化	5.9
32位	(18) 農業の振興	5.2
33位	(19) 観光の振興	3.7

■前回調査(令和元年)結果

※令和元年度調査と項目が異なるため、参考として前回結果を掲載しています。

順位	施策分野	「満足している」の合計
1位	5) 上水道の整備	45.4
2位	6) 下水道の整備	35.4
3位	3) 自然環境（緑地）の保護	30.9
4位	4) 住環境（景観）の保全	29.5
5位	2) 環境問題への取り組み強化	25.9
6位	14) 医療体制の充実	22.8
7位	12) 道路整備の充実	22.1
8位	1) ゴミの減量化とリサイクルの推進	20.6
9位	8) 防犯活動の強化	20.4
10位	38) 広報・広聴の充実	20.0
11位	9) 交通安全対策の強化	19.4
12位	19) 家庭・地域の教育力の向上	19.4
13位	15) 市民の健康づくりの推進	18.3
14位	7) 災害対策の充実	18.2
15位	21) 学校教育の充実	18.2
16位	10) 良好な新市街地の形成	17.4
17位	30) 地域コミュニティの充実・醸成	17.1
18位	32) 歴史文化財の保存と継承・展開	17.0
19位	16) 高齢者福祉の充実	16.1
20位	11) 駅を中心とした拠点機能充実	15.7
21位	13) 地域福祉の推進	15.6
22位	20) 就学前教育の充実	15.2
23位	23) いつ・どこ・だれでも学び楽しめる環境の充実	14.9
24位	33) 地域経営システムの確立（窓口サービスの充実）	14.5
25位	24) 子育てと仕事の調和	14.1
26位	17) 障がい者福祉の充実	13.1
27位	22) 子ども・若者のフォローアップ	12.3
28位	18) 社会保障制度の安定的運用の推進	12.1
29位	34) 財政運営の健全化	11.4
30位	28) あらゆる人権を守る社会づくりの確立	10.3
31位	29) 男女が共同参画できる地域づくり	9.8
32位	35) 組織活性化の推進	9.0
33位	37) 市税等の賦課・徴収の強化	8.3
34位	36) IT（情報通信技術）の活用	7.7
35位	25) 産業の振興	7.3
36位	31) 文化・国際交流への取り組みの推進	7.2
37位	26) 農業の振興	6.8
38位	27) 観光の振興	5.0

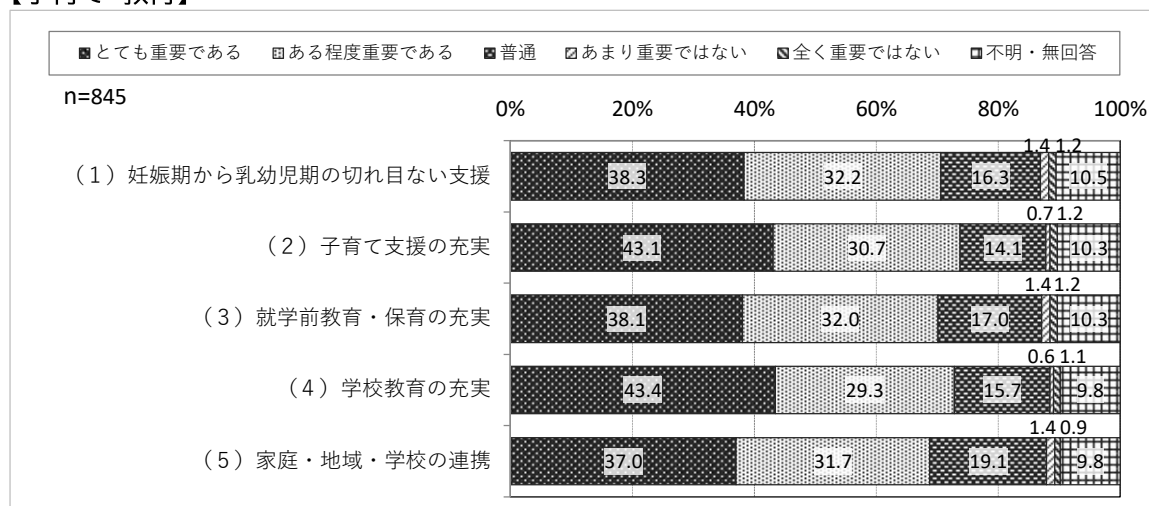
②今後の重要度

【全体結果】

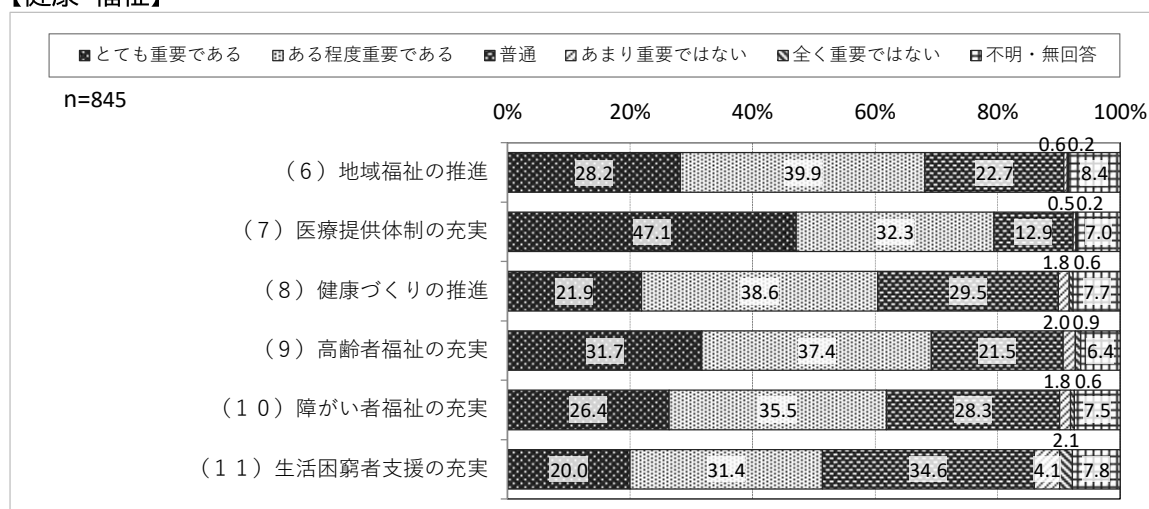
「とても重要である」と「ある程度重要である」の合計が最も高いのは、「医療提供体制の充実」が79.4%、次いで「災害対策の強化」が77.7%、「生活安全対策の強化」が75.5%で続いています。

重要度の合計が最も低いのは、「文化芸術の振興・多文化共生」が38.6%、次いで「歴史文化財の保存と継承・展開」が43.7%、「観光の振興」が45.4%で続いています。

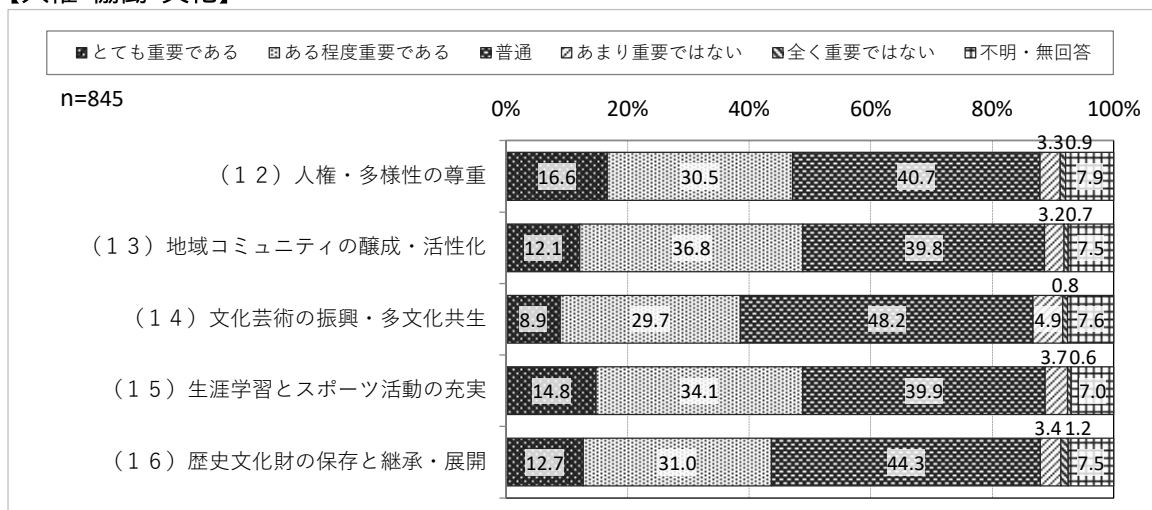
【子育て・教育】



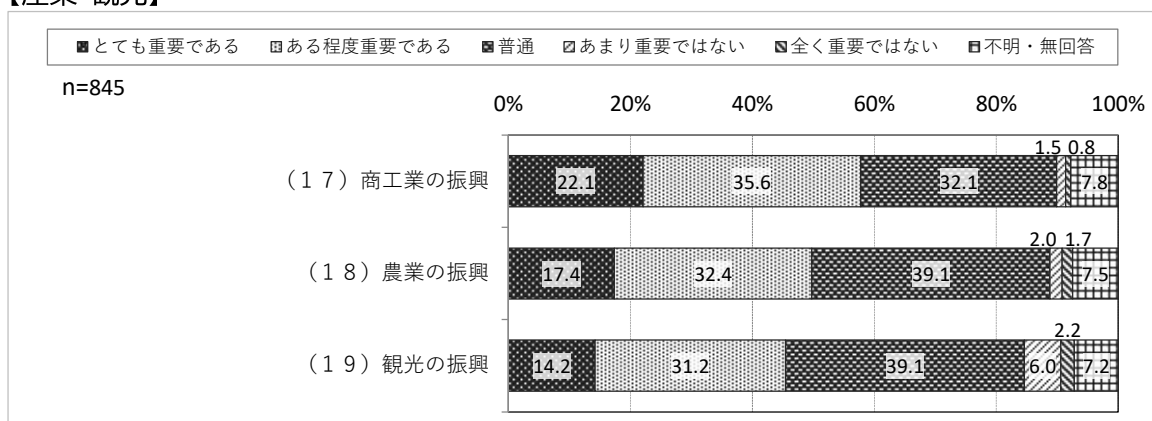
【健康・福祉】



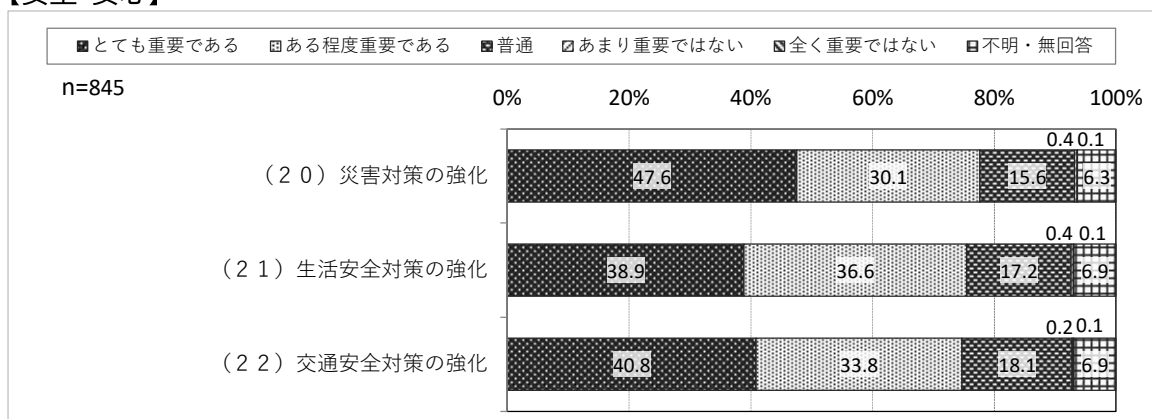
【人権・協働・文化】



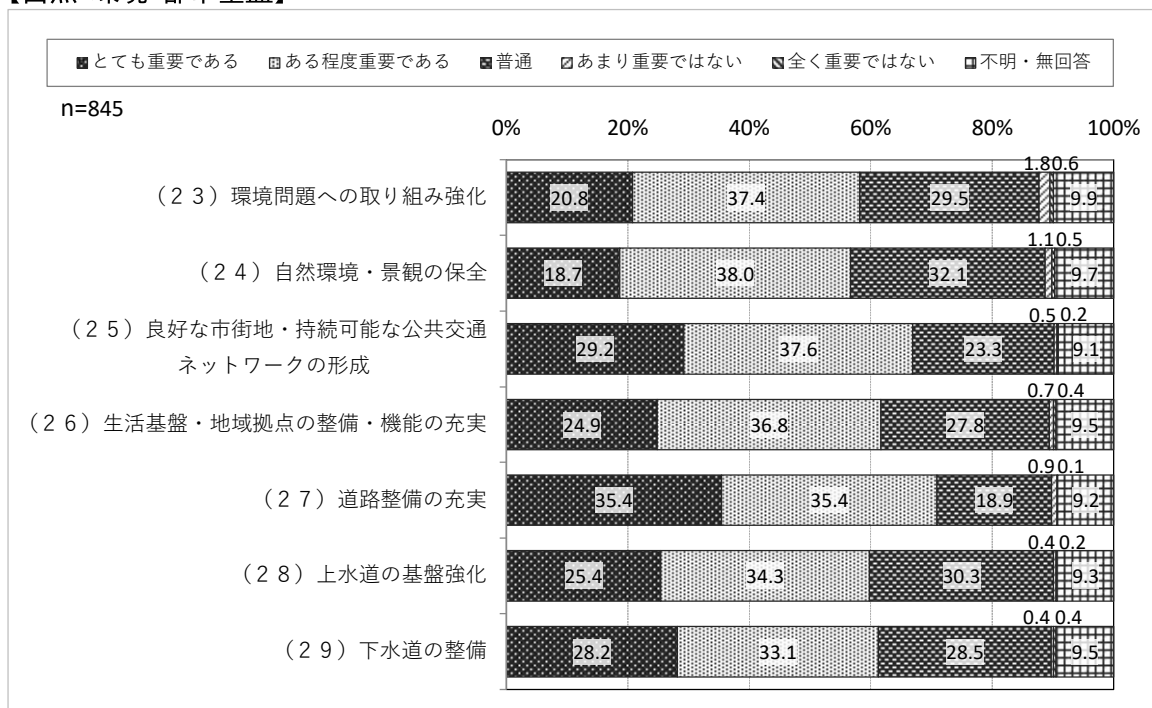
【産業・観光】



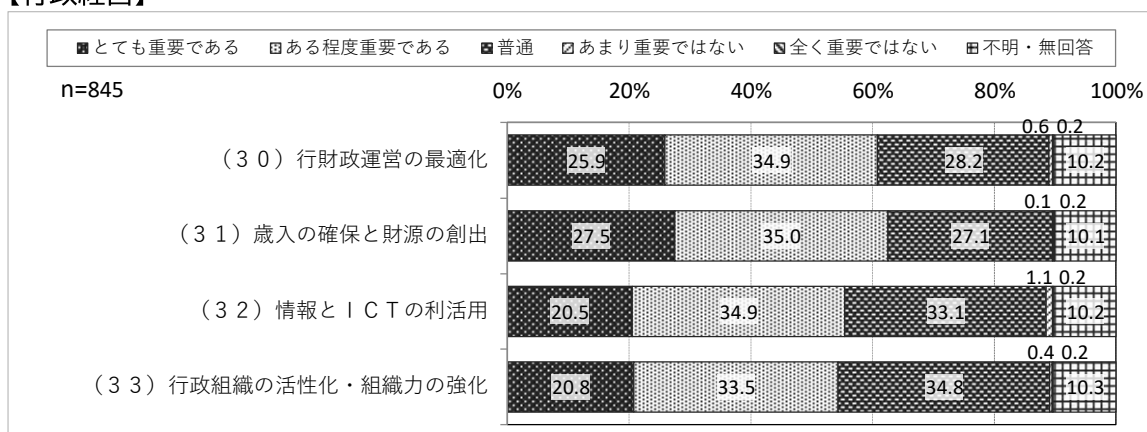
【安全・安心】



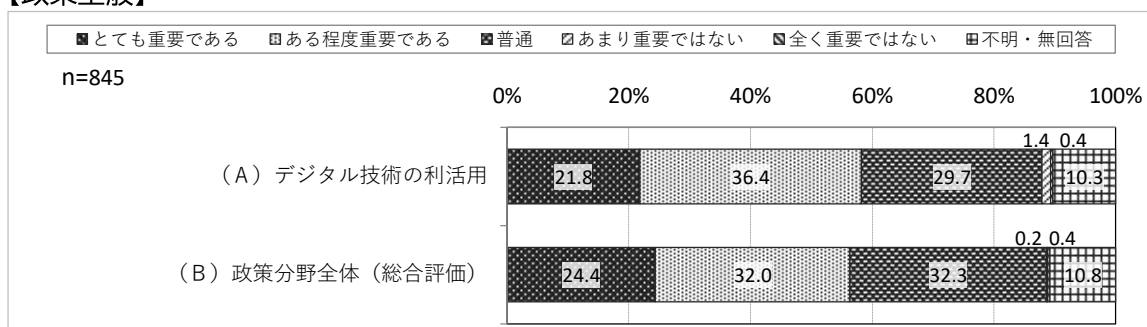
【自然・環境・都市基盤】



【行政経営】



【政策全般】



■重要度ランキング

順位	施策分野	「重要である」の合計
1位	(7) 医療提供体制の充実	79.4
2位	(20) 災害対策の強化	77.7
3位	(21) 生活安全対策の強化	75.5
4位	(22) 交通安全対策の強化	74.6
5位	(2) 子育て支援の充実	73.8
6位	(4) 学校教育の充実	72.7
7位	(27) 道路整備の充実	70.8
8位	(1) 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援	70.5
9位	(3) 就学前教育・保育の充実	70.1
10位	(9) 高齢者福祉の充実	69.1
11位	(5) 家庭・地域・学校の連携	68.7
12位	(6) 地域福祉の推進	68.1
13位	(25) 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	66.8
14位	(31) 歳入の確保と財源の創出	62.5
15位	(10) 障がい者福祉の充実	61.9
16位	(26) 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	61.7
17位	(29) 下水道の整備	61.3
18位	(30) 行財政運営の最適化	60.8
19位	(8) 健康づくりの推進	60.5
20位	(28) 上水道の基盤強化	59.7
21位	(23) 環境問題への取り組み強化	58.2
22位	(17) 商工業の振興	57.7
23位	(24) 自然環境・景観の保全	56.7
24位	(32) 情報とICTの利活用	55.4
25位	(33) 行政組織の活性化・組織力の強化	54.3
26位	(11) 生活困窮者支援の充実	51.4
27位	(18) 農業の振興	49.8
28位	(15) 生涯学習とスポーツ活動の充実	48.9
29位	(13) 地域コミュニティの醸成・活性化	48.9
30位	(12) 人権・多様性の尊重	47.1
31位	(19) 観光の振興	45.4
32位	(16) 歴史文化財の保存と継承・展開	43.7
33位	(14) 文化芸術の振興・多文化共生	38.6

■前回調査(令和元年)結果

※令和元年度調査と項目が異なるため、参考として前回結果を掲載しています。

順位	施策分野	「重要である」の合計
1位	14) 医療体制の充実	77.1
2位	7) 災害対策の充実	76.6
3位	8) 防犯活動の強化	76.1
4位	10) 良好な新市街地の形成	75.4
5位	1) ゴミの減量化とリサイクルの推進	74.8
6位	12) 道路整備の充実	74.2
7位	9) 交通安全対策の強化	74.1
8位	11) 駅を中心とした拠点機能充実	72.3
9位	3) 自然環境（緑地）の保護	70.6
10位	2) 環境問題への取り組み強化	69.8
11位	6) 下水道の整備	67.7
12位	16) 高齢者福祉の充実	67.3
13位	24) 子育てと仕事の調和	66.8
14位	21) 学校教育の充実	66.6
15位	17) 障がい者福祉の充実	65.0
16位	34) 財政運営の健全化	64.3
17位	5) 上水道の整備	63.7
18位	18) 社会保障制度の安定的運用の推進	63.0
19位	4) 住環境（景観）の保全	61.7
20位	19) 家庭・地域の教育力の向上	60.3
21位	22) 子ども・若者のフォローアップ	59.9
22位	23) いつ・どこ・だれでも学び楽しめる環境の充実	59.4
23位	13) 地域福祉の推進	58.2
24位	20) 就学前教育の充実	57.4
25位	25) 産業の振興	57.1
26位	36) IT（情報通信技術）の活用	56.7
27位	15) 市民の健康づくりの推進	55.7
28位	33) 地域経営システムの確立（窓口サービスの充実）	52.8
29位	30) 地域コミュニティの充実・醸成	50.6
30位	35) 組織活性化の推進	48.3
31位	26) 農業の振興	47.7
32位	28) あらゆる人権を守る社会づくりの確立	46.3
33位	29) 男女が共同参画できる地域づくり	46.3
34位	32) 歴史文化財の保存と継承・展開	46.2
35位	27) 観光の振興	44.7
36位	38) 広報・広聴の充実	44.7
37位	37) 市税等の賦課・徴収の強化	44.3
38位	31) 文化・国際交流への取り組みの推進	39.3

■スコアの算出方法

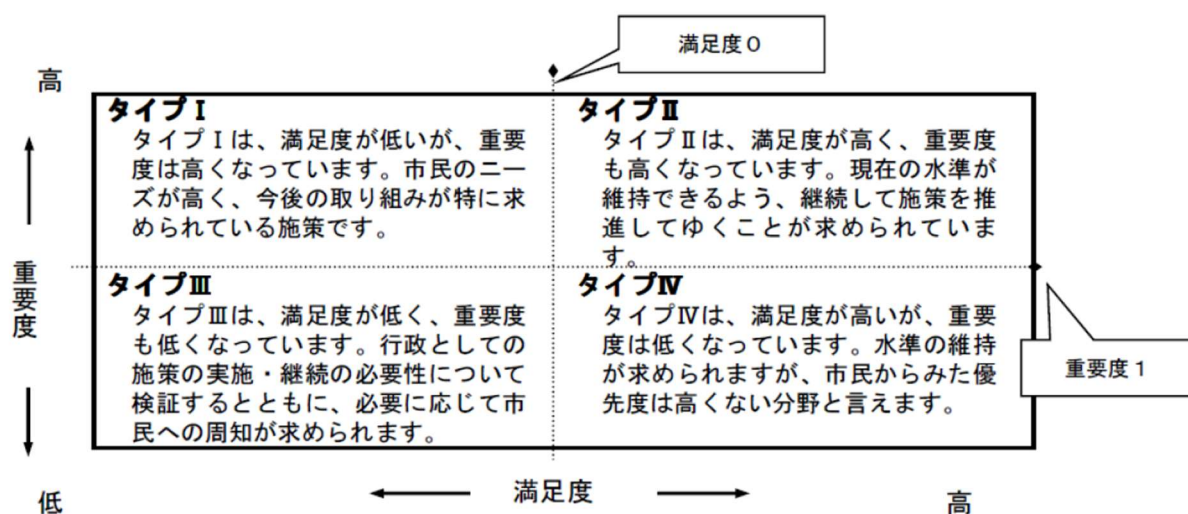
各施策に対する市民の評価を得点化し、満足度スコアと重要度スコアの2つの指標に集約することで、市民からみた施策の位置づけを示しています。得点化の方法は以下のとおりです。

回答肢	満足度	全く満足していない	あまり満足していない	普通	ある程度満足している	とても満足している
	重要度	全く重要ではない	あまり重要ではない	普通	ある程度重要である	とても重要である
スコア値		-2 点	-1 点	0 点	+1 点	+2 点

各回答を上表に基づいて得点化し、施策ごとに平均点を算出することで、各施策の満足度スコア、重要度スコアを算出します。算出にあたっては、不明・無回答を除いています。

得られた2つのスコアに基づき、「満足度0」、「重要度1」を基準として、それぞれのスコア値を4つの象限に分類することで、市民からの評価に基づく各施策の位置づけを示すことができます。なお、重要度スコアの基準を「0(ゼロ)」としていないのは、重要度については「全く重要ではない」、「あまり重要ではない」という回答が全体的に少なく、「0」を基準にするとすべての施策がプラスの象限に含まれてしまうことになるからです。

2つのスコアによって位置づけられたそれぞれの施策は、象限によって以下のように分類されます。



■スコア分類

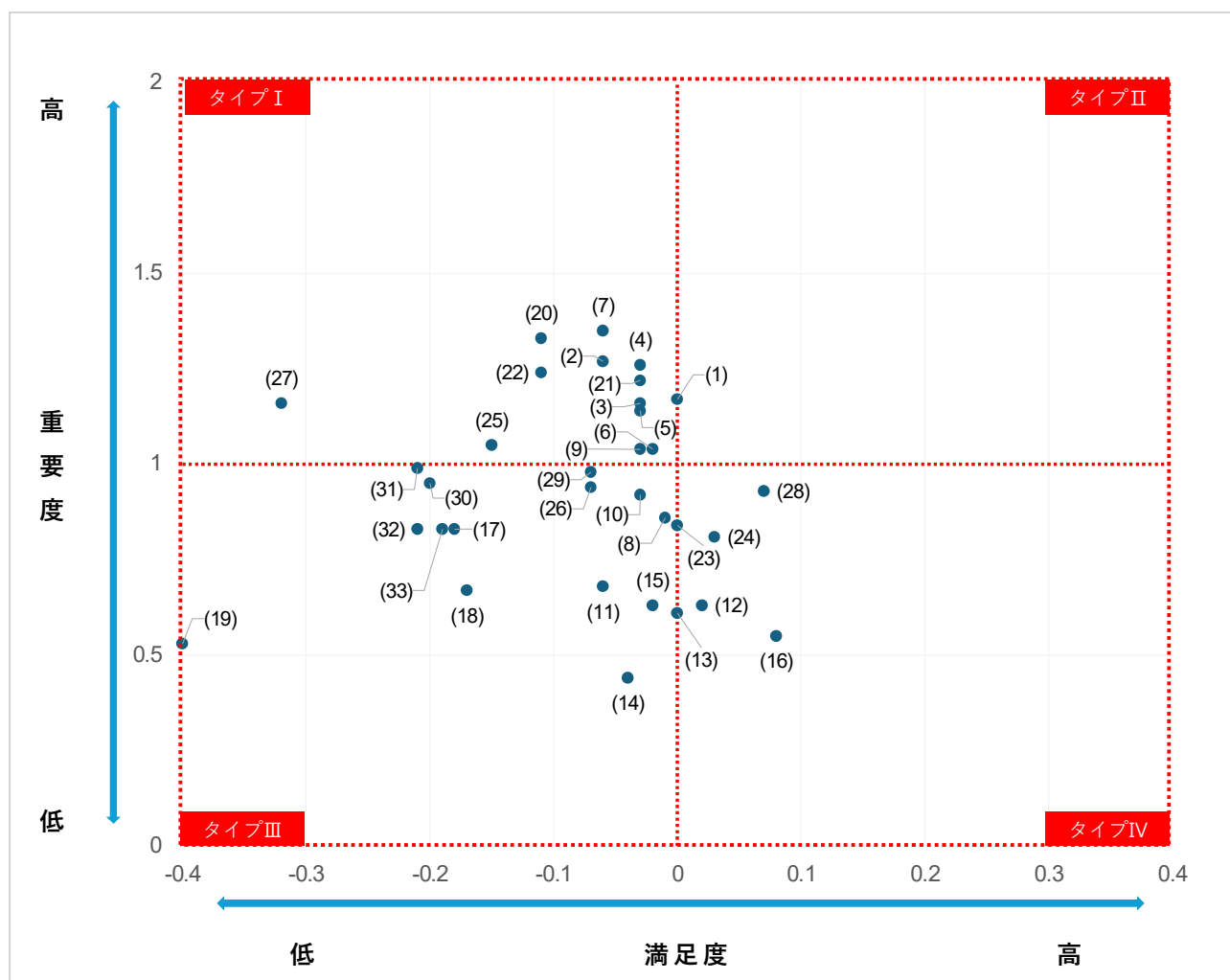
【全体結果】

市民の満足度が低く、重要度が高い施策は、市民が最優先に考える施策と考えられます。下のスコア分類では、タイプⅠに該当します。

本調査結果では、「(2)子育て支援の充実」、「(3)就学前教育・保育の充実」、「(4)学校教育の充実」、「(5)家庭・地域・学校の連携」、「(6)地域福祉の推進」、「(7)医療提供体制の充実」、「(9)高齢者福祉の充実」、「(20)災害対策の強化」、「(21)生活安全対策の強化」、「(22)交通安全対策の強化」、「(25)良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成」、「(27)道路整備の充実」の12施策が該当します。

前回調査(令和元年)調査とは施策数・施策名が異なるため、単純比較はできませんが前回のタイプⅠに該当していた施策は7施策でした。

(「医療体制の充実」、「交通安全対策の強化」、「良好な新市街地の形成」、「道路整備の充実」、「駅を中心とした拠点機能充実」、「子育てと仕事の調和」、「財政運営の健全化」)



注)表中の番号は「施策分野」に付いている番号を指す。

■満足度・重要度のスコア一覧

タイプ別	施策	満足度スコア	重要度スコア
Ⅰ	(２) 子育て支援の充実	-0.06	1.27
	(３) 就学前教育・保育の充実	-0.03	1.16
	(４) 学校教育の充実	-0.03	1.26
	(５) 家庭・地域・学校の連携	-0.03	1.14
	(６) 地域福祉の推進	-0.02	1.04
	(７) 医療提供体制の充実	-0.06	1.35
	(９) 高齢者福祉の充実	-0.03	1.04
	(２０) 災害対策の強化	-0.11	1.33
	(２１) 生活安全対策の強化	-0.03	1.22
	(２２) 交通安全対策の強化	-0.11	1.24
	(２５) 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	-0.15	1.05
	(２７) 道路整備の充実	-0.32	1.16
Ⅱ	(１) 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援	0.00	1.17
Ⅲ	(８) 健康づくりの推進	-0.01	0.86
	(１０) 障がい者福祉の充実	-0.03	0.92
	(１１) 生活困窮者支援の充実	-0.06	0.68
	(１４) 文化芸術の振興・多文化共生	-0.04	0.44
	(１５) 生涯学習とスポーツ活動の充実	-0.02	0.63
	(１７) 商工業の振興	-0.18	0.83
	(１８) 農業の振興	-0.17	0.67
	(１９) 観光の振興	-0.40	0.53
	(２６) 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	-0.07	0.94
	(２９) 下水道の整備	-0.07	0.98
	(３０) 行財政運営の最適化	-0.20	0.95
	(３１) 歳入の確保と財源の創出	-0.21	0.99
	(３２) 情報とＩＣＴの利活用	-0.21	0.83
	(３３) 行政組織の活性化・組織力の強化	-0.19	0.83
Ⅳ	(１２) 人権・多様性の尊重	0.02	0.63
	(１３) 地域コミュニティの醸成・活性化	0.00	0.61
	(１６) 歴史文化財の保存と継承・展開	0.08	0.55
	(２３) 環境問題への取り組み強化	0.00	0.84
	(２４) 自然環境・景観の保全	0.03	0.81
	(２８) 上水道の基盤強化	0.07	0.93

■前回調査(令和元年)結果

※令和元年度調査と項目が異なるため、参考として前回結果を掲載しています。

タイプ別	施策	満足度スコア	重要度スコア
Ⅰ	9) 交通安全対策の強化	-0.06	1.26
	10) 良好な新市街地の形成	-0.26	1.18
	11) 駅を中心とした拠点機能充実	-0.33	1.08
	12) 道路整備の充実	-0.22	1.13
	14) 医療体制の充実	-0.05	1.31
	24) 子育てと仕事の調和	-0.06	1.06
	34) 財政運営の健全化	-0.13	1.04
Ⅱ	1) ゴミの減量化とリサイクルの推進	0.36	1.19
	2) 環境問題への取り組み強化	0.18	1.09
	3) 自然環境（緑地）の保護	0.20	1.06
	5) 上水道の整備	0.52	1.03
	6) 下水道の整備	0.16	1.13
	7) 災害対策の充実	-0.01	1.33
	8) 防犯活動の強化	0.00	1.29
	16) 高齢者福祉の充実	0.01	1.01
	21) 学校教育の充実	0.08	1.03
Ⅲ	18) 社会保障制度の安定的運用の推進	-0.04	0.99
	22) 子ども・若者のフォローアップ	-0.01	0.89
	23) いつ・どこ・だれでも学び楽しめる環境の充実	-0.07	0.85
	25) 産業の振興	-0.28	0.83
	26) 農業の振興	-0.16	0.63
	27) 観光の振興	-0.39	0.50
	28) あらゆる人権を守る社会づくりの確立	-0.03	0.64
	29) 男女が共同参画できる地域づくり	-0.05	0.63
	31) 文化・国際交流への取り組みの推進	-0.12	0.46
	33) 地域経営システムの確立（窓口サービスの充実）	-0.02	0.75
	35) 組織活性化の推進	-0.08	0.71
	36) IT（情報通信技術）の活用	-0.15	0.83
	37) 市税等の賦課・徴収の強化	-0.09	0.63
Ⅳ	4) 住環境（景観）の保全	0.21	0.91
	13) 地域福祉の推進	0.05	0.81
	15) 市民の健康づくりの推進	0.07	0.78
	17) 障がい者福祉の充実	-0.01	0.96
	19) 家庭・地域の教育力の向上	0.10	0.85
	20) 就学前教育の充実	0.06	0.81
	30) 地域コミュニティの充実・醸成	0.05	0.66
	32) 歴史文化財の保存と継承・展開	0.10	0.59
	38) 広報・広聴の充実	0.08	0.60

■年齢別

政策	施策	満足度スコア		
		16～39歳	40～59歳	60歳以上
子育て・教育	(1) 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援	0.05	0.00	-0.03
	(2) 子育て支援の充実	0.01	-0.11	-0.04
	(3) 就学前教育・保育の充実	0.06	-0.04	-0.05
	(4) 学校教育の充実	-0.03	-0.04	0.00
	(5) 家庭・地域・学校の連携	-0.05	-0.01	-0.04
健康・福祉	(6) 地域福祉の推進	0.00	-0.06	0.01
	(7) 医療提供体制の充実	0.05	-0.14	-0.05
	(8) 健康づくりの推進	0.01	-0.09	0.05
	(9) 高齢者福祉の充実	0.07	-0.03	-0.07
	(10) 障がい者福祉の充実	0.11	-0.07	-0.06
	(11) 生活困窮者支援の充実	0.02	-0.06	-0.10
人権・協働・文化	(12) 人権・多様性の尊重	0.12	-0.02	0.01
	(13) 地域コミュニティの醸成・活性化	0.10	-0.03	-0.03
	(14) 文化芸術の振興・多文化共生	0.07	-0.09	-0.06
	(15) 生涯学習とスポーツ活動の充実	0.05	-0.11	0.02
	(16) 歴史文化財の保存と継承・展開	0.22	0.02	0.06
産業・観光	(17) 商工業の振興	-0.06	-0.29	-0.15
	(18) 農業の振興	-0.02	-0.23	-0.20
	(19) 観光の振興	-0.30	-0.52	-0.34
安全・安心	(20) 災害対策の強化	0.00	-0.17	-0.10
	(21) 生活安全対策の強化	0.14	-0.12	-0.02
	(22) 交通安全対策の強化	-0.02	-0.21	-0.07
自然・環境・都市基盤	(23) 環境問題への取り組み強化	0.02	0.01	0.00
	(24) 自然環境・景観の保全	0.14	-0.01	0.02
	(25) 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	0.02	-0.24	-0.15
	(26) 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	0.05	-0.14	-0.07
	(27) 道路整備の充実	-0.17	-0.43	-0.29
	(28) 上水道の基盤強化	0.14	-0.01	0.10
	(29) 下水道の整備	0.06	-0.19	-0.03
行政経営	(30) 行財政運営の最適化	-0.14	-0.26	-0.16
	(31) 歳入の確保と財源の創出	-0.18	-0.29	-0.14
	(32) 情報とICTの利活用	-0.23	-0.26	-0.15
	(33) 行政組織の活性化・組織力の強化	-0.11	-0.24	-0.18

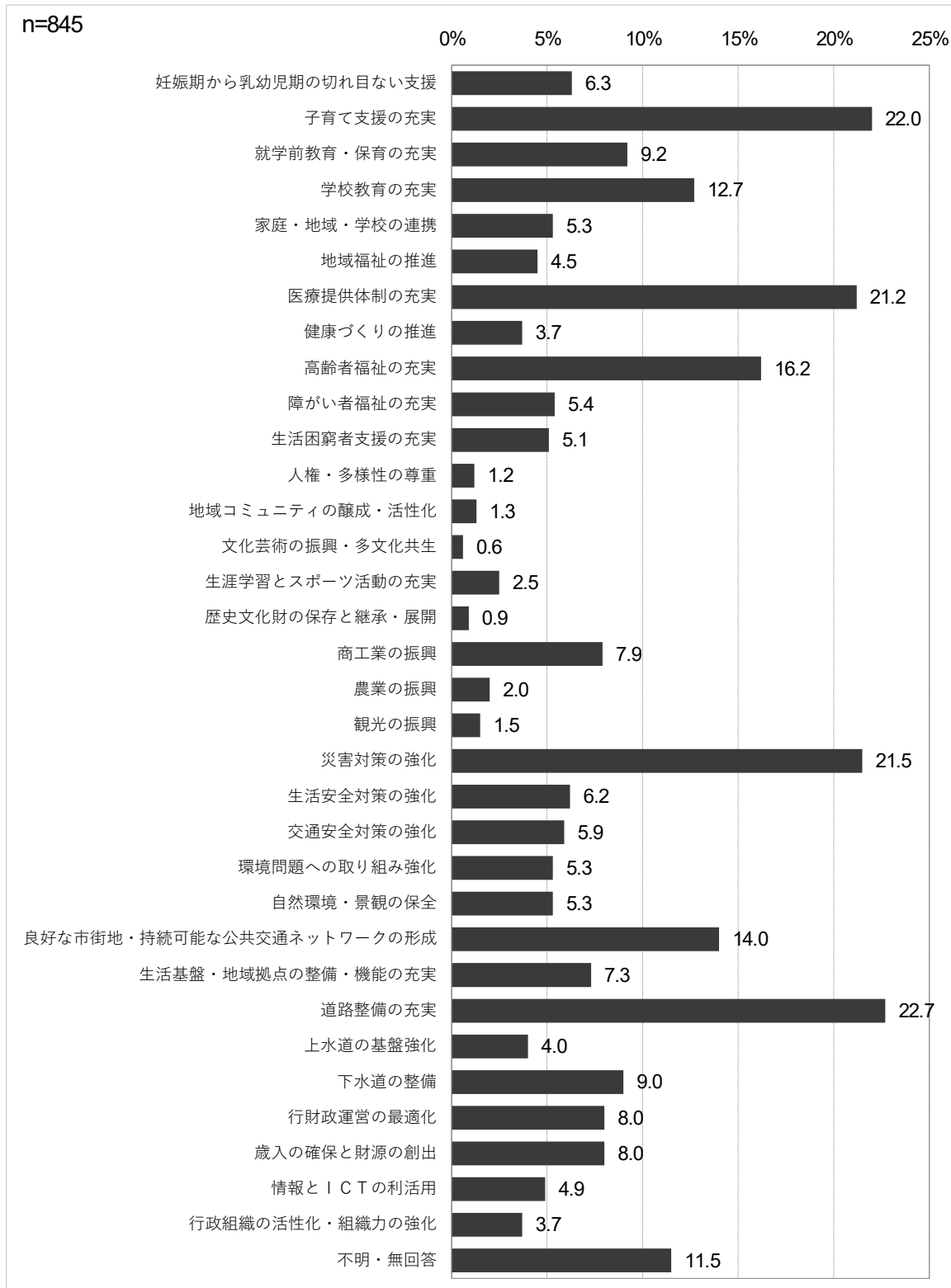
貢献度分析ページ

上記の(1)～(33)のうち、①優先的に力を入れるべきと思う施策、また、②そのために取り組みを少し後に回してもやむを得ないと思う施策をそれぞれ3つ以内で選んで、施策の番号(1)～(33)を下欄にご記入ください。

①優先的に力を入れるべきと思う施策

【全体結果】

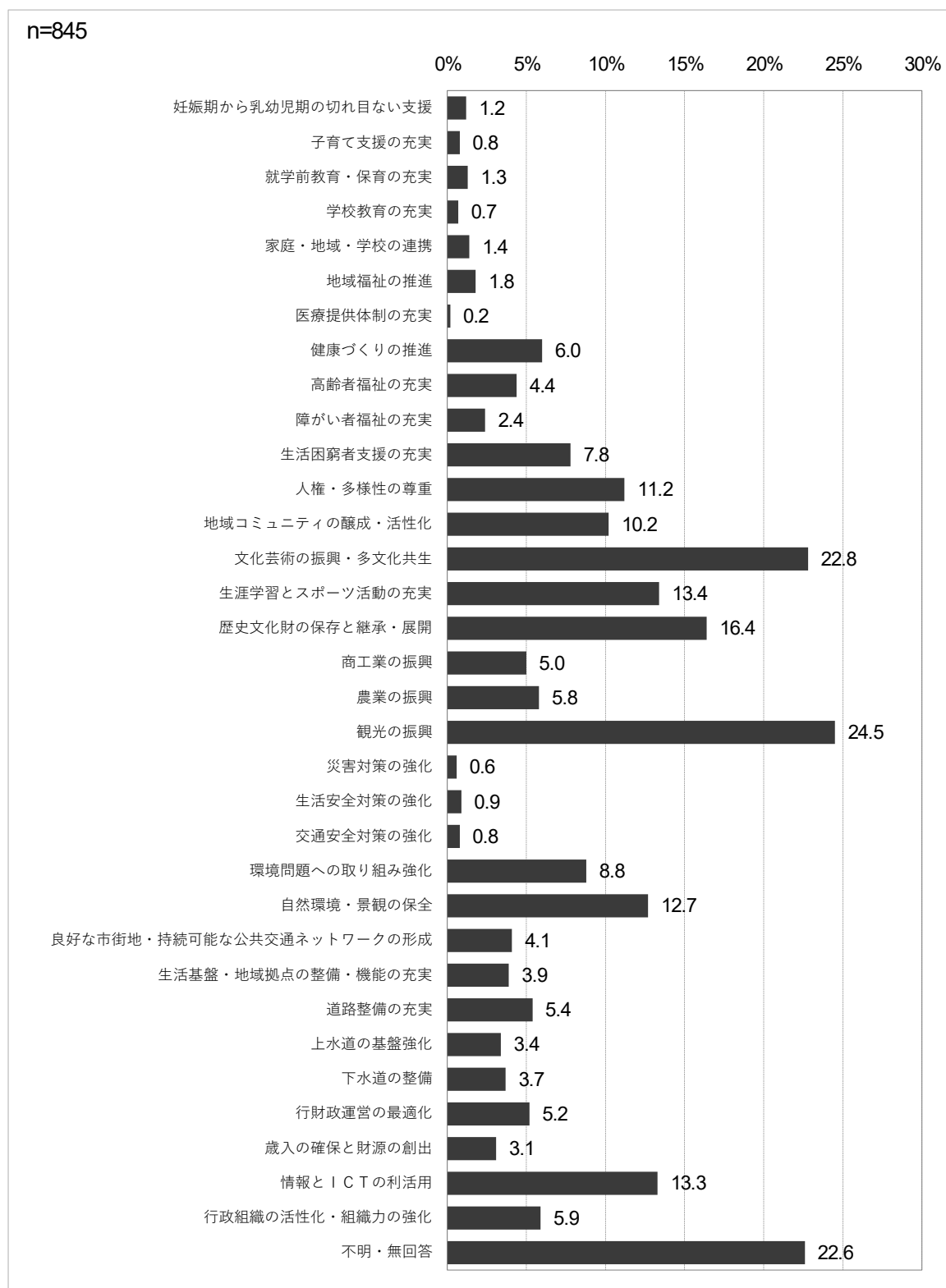
「道路整備の充実」が22.7%で最も多く、次いで「子育て支援の充実」が22.0%、「災害対策の強化」が21.5%、「医療提供体制の充実」が21.2%が続いています。



②後に回してもやむを得ないと思う施策

【全体結果】

「観光の振興」が24.5%で最も多く、次いで「文化芸術の振興・多文化共生」が22.8%が続いています。

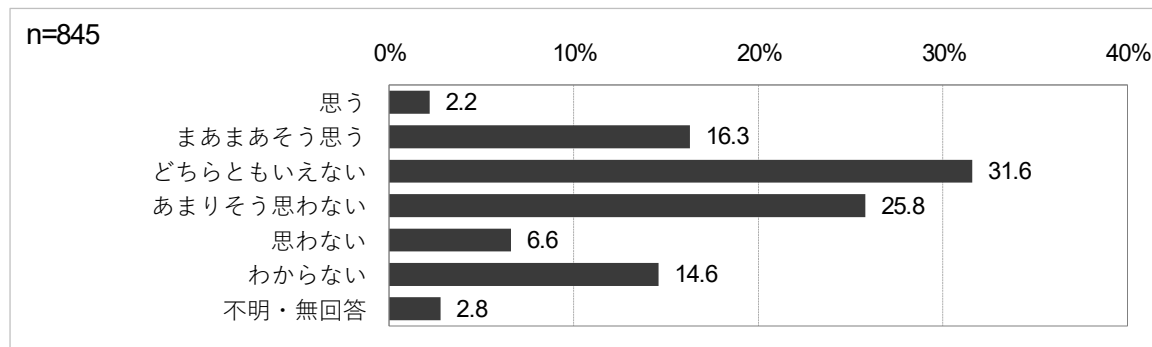


Ⅲ. 市民協働のまちづくりについて

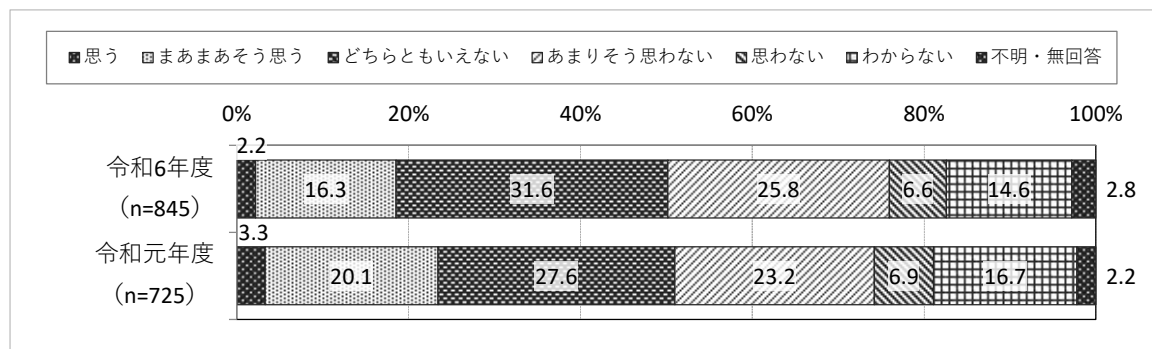
問10 現在の香芝市は、市民と行政が協働してまちづくりに取り組むことができていると思いますか。
(1つに○)

【全体結果】

「どちらともいえない」が31.6%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が25.8%が続いています。
前回調査(令和元年)調査からの変化を見ると、「思う」と「まあまあそう思う」の合計は、減少しています。



■前回調査(令和元年)調査からの変化

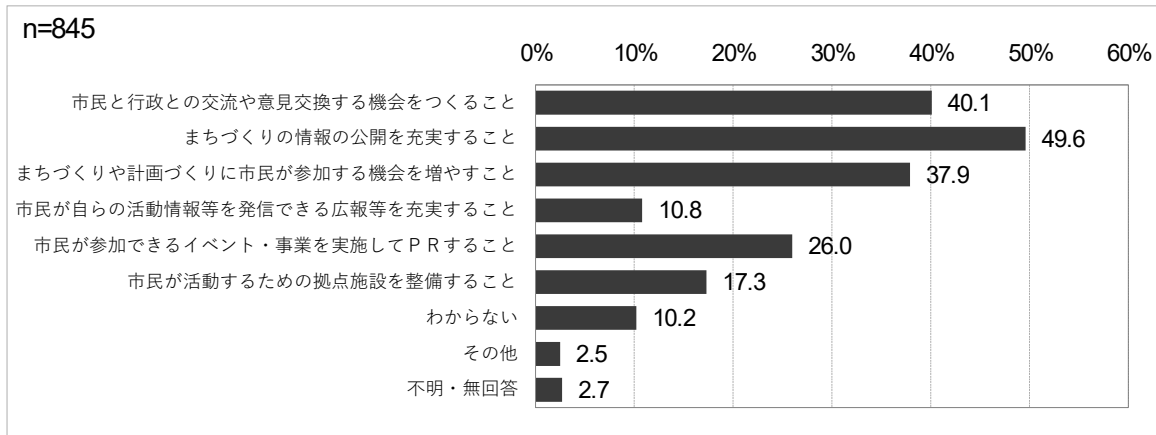


問11 市民と行政が協働してまちづくりを行ううえで、あなたが必要だと思うのはどのようなことですか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

【全体結果】

「まちづくりの情報の公開を充実すること」が49.6%で最も多く、次いで「市民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」が40.1%、「まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会を増やすこと」が37.9%で続いています。

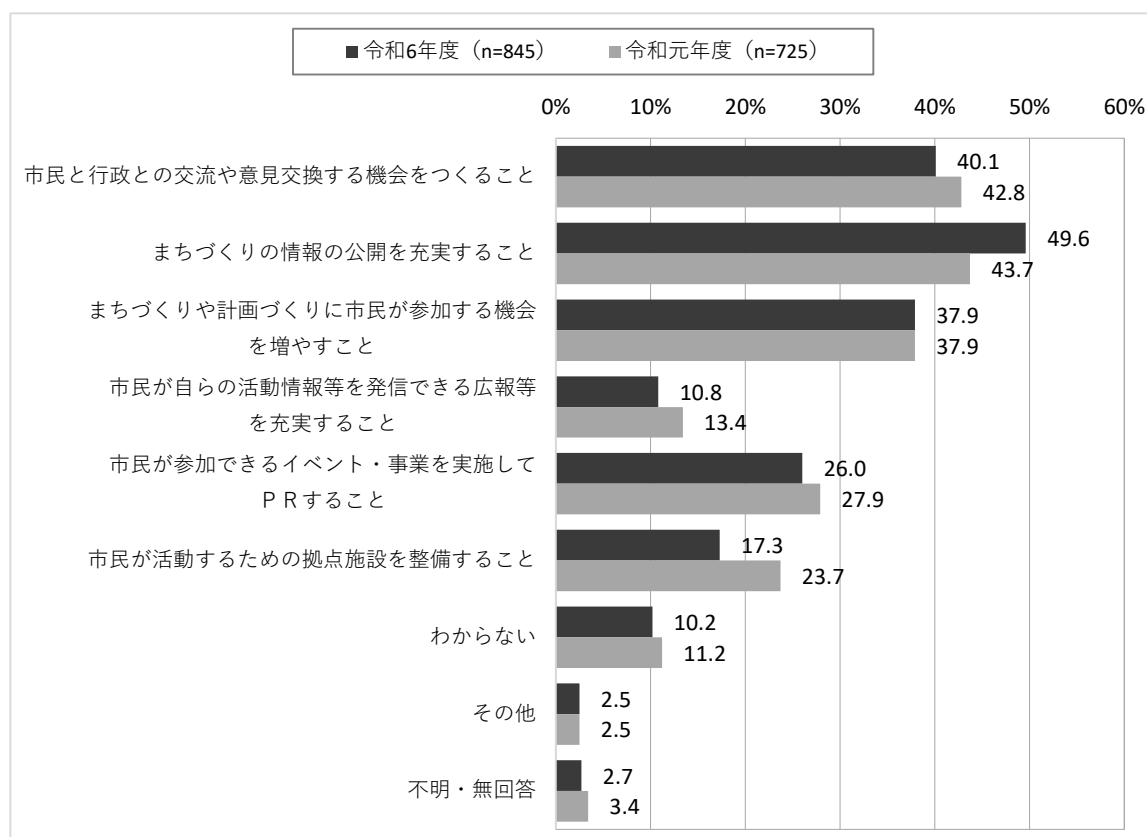
前回調査(令和元年)調査から、大きな傾向の変化はありません。



●「8.その他」回答一覧

内容	件数
市民が中心となって活動をする	2
市政の積極的な情報発信	2
一部だけでなく市民全体に恩恵が受けられるまちづくり	2
行政の積極性	1
行政が定期的に幅広く市民に調査をする	1
行政側から不可能なものは不可能とハッキリ伝える	1
高齢化社会に対応できるまちづくりを基本に進めていく	1
今回のようなアンケート	1
市議会があまり市民の意見を聞いているように思えない	1
市政の透明性を高める	1
市民が動きやすい環境を行政が作る	1
市民の意見を広く吸い上げる仕組みづくり	1
市が方向性を示す	1
若者・青年などのまちづくりの意見をまとめて提案する	1
市民のイベントをHP等で掲載してほしい	1
選挙公約の実行	1
議員報酬のカット	1

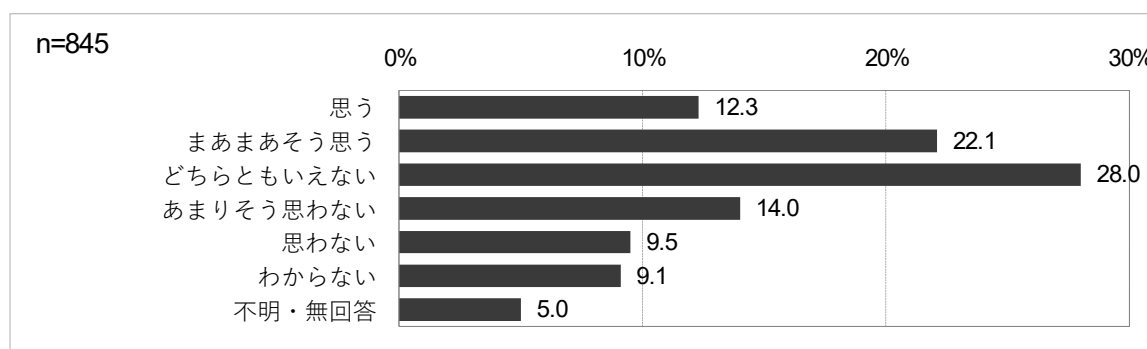
■前回調査(令和元年)調査からの変化



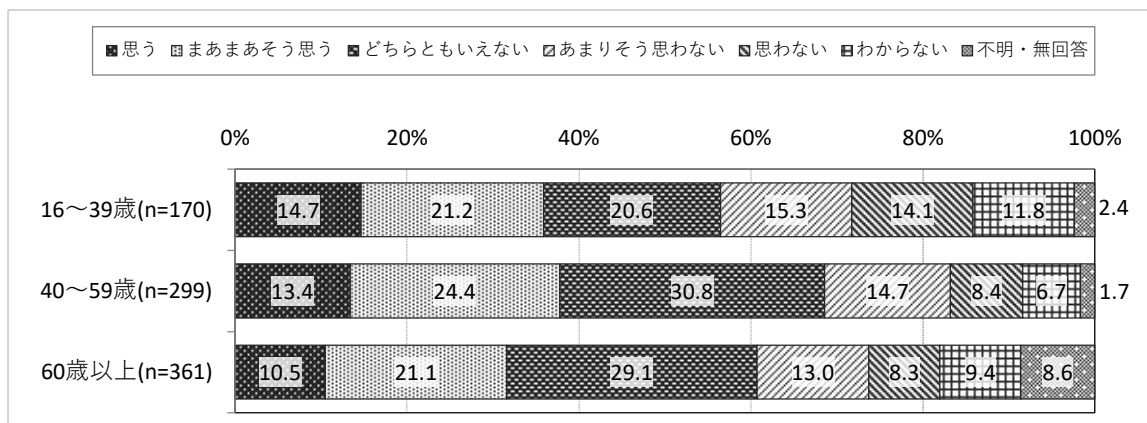
問12 あなたは行政に対して、自分の意見やアイデアを伝えたいと思いますか。(1つに○)

【全体結果】

「どちらともいえない」が28.0%で最も多く、次いで「まあまあそう思う」が22.1%が続いています。年齢別にみると、16～39歳は、「思う」も、「思わない」も、他の世代より回答割合が高くなっています。40～59歳では、「思う」と「ややそう思う」の合計が他の世代と比べて最も高くなっています。



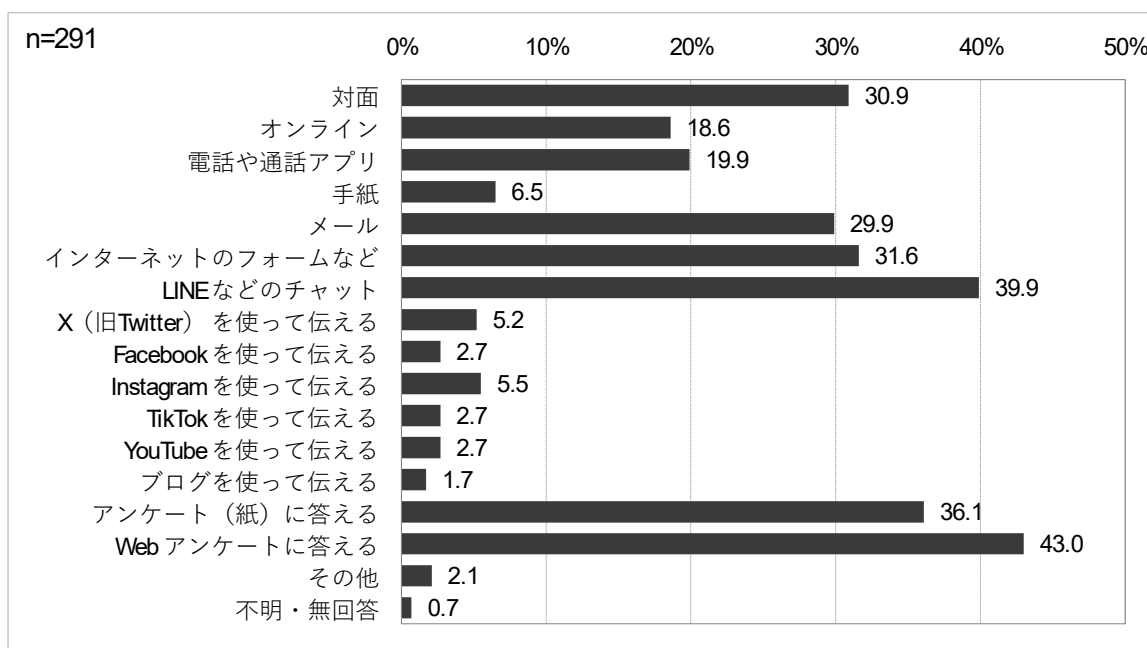
■年齢別



問13 問12で「1.」または「2.」に○をつけた方のみお答えください。
 どのような方法や手段があれば、あなたは自治体に対して意見を伝えやすいですか。
 (あてはまるものすべてに○をつけてください)

【全体結果】

「Web アンケートに答える」が43.0%で最も高く、次いで「LINE などのチャット」が39.9%、「アンケート(紙)に答える」が36.1%が続いています。



●「16.その他」回答一覧

内容	件数
意見箱・用紙等。記入例として、～をして欲しい…など例えが記入された用紙や箱の近くに例を記した表示をするなど	1
議員さんと話したい	1
自治体が市民の意見を積極的に取入れることが、最重要(伝えるだけでは無意味)	1
専用アプリ	1
対面型政策説明会を行ったら良いと思う	1
有線放送設置してほしい	1

問14 すべての方にうかがいます。

下表の中で、①市民ができること・担うべきこと、②行政が担うべきことは何だと思いますか。それぞれ特にあてはまると思うものを3つ以内で選んで、選択肢の数字を下欄にご記入ください。また、選択肢の番号に関する具体的な活動の提案等があれば、それぞれご自由にお書きください。

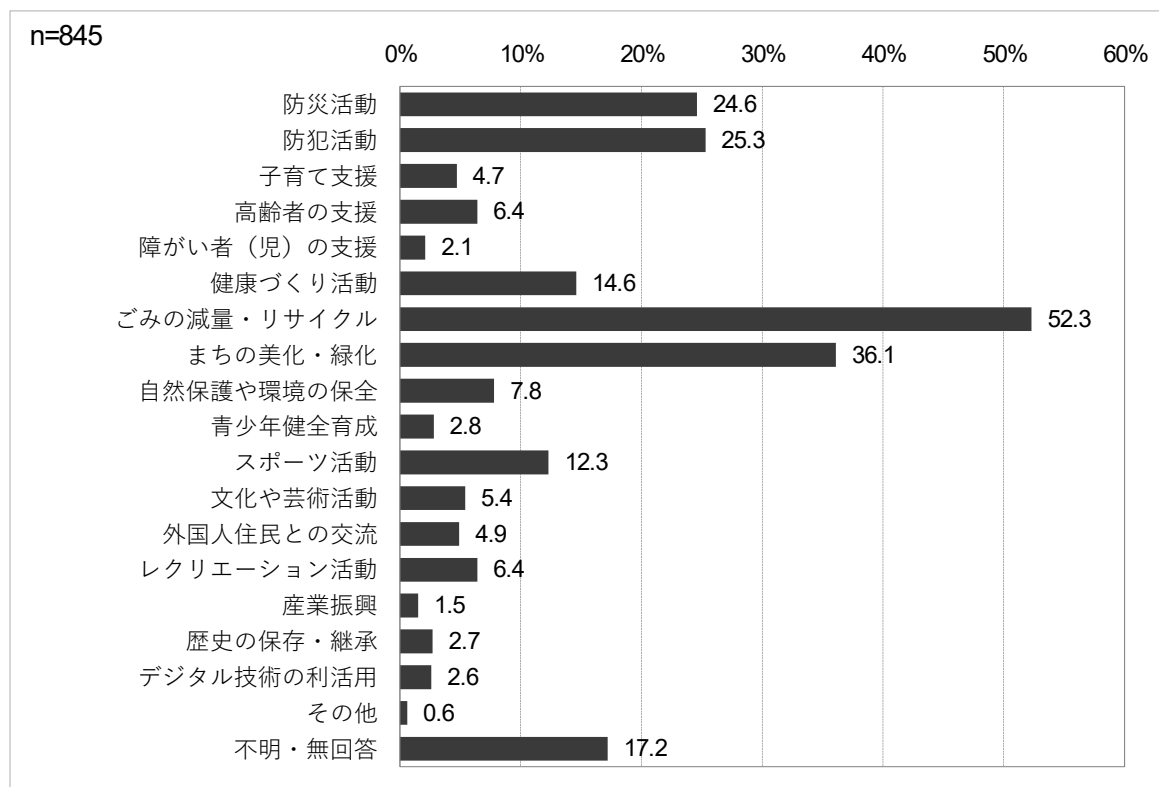
① 市民ができること・担うべきこと

【全体結果】

「ごみの減量・リサイクル」が52.3%で最も多く、次いで「まちの美化・緑化」が36.1%、「防犯活動」が25.3%、「防災活動」が24.6%で続いています。

年齢別にみると、「高齢者の支援」では年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。「スポーツ活動」は、16～39歳、40～59歳で回答割合が高くなっています。

前回調査(令和元年)調査からの変化をみると、上位4項目に変動はありません。



●「具体的な活動の提案等」回答一覧

1. 防災運動

内容	件数
自治会・地区での計画や避難訓練等の取り組み	20
個人や家庭での食料等の備蓄	7
ハザードマップや避難場所の把握	5
自助の意識を持った検討や準備	4
やがて来る災害に何をすべきか検討・準備	3
近所づきあいを密にする	2
避難訓練等への参加	2
家庭での防災に対する意識作り	1
助け合い	1
点検箇所の確認	1
地域の高齢者の把握	1
防災組織の強化	1
消防団による見回り	1

2.防犯活動

内容	件数
地域の人とお互いに声かけをする	10
見守り活動(通学路など)	9
あいさつをしあう	3
近所で協力しあえるよう近所づきあいをしておく	8
パトロールを行う	5
自治会での見回りなど自主防犯活動の実施	6
不審者情報の共有	3
ポスターの設置	1
防犯カメラの設置	1
夜間の取り締まりの充実	1
各家庭夜の1カ所点灯	1
戸締り	1
不審者など発見した時にスピーディーな連携をとる組織の結成	1
ウォーキングを日課としている人がパトロール	1
散歩の時間を児童生徒の登下校に合わせる	1
個人や家庭の意識作り	1
身近な人との情報交換・共有	1
行政への情報共有	1
ファミリーサポートセンター・保健所などの活用	1

3.子育て支援

内容	件数
シニア・高齢者が協力・活動	3
登下校の見守り	3
子育て経験のある女性の活用	1
子どものあそび場、イベントの企画	1
きゅうびいクラブなど	1
保育ボランティア	1
家のまわりのこまめな掃除	1

4.高齢者の支援

内容	件数
元気・健康な高齢者の活用による支え合い	4
近所での声かけ	2
ボランティアでできることを支援	2
見守り	1
若い世代との交流	1
空き家の活用で地域の独居老人を活動に導く	1
老人会活動の中心的事項	1
交通面での助け合い	1
居宅訪問し、必要な時行政につなぐ	1

5.障がい者(児)の支援

内容	件数
障がいに関する知識を得る場を作る	1
各企業が雇用の増加など障がい者の方がいきいき生活できる基盤作り	1
相談支援機関を増やすように役所に相談	1

6. 健康づくり活動

内容	件数
ウォーキング	4
ラジオ体操会などの実施	3
まずは活動に参加してみること	2
健康診断を受ける	2
自ら意識して健康活動	2
公園の活用	2
自分にあった体力管理	1
ラジオ体操	1
健康食事作成の伝達	1
ウォーキング集会	1
老人会活動の中心的事項	1

7. ごみの減量・リサイクル

内容	件数
ごみの分別・リサイクルのための分別の徹底	21
ごみの減量、必要なもののみ購入してごみを減らす	13
ごみの減量・リサイクルへの意識	5
各家庭でのごみ減量への意識	4
バザーの開催	2
地域の学校・自治体で組織し定期的に訪問や集会	1
広告で物々交換	1
リサイクル店へ売りに行く	1
リサイクルのアイデアを共有	1
健康で元気な高齢者の活用	1

8. まちの美化・緑化

内容	件数
家の周りや地域の美化・清掃活動	12
個人・団体でのごみ拾い	7
自治会による地域清掃の実施・継続	6
ごみ拾いや花植えボランティア活動	5
ごみのポイ捨てをしない	5
ペット散歩時、フンを放置せず飼い主が持ち帰る	2
公園の美化活動	2
花を植える	2
保・幼・小・中などで募集があればごみ拾いに参加	1
元気なシニアの方に花等を植えてもらう	1
生活保護をもらっている人(元気な人)に草むしり、その他を手伝ってもらう	1
地域コミュニティの活性化	1
自分達の住んでる所を常に掃除するようにスケジュール化	1
小学生や中学生が教育の一環として、お花を育てたりゴミ拾いをするなどの活動を行う	1
日々の庭の維持	1
プロギング(ごみ拾いをしながら走るフィットネス)	1
植林	1
建築の美化	1
美化に努めるよう声をかけあう	1

9.自然保護や環境の保全

内容	件数
個々が住む地域をできるだけ美しく	3
ポイ捨てをしない	1
住民が心地よい環境づくりに意識	1
コミュニティ財団を作り、まちづくりや民間でできることをする	1
ゴミ拾い運動等自治会単位での実施	1
ペットの飼い主のマナーの向上	1

10.青少年健全育成

内容	件数
あいさつ	4
地域行事への参加の呼びかけ	1
学校との連携	1
スポ少などのスポーツの振興	1
育友会以外にも支援やサポート可能な方を募る	1
声かけ	1
スペシャリストに移住してもらえるように地域を盛り上げる	1

11.スポーツ活動

内容	件数
スポーツ活動の実施	1
スポーツイベントへ参加し盛り上げる	1
大会ボランティア	1
地域ぐるみ、学校との連携	1
誰でも参加できる場所づくり	1
市民参加が必要	1
スポーツをすることで健康な人が増えるなどメリットの提示	1

12.文化や芸術活動

内容	件数
市民コンサートの実施	2
ダンスフェスティバル・バトルの実施	1
国際感覚を身につける	1
コミュニティ財団を作り、寄付を芸術やまちづくり活性化に役立てる	1
SNS で発信	1
活動発表の場	1
基礎的な技術の習得の機会を持つ	1
歴史好きの会	1

13.外国人住民との交流

内容	件数
ボランティア活動	2
日本語教室の実施	1
あいさつ	1
声かけ	1
子どもたちと交流する場	1
外国語を学習できる機会を増やせるよう考える	1
近隣の外国人との交流	1
自治会で実施	1

14.レクリエーション活動

内容	件数
お祭りの告知をしっかりとる	1
専門性の高い者が中心となる	1
みんなが参加できる	1
町内交流を図る	1
サークル活動	1
大型モール等でのイベント開催	1

15.産業振興

内容	件数
IT 産業復興	1
もっと県外の人にも知ってもらって過疎化を回避	1

16.歴史の保存・継承

内容	件数
クラブ・サークル活動の支援	2
SNS で発信	1
神社・寺の行事の参加	1
語り部	1
専門性の高い人が中心となる	1
有志による活動	1

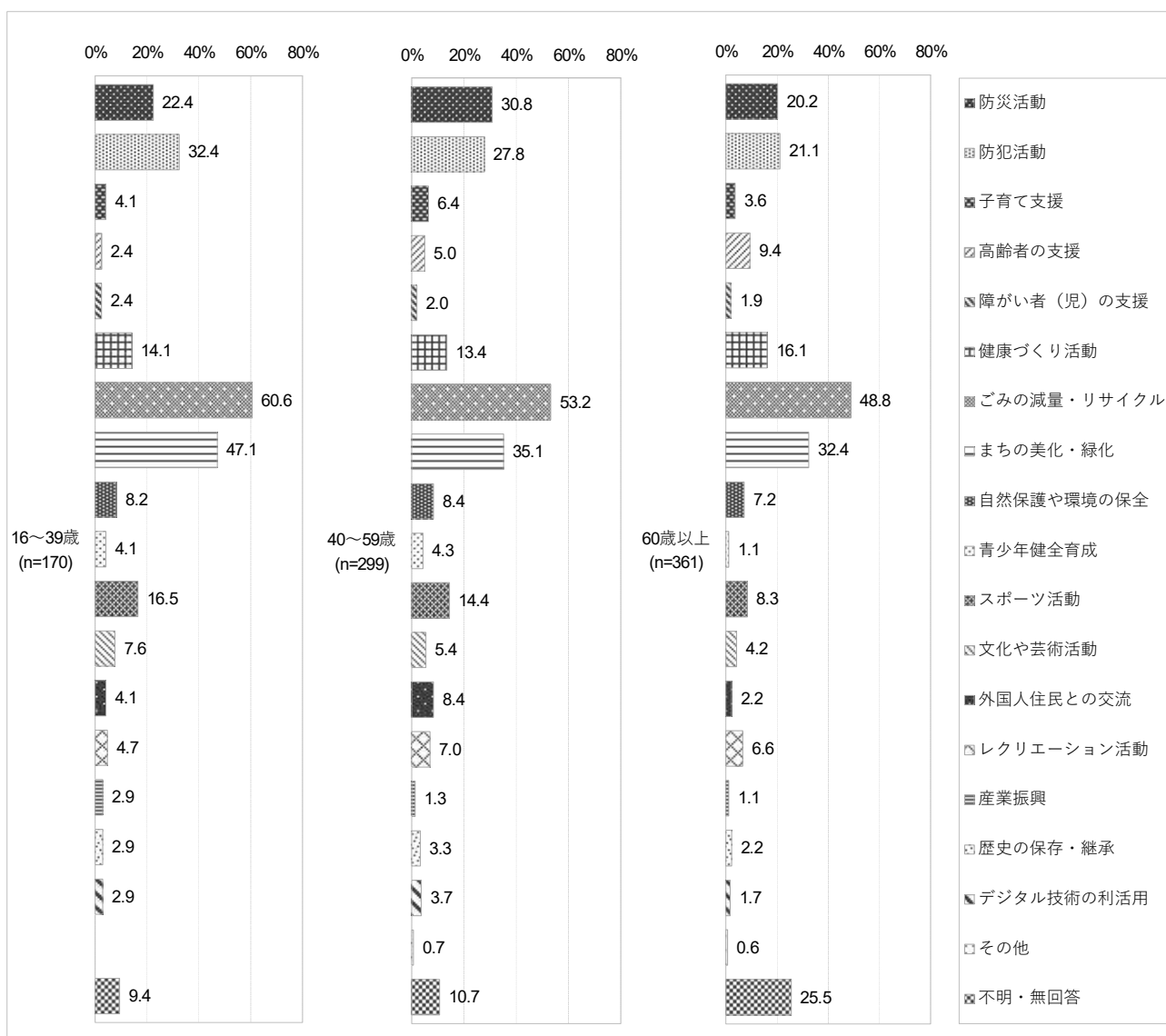
17.デジタル技術の利活用

内容	件数
デジタルをわかっている市民が知らない市民に教える	1
スマホなどで情報を得られるようにする	1
民間企業の技術力を提供	1

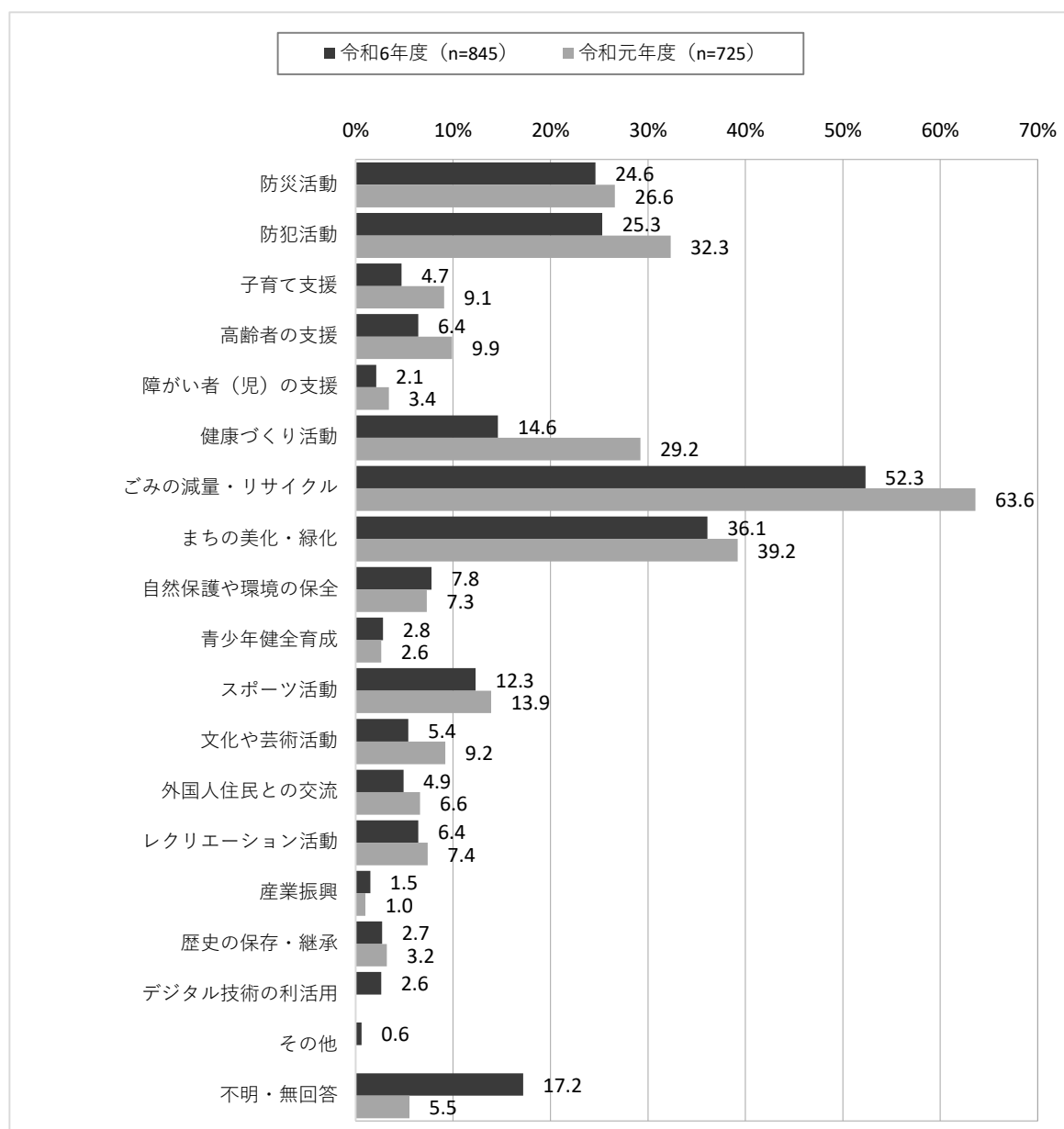
18.その他

内容	件数
ボランティアで動物愛護	1
ペットに対して優しい町	1
自治会を悩み解決や意見交換の場として機能させたい	1
旧村の人達と転入の人達の交わり	1

■年齢別



■前回調査(令和元年)からの変化



※前回の選択肢に「デジタル技術の利活用」はありませんでした。

②行政が担うべきこと

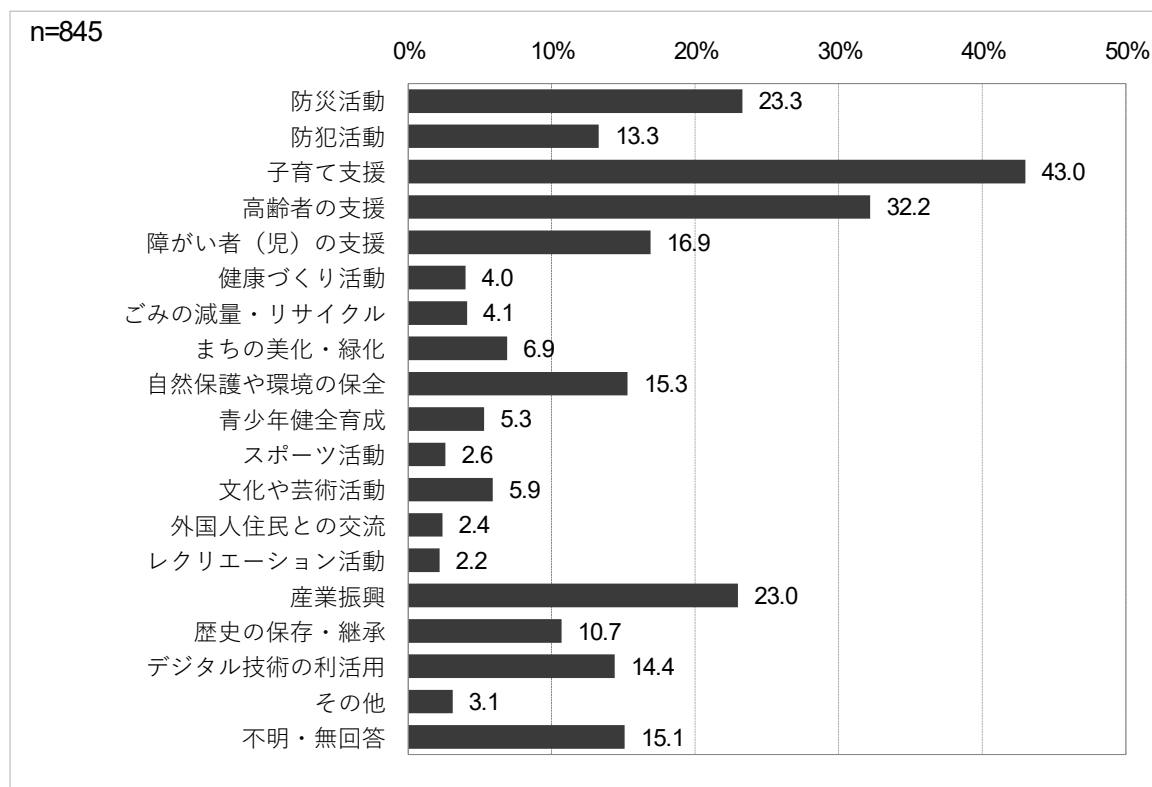
【全体結果】

「子育て支援」が43.0%で最も多く、次いで「高齢者の支援」が32.2%が続いています。

年齢別にみると「子育て支援」が、年齢が低いほど、回答割合が高くなっており、16～39歳では68.2%と、突出して回答割合が高くなっています。「高齢者の支援」が40～59歳では回答割合が最も高くなっています。

前回調査(令和元年)からの変化をみると、上位5項目のなかで「子育て支援」の割合のみ増加しています。

前回調査で、質問項目になかった「デジタル技術の利活用」は、14.4%となっています。



●「具体的な活動の提案等」回答一覧

1. 防災運動

内容	件数
避難所・避難場所の増設・充実	4
備蓄の確保	3
市民を含めた防災・避難訓練の実施	3
防災グッズの支給	2
防災マップの作成・配布	2
消防等と連携した異常気象に対する対策強化	2
システム・ルール・手順等の共通化	1
災害が起きたとき司令塔として機能するように	1
物資運搬をスムーズに	1
市内をゆっくり走って観察	1
自治会の避難訓練への参加	1
自治会への支援	1
耐震工事への支援	1
南海トラフを意識した具体的な防災方法の情報発信	1
南海トラフ発生時に個別のテントに入居できるような備え	1
高齢者の話を聞きに行く	1
市民への啓発	1
活動の報告	1

耐震調査	1
地震や水害から市民を守るための組織を作る	1

2.防犯活動

内容	件数
警察の巡回の強化・回数を増やす	4
防犯カメラの設置	4
街灯の設置・増設	4
対策方法などの情報発信	2
見守り活動への支援	1
警察に頑張ってもらく	1
夜間のパトロール	1
信号や横断歩道の設置	1
有線放送を取り付け	1
市内の観察	1
清掃	1
見守り活動	1
窃盗を無くす	1

3.子育て支援

内容	件数
経済的支援・手当	16
教育費の無償化(学費・保育料などあらゆる無償化)	6
保育所の充実	5
明石市のような政策・支援	3
給食費の無償化	3
医療費の無償化	2
放課後預かりの充実	2
塾代助成	2
産婦人科の充実	2
教員・保育士の給与 UP	2
子育て世帯を対象としたイベント・交流会	2
公教育の充実	2
子どもを預かれる施設の設置	2
ひとり親だけでなく、平等な支援	1
子供向け施設の設置	1
放課後や休日のサポート	1
学童保育の充実	1
自習室の設置	1
子どもを守る活動	1
公園の設置	1
子どもを育てやすい環境づくり	1
市民の声を聴く	1
自治会イベントの支援	1
学校統廃合の見直し	1
少子化対策	1
情報発信	1
経済的支援や物的な支援	1
行政で輪を作る	1
幼稚園の充実	1
通学路の整備	1

土日の居場所づくり	1
保育・学童の預かり時間延長	1
同居家族の負担軽減	1
おむつ配布	1
習い事支援	1
不登校の子を持つ家族への支援	1
困った時の相談場所	1
子どもが産める環境整備	1
習い事への送り迎えの仕組み	1
児童手当の拡充	1
第3子以降への援助	1
デマンド交通・コミュニティバスの増便	1
周辺自治体と同等の支援(先進例から実行)	1

4.高齢者の支援

内容	件数
高齢者同士や若者と交流ができる場など家にこもらないで済む場所の提供	4
1人住まいや外出しにくい方への支援	4
コミュニティバスの充実(本数増加、区間増加)	3
制度等のわかりやすい情報発信	3
免許返納支援	2
デマンドバスの充実	2
高齢者の見守り、支援が必要な方には動く	2
ゴミ出し・買い物補助などサポート体制づくり	2
買い物難民とならないような公共交通機関の整備	2
介護支援の充実	2
老人ホームの増設	1
訪問してきめ細やかな支援	1
支える側の賃上げ	1
方針を市民に示す	1
白タク制度導入支援	1
元気な高齢者が働ける場所を作る	1
総合福祉センターで高齢者対象の行事も開催	1
訪問介護の充実	1
高齢者が外出したくなるイベント・レクリエーションの企画	1
行政機関と地域の組織づくり	1
高齢者が住みやすい環境づくり	1
高齢者に対するの楽しみ(老人会など以外)	1
市民の声を聞く	1
自治会単位で集まれる場を作る支援	1
同居家族の負担軽減	1
避難場所の環境確保	1
ギフト券などの配布	1
弱者を出さない	1

5.障がい者(児)の支援

内容	件数
障がい者(児)支援施設の充実・拡充	5
本人(と家族)が安心して暮らせるサポートを当人の声を聞く	2
バリアフリー	1

障がい児者同士や健常児者と共に集まれるイベントを積極的に開催	1
女子のショートステイ先、グループホームの拡充	1
災害時の各自治会での受け入れ場所	1
障がい者も健常者も平等・対等であることがわかる市民の育成	1
同居家族の負担軽減	1
それぞれの家庭事情に合わせた支援の提供・提案	1
介護支援の充実	1
特別支援にかかわる先生の人選をもっと慎重に	1
弱者を出さない	1
明石市の取組み	1

6. 健康づくり活動

内容	件数
高齢者向け遊具の設置(背のばしベンチ・あんばベンチ・ぶら下がりなど(参考:大和市))	1
万歩計の貸出	1
香芝生喜病院の利活用	1
高齢者が参加できる脳トレや身体を動かせる場を作る(参考:王寺町)	1
市民が参加しやすいようなスポーツイベントや高齢者も気軽に参加できるような企画を推進	1
奈良県を代表するようスポーツ施設	1
健康診断・人間ドッグの支援	1
公園に健康器具の設置	1

7. ごみの減量・リサイクル

内容	件数
ゴミ袋の有料化	2
リサイクル・資源回収を実施している施設を明確化・発信	2
生ごみを減らすことの主導	1
リサイクルによるポイントでゴミ袋交換	1
プラスチックの分別回収	1
牛乳パックリサイクル BOX の設置	1
民間と協力してリサイクルや堆肥化を行政が推し進める	1
不燃物の日を作る	1
有害ゴミやカン・びんは自己搬入できる場所を設ける	1
リサイクルごみ収集場の増設	1
広域で共通化したルール	1
不要物を回収し、欲しい方への販売。	1
リサイクルの機会を作り、不用品交換会などを開く	1
全ての家庭から出る一般廃棄物を収集・処理できる仕組みづくり	1

8. まちの美化・緑化

内容	件数
ごみのポイ捨てや道路沿いの雑草への対応	2
道路整備	2
浄化槽による汚水の流れ込み対策	1
ボランティア活動への補助金	1
まちの清掃活動の範囲を広げる	1
街路樹の手入れ	1
香芝市の美化	1
川底掃除など業者での実施	1

野外看板の規制	1
公園美化の為に木を切してほしい	1

9.自然保護や環境の保全

内容	件数
公園の整備	4
自然を壊さないで山や緑を残す	2
スポーツ公園と子供達が遊べる遊具が沢山有る合体した大きい公園	1
地域コミュニティの活性化	1
宅地開発をしない	1
昔からある自然をもっと生かしてほしい	1
太陽光パネル設置を制限	1
二上山の破壊を行政執行によって止める	1
緑増加計画	1
外来害虫の積極的な駆除	1
野外活動センターのようなのびのびと自然とふれあえる場所	1
環境問題を防止するための施策	1
市民の声を聞く	1
森林・農業の保護	1
人間・動物が生きていて心地よいようにする	1
飼い主のマナー強化	1

10.青少年健全育成

内容	件数
子育て支援・障がい者(児)の支援などを含めた経済的支援	1
素直な青少年の育成	1
ひきこもり家庭への具体的な支援	1
学校と親の連携・PTA への関わりを密に	1
不登校への対応、子どもが社会の多様性を学べる場所の充実	1
先生に対する指導・教育	1

11.スポーツ活動

内容	件数
スポーツ施設の充実	5
スポーツ公園の整備・完成	3
市民体育大会の開催	2
ナイター設備のグラウンド	1
陸上の観点で競技場の設置	1
香芝マラソンのようなイベントを別のスポーツでもっと開催してほしい	1
子供から大人まで楽しめるイベント	1

12.文化や芸術活動

内容	件数
市の音楽会・イベントの実施	3
発表の場となるような文化施設の充実	3
市民がすごい歴史のあるまちだと認識するように発信	1
PR を行う	1
練習場所・展示会場の充実	1
駅にピアノを置く、街角ピアノを置く	1
”リビエールホール”(大阪府柏原市)ぐらいの舞台があるようなホールを作してほしい	1

公演開催	1
文化芸術鑑賞等の機会を増やしてほしい	1

13.外国人住民との交流

内容	件数
イベント開催	1
異文化共生に関する講座	1
交流の場	1
広報での発信	1

14.レクリエーション活動

内容	件数
場を設ける	1

15.産業振興

内容	件数
企業誘致、工場誘致	13
大型ショッピングモール・商業施設の誘致	4
他府県からも来たくなるような魅力的なお店・施設の誘致	2
運転代行や買い物代行サービス	2
若者が入りやすいお店ができてほしい	1
若者の起業支援	1
伸ばしたい産業を決めて集中して産業振興を推進	1
昔からある産業を大切に	1
香芝市に根付いた産業の開発	1
香芝市のいろいろな店や施設の宣伝	1
奈良県初のワイナリーへの支援(経済的、広報)	1
フェスティバル等の参加、地場産野菜のアピール	1
地域の高校生・中学生と一緒に事業を行う	1
スーパー等の充実	1
リニアを想定した動き	1
産業振興のための道路交通ネットワーク整備	1
ライドシェアの導入による交通利便性向上	1

16.歴史の保存・継承

内容	件数
市民がまちの歴史を知るための冊子やHP 掲載などの PR	3
古墳・史跡周辺の整備	2
どん鶴峯付近を PR し、観光地としても活用	1
先祖が住んでた家に住んでるので活かしてほしい	1
旧集落の継承	1
博物館等の活用	1
まちなみ・景観の形成	1

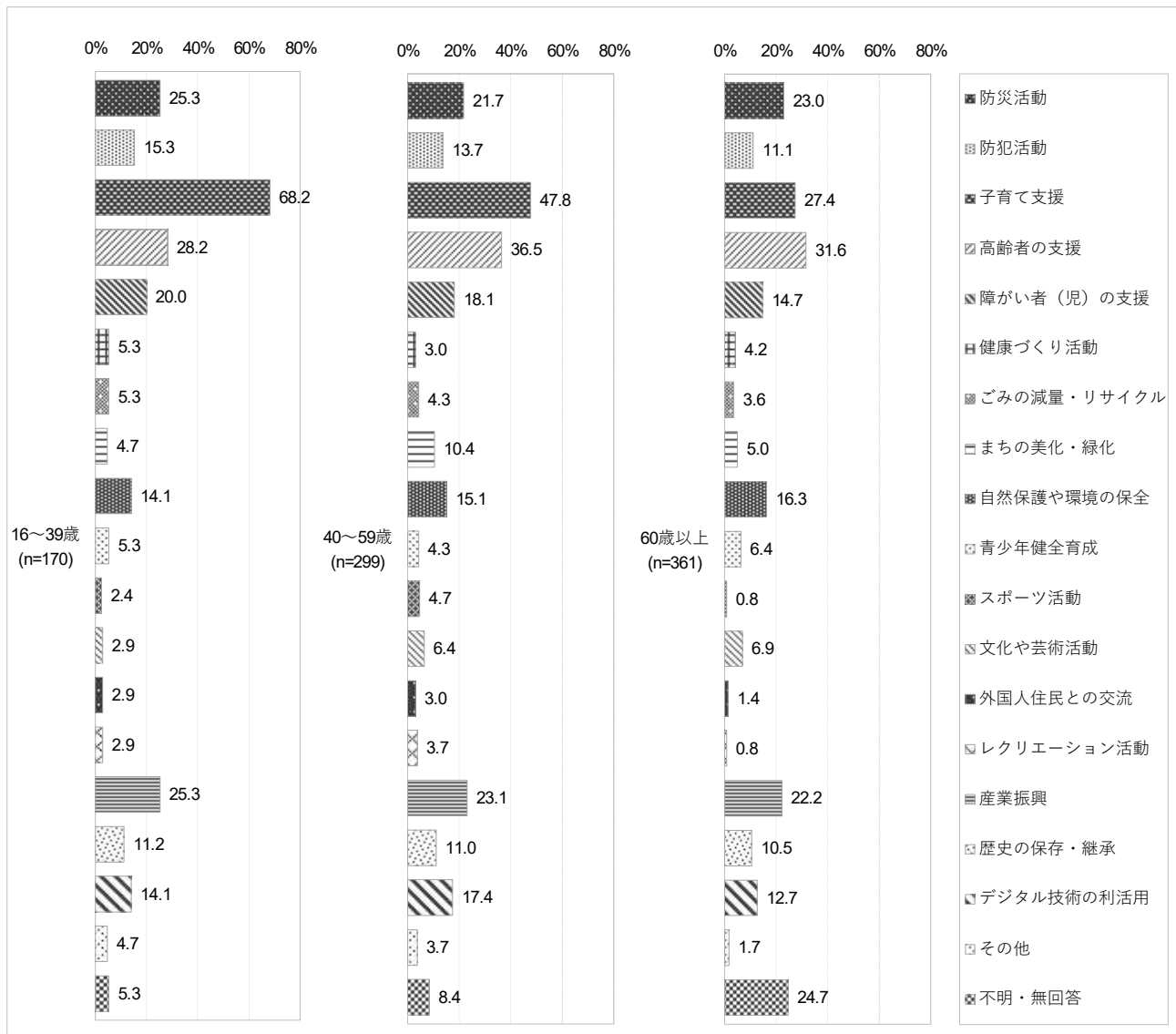
17.デジタル技術の利活用

内容	件数
市役所に行かなくて良いように行政手続き・申請などのデジタル化	5
LINE などを用いた情報発信のデジタル化	5
当アンケートのデジタル化	3
市民に向けたデジタル化講習や支援	3
デジタルを活用できる場所を増やす	1
地域のインフラ整備	1
市民へのデジタル技術活用のメリットを紹介	1
IT 企業誘致	1
ICT を用いた学校教育	1
幅広い層が利用できるようなシステムの構築	1
HP をもっと見やすく	1
自動運転のバス・タクシーによる買い物難民問題の解消	1
マイナンバーカードの活用	1
デジタル技術を利活用できる業者を活用	1
明石市の施策を参考にする	1

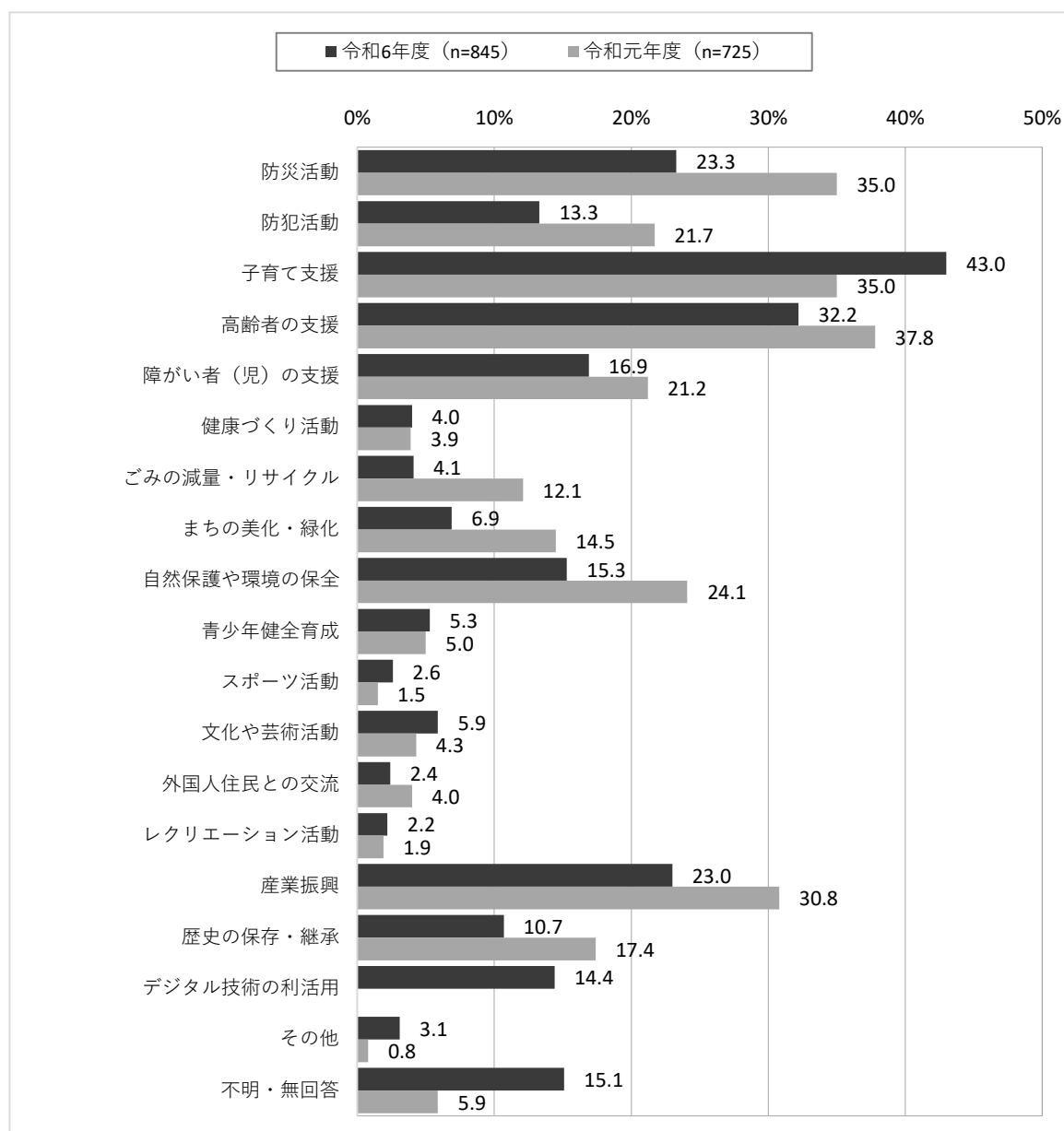
18.その他

内容	件数
道路整備・道路状況や渋滞の改善	7
動物愛護	2
正直な行政運営	1
精神科などソフト面の対応ができるクリニックが必要	1
郵便局の設置	1
未使用農地の活用	1
魅力的な企業の誘致	1
進んでいない工事の早期の完了	1
無駄な公共工事の実施をしない	1
公園の整備	1
図書館の充実	1
保育園の利用など近隣の市町村と協力して、県全体で取り組む	1
総合病院の建設	1
姉妹(友好)都市をつくり、交換留学や活動などを活発に	1
食育への取組み	1
選挙公報の迅速・適切な配布	1
多様性の尊重(制服などの性的マイノリティへの配慮)	1

■年齢別



■前回調査(令和元年)からの変化



※前回の選択肢に「デジタル技術の利活用」はありませんでした。

問15 今後、香芝市をどのようなまちにしたいですか。(あてはまるもの3つ以内に○)

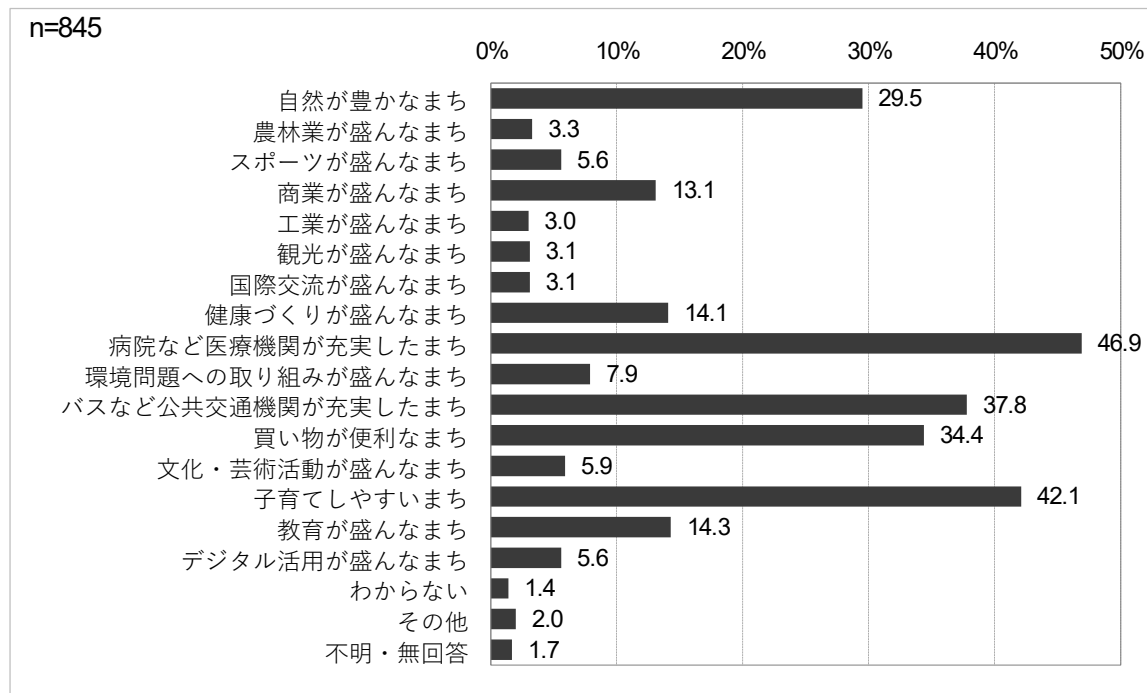
【全体結果】

「病院など医療機関が充実したまち」が46.9%で最も多く、次いで「子育てしやすいまち」が42.1%、「バスなど公共交通機関が充実したまち」が37.8%が続いています。

年齢別にみると、「自然が豊かなまち」、「健康づくりが盛んなまち」、「病院など医療機関が充実したまち」、「バスなど公共交通機関が充実したまち」では、年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。

逆に「買い物が便利なまち」、「子育てしやすいまち」、「教育が盛んなまち」では、年齢が低いほど、回答割合が高くなっています。

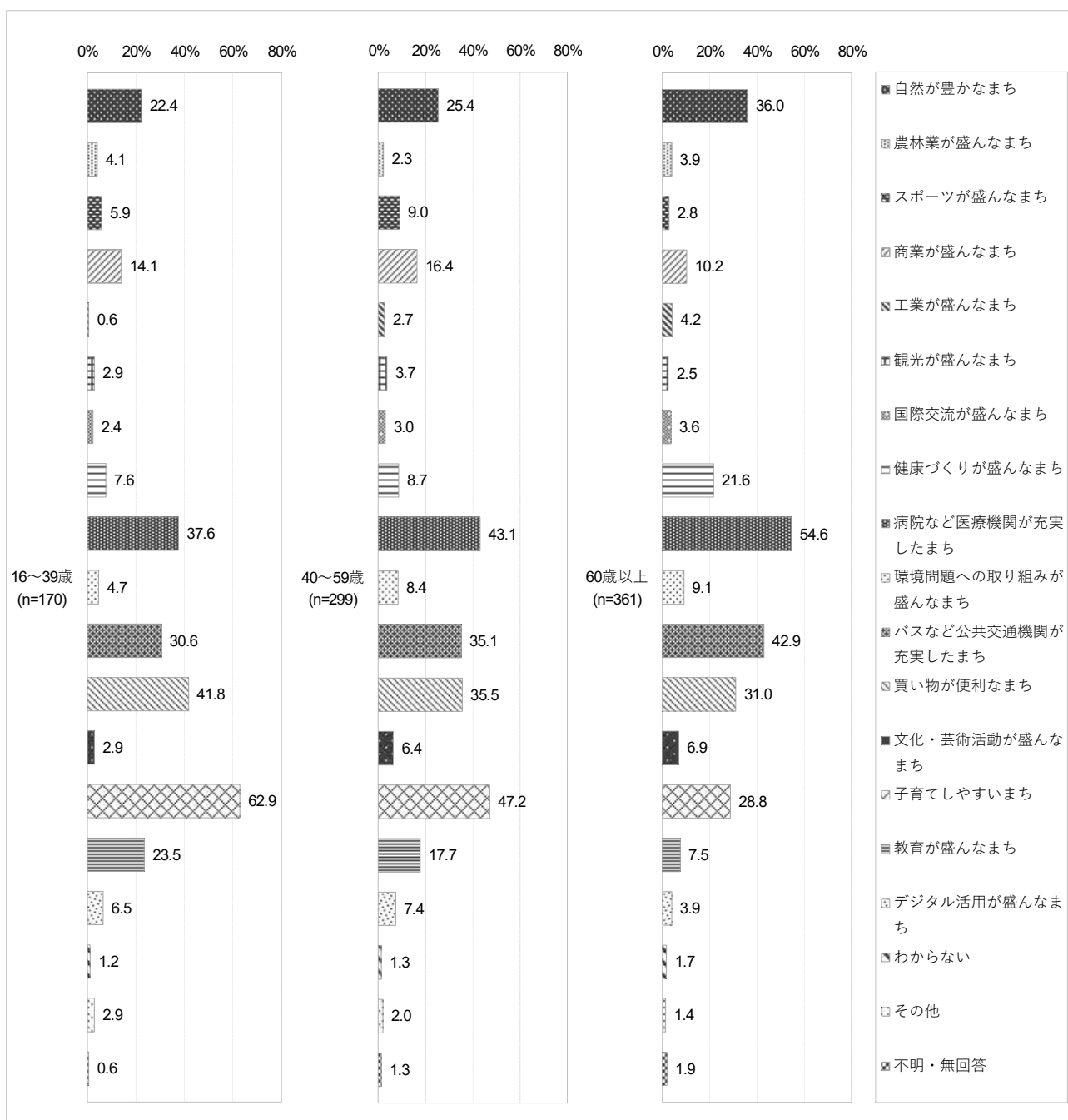
前回調査(令和元年)からの変化をみると、上位項目に大きな変動はありませんが、「買い物が便利なまち」の回答割合が上昇した一方で、「自然が豊かなまち」の回答割合が減少し、順位が入れ替わりしました。



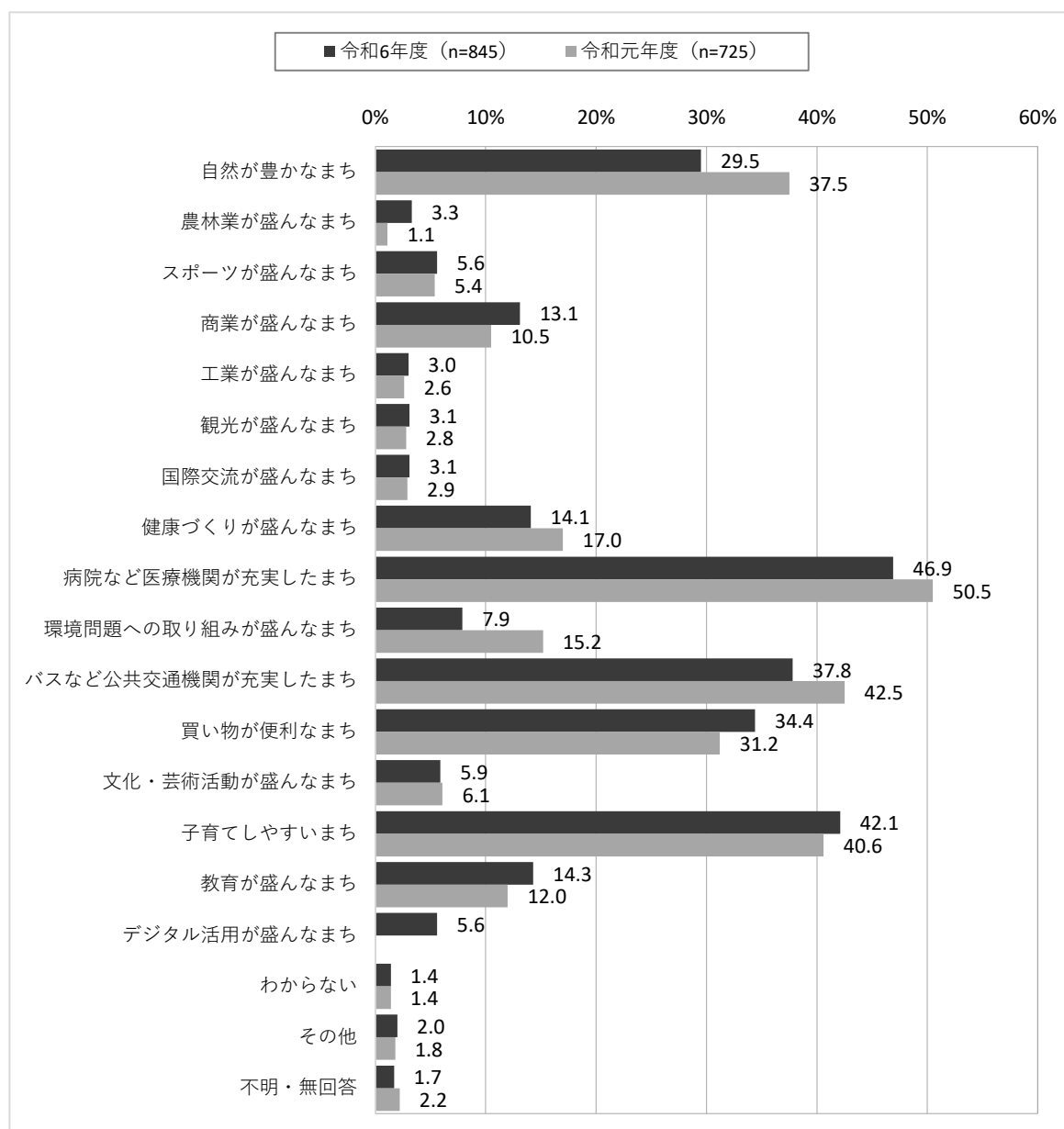
●「18.その他」回答一覧

内容	件数
高齢者が住みやすい、いきいき生活できるまち	2
障がいを持った人や弱者が安心して暮らせるやさしい町	2
ペットに優しい町(命あるすべてのもの)	1
安全なまち	1
公園が充実、きれい	1
災害に強いまち	1
治安が良い	1
若い世代が生活しやすいまち	1
徹底的なベッドタウン化	1
動物愛護	1
福祉が進んだまち	1
歩道のない町を返上	1
免許を返納しても不便がない町	1

■年齢別



■前回調査(令和元年)からの変化



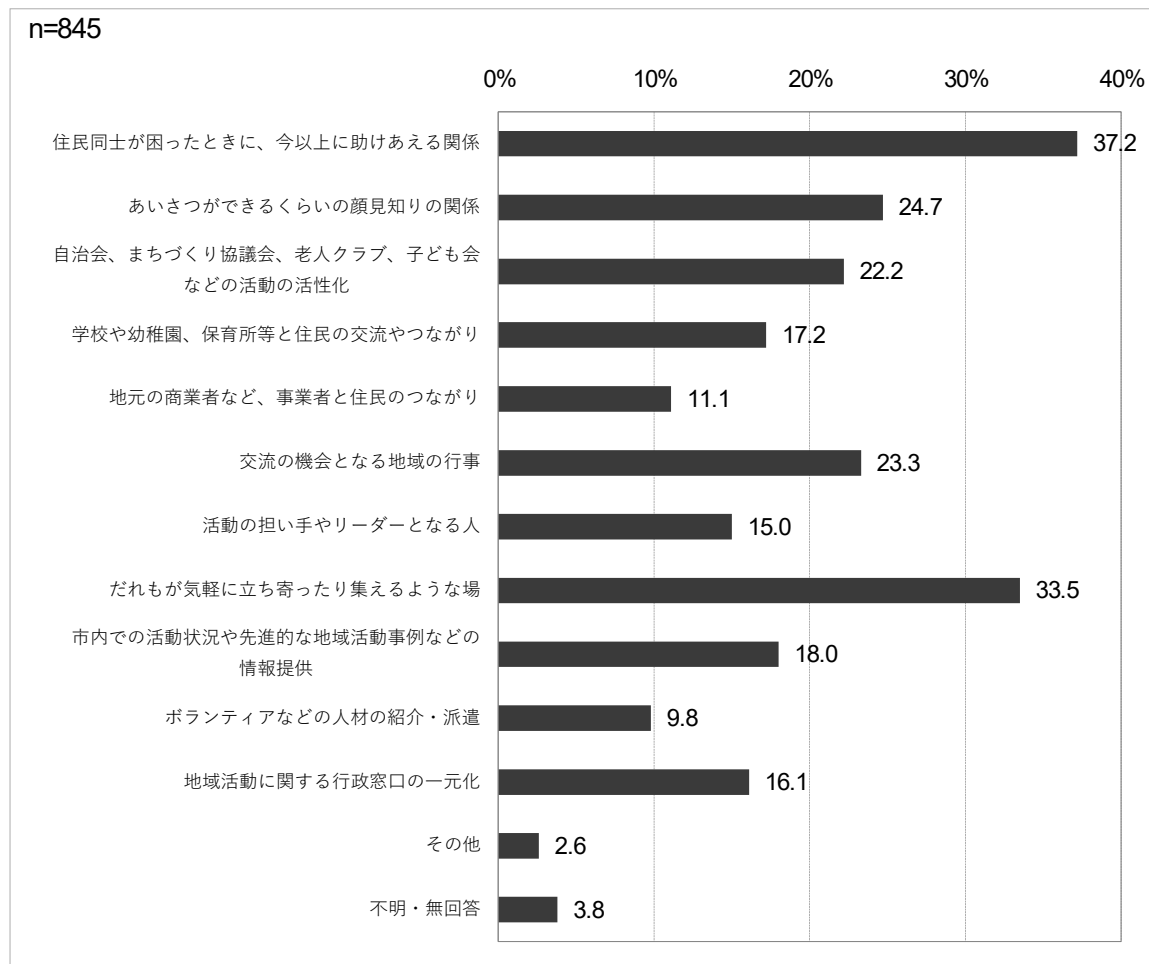
※前回の選択肢に「デジタル活用が盛んなまち」はありませんでした。

問16 住民の皆さんが、いきいきと地域の活動に取り組んでいただけるようにするためには、何が大切だと思いますか。(あてはまるものに3つ以内に○)

【全体結果】

「住民同士が困ったときに、今以上に助けあえる関係」が37.2%で最も多く、次いで「だれもが気軽に立ち寄ったり集えるような場」が33.5%で続いています。

年齢別にみると、「住民同士が困ったときに、今以上に助けあえる関係」では、年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。逆に「学校や幼稚園、保育所等と住民の交流やつながり」では、年齢が低いほど、回答割合が高くなっています。

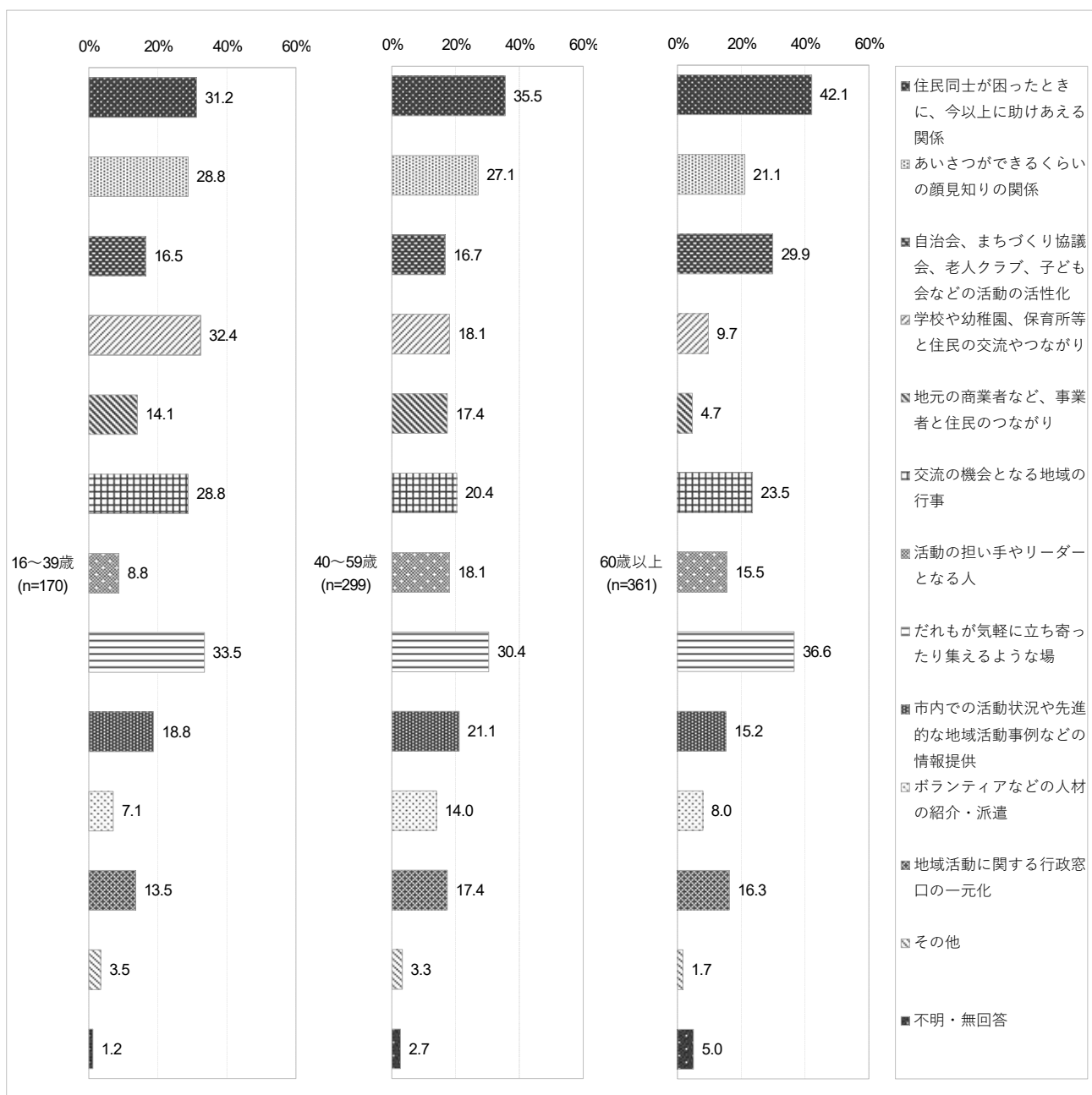


●「12.その他」回答一覧

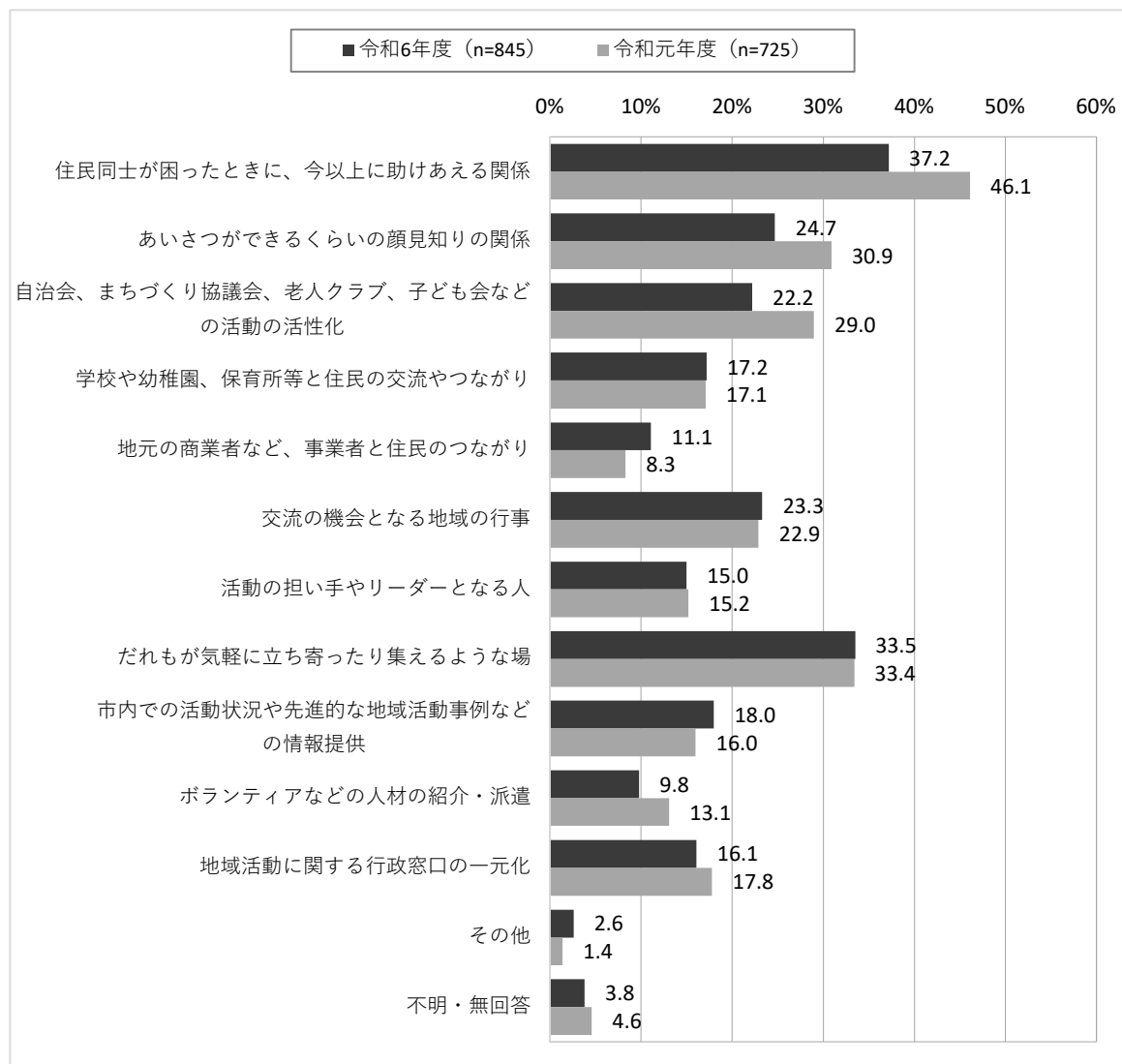
内容	件数
皆が地域活動に取り組む必要はない	2
活気ある街づくり	1
気軽に参加できる色々な方面での活動の PR をしてほしい(携帯で見る市の HP は分かりづらい)	1
旧住民、新住民の区別をしないでください	1
現役世代の声がより反映されやすい環境づくり	1
住みやすい環境と行政への希望・意見を聞いてもらえる窓口	1
年齢層が偏ることなくそれぞれの年代の意見が反映されること	1
市民と行政との信頼関係	1
市民の育成も重要だが、行政による誘導が重要	1
自治会が一番小さなコミュニティで大切だと思うが年輩者に高圧的で上からのタイプが多く、若手が距離をとりたくなり加入したがない気持ちがよくわかるので、お互いを尊重する気持ちをもてる様な講座を	1

開くなど学びの場を提供してほしい	
人の役に立っていると喜べる、かつ楽しんで参加できること	1
困った人に寄り添える人間育成	1
人はお金を出さないと動かない	1
学校教育や家庭教育であいさつの重要性を説く必要がある	1
地域を知るための行政施策説明会の実施	1
地域外からのイベントの参入の機会を広げ住民が参加しやすい様にする	1
働きやすく住みやすい	1
買い物時、遊べる場所を増やす	1
わからない	2

■年齢別



■前回調査(令和元年)からの変化



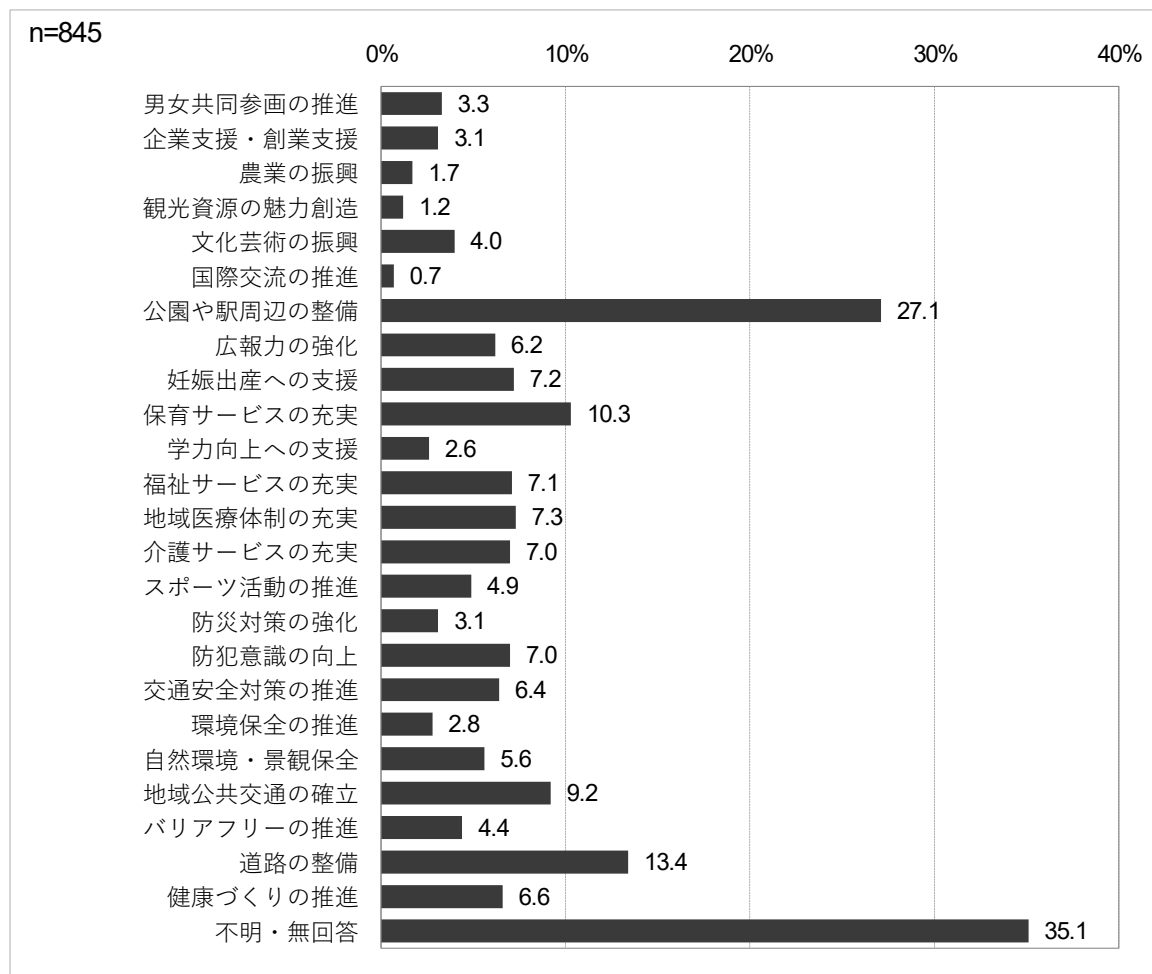
IV. 地方創生の取り組み(就労・雇用、子育てなど)について

問17 香芝市において、①進んでいると感じる取り組み、②進んでいないと感じる取り組みについて、それぞれ3つ以内で選んで、取り組みの番号を該当する欄にご記入ください。また、香芝市が活性化し、「働く場」「産み育てる場」「訪れる場」として選んでもらううえで、③進めると効果的だと思う取り組みについて、あてはまるものを3つ以内で選んで、取り組みの番号を該当する欄にご記入ください。

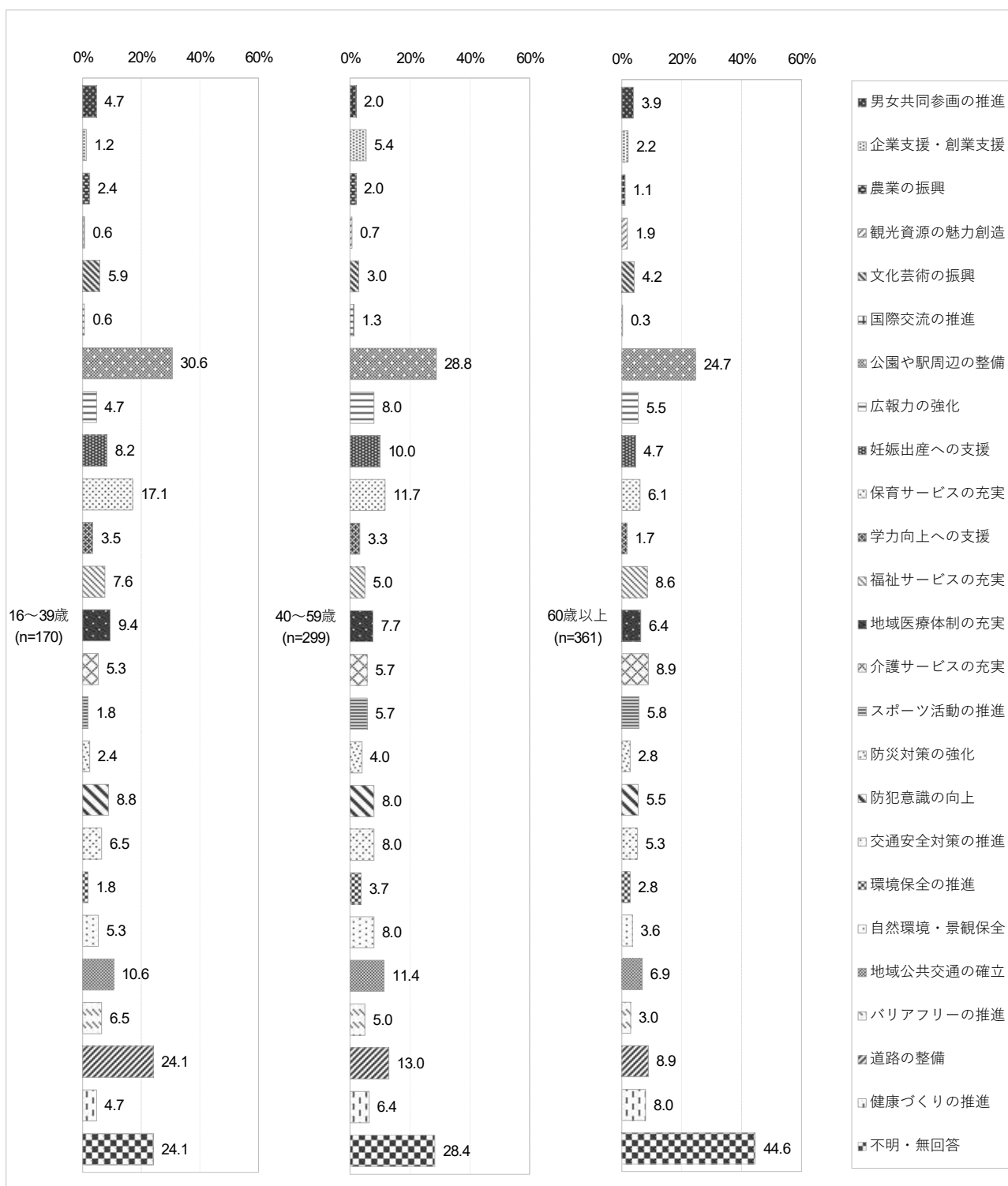
①進んでいると感じる取り組み

【全体結果】

「公園や駅周辺の整備」が27.1%で最も多く、次いで「道路の整備」が13.4%が続いています。一方で、「不明・無回答」が35.1%となっており、どの取り組みも進んでいないと考える方が一定数いることがわかります。年齢別にみると、「道路の整備」、「保育サービスの充実」では年齢が低いほど、回答割合が高くなっています。



■年齢別

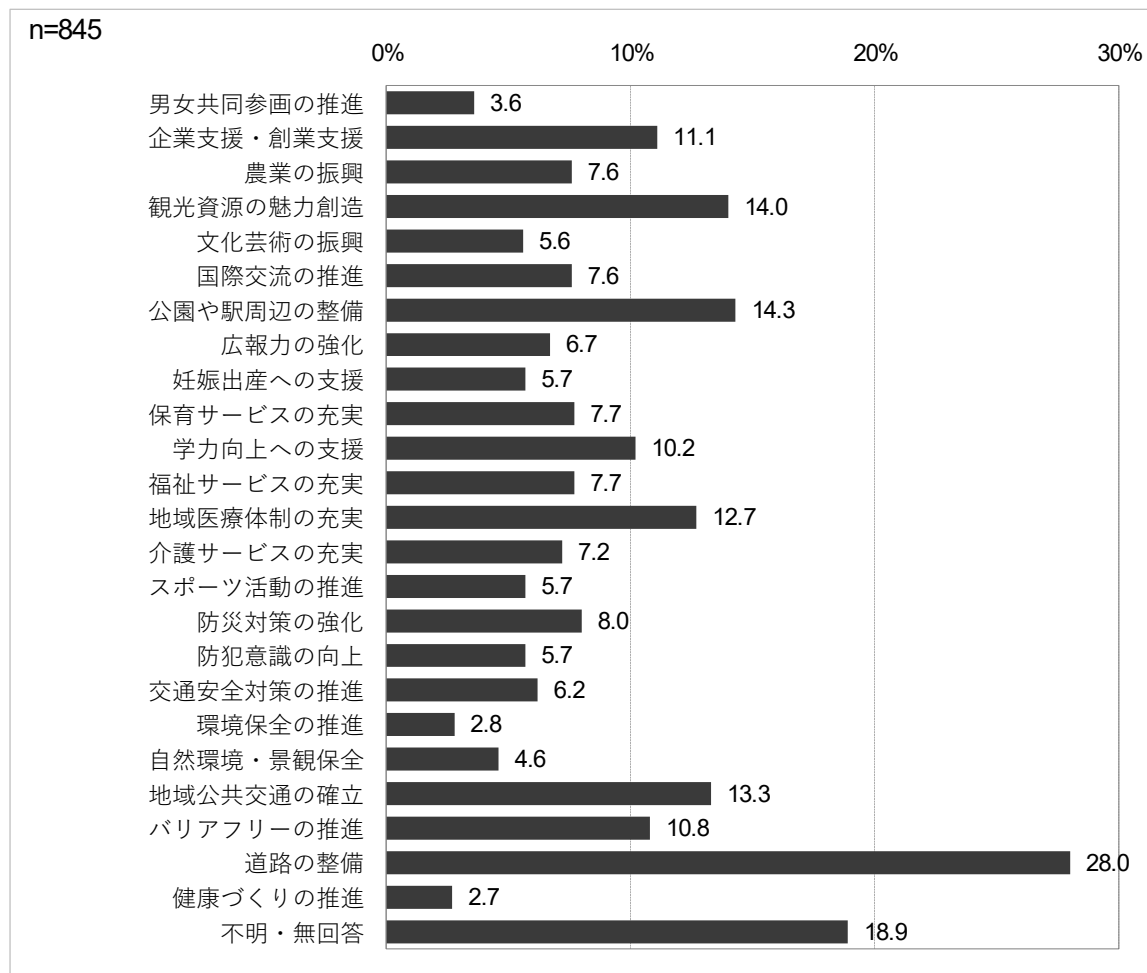


②進んでいないと感じる取り組み

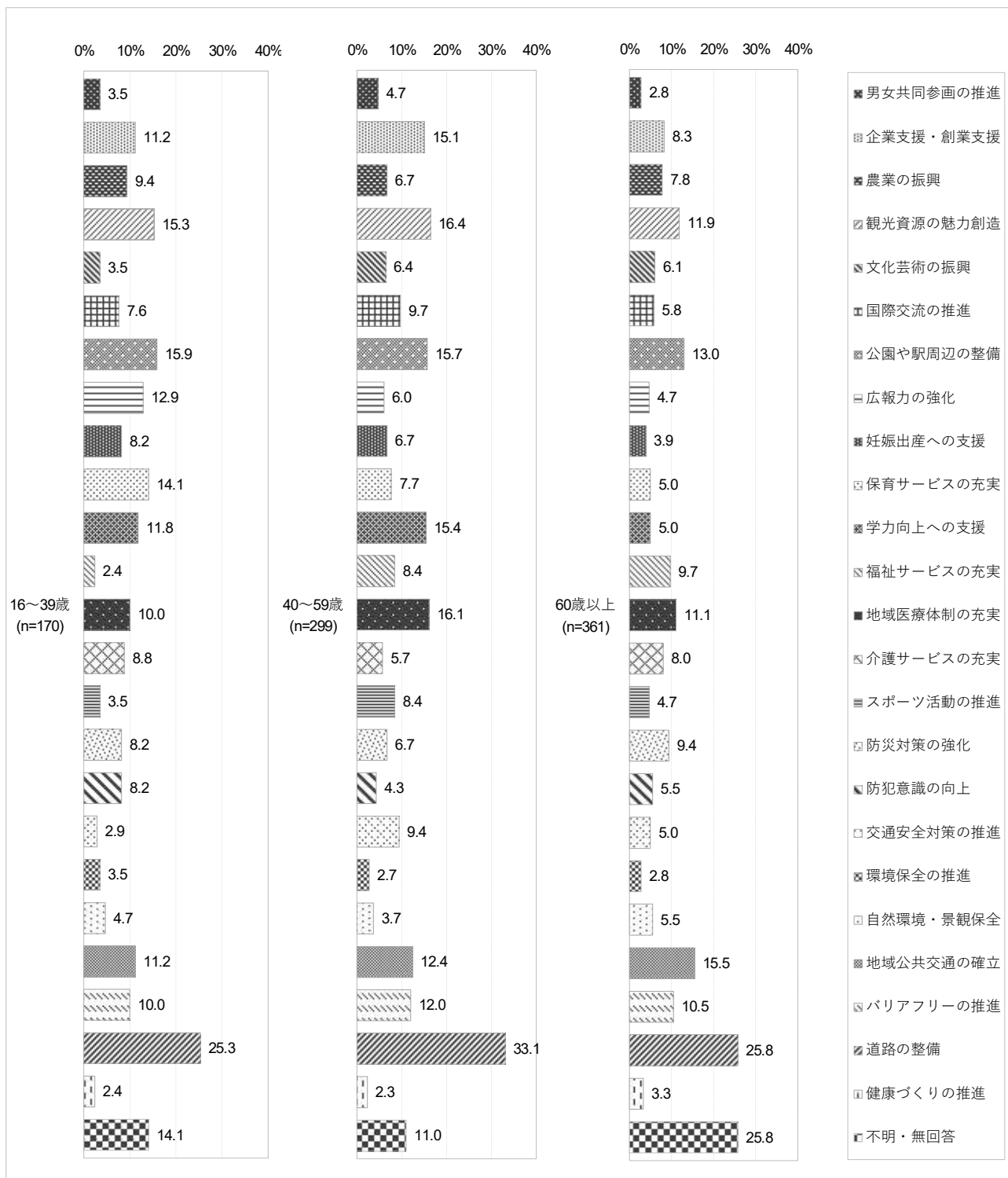
【全体結果】

「道路の整備」が28.0%で最も多く、次いで「公園や駅周辺の整備」が14.3%、「観光資源の魅力創造」が14.0%で続いています。

年齢別にみると、「保育サービスの充実」、「広報力の強化」では、16～39歳の回答の割合が高くなっています。「企業支援・創業支援」、「学力向上の支援」、「地域医療体制の充実」、「交通安全対策の推進」では、40～59歳の回答の割合が高くなっています。「地域公共交通の確立」では、60歳以上の回答の割合が高くなっています。



■年齢別

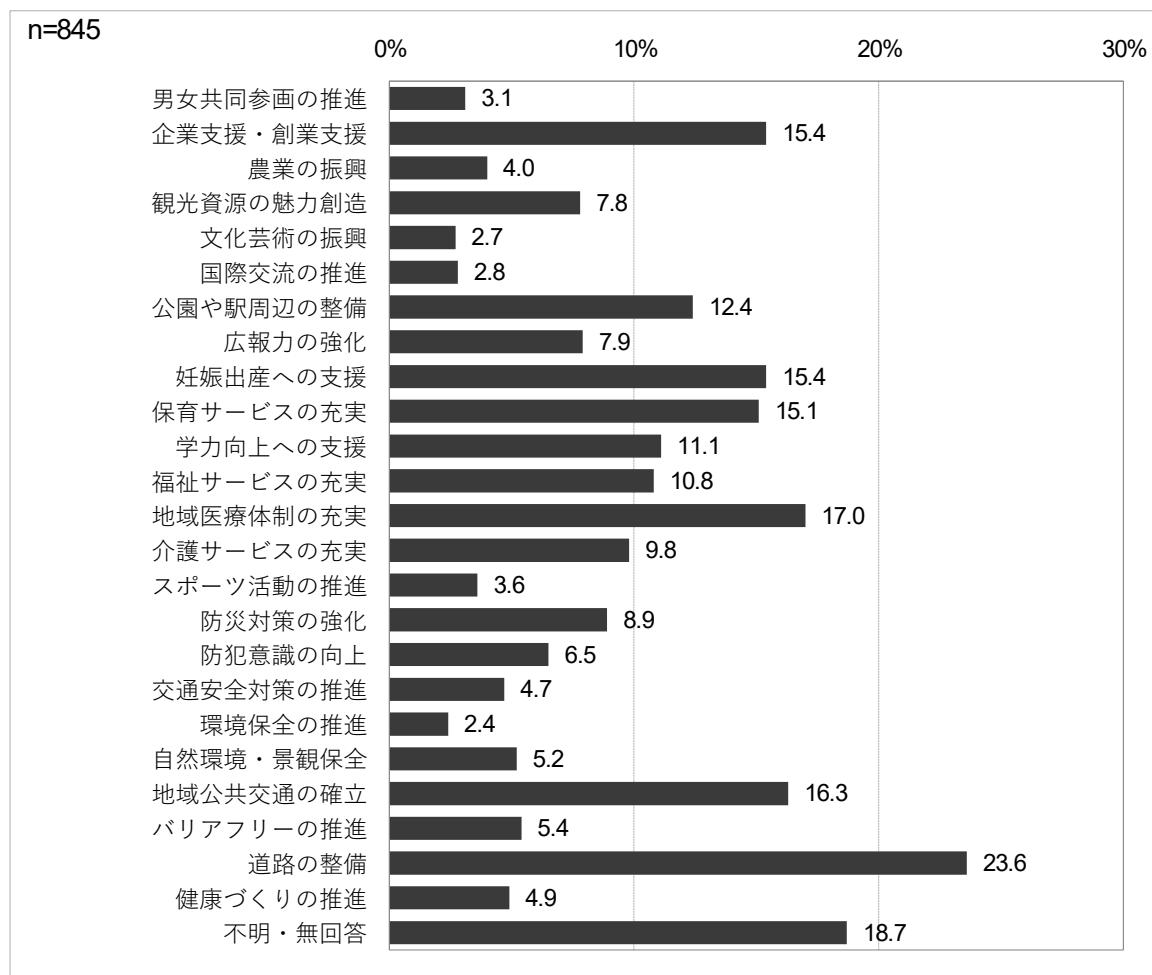


③進めると効果的だと思う取り組み(①②と重複可)

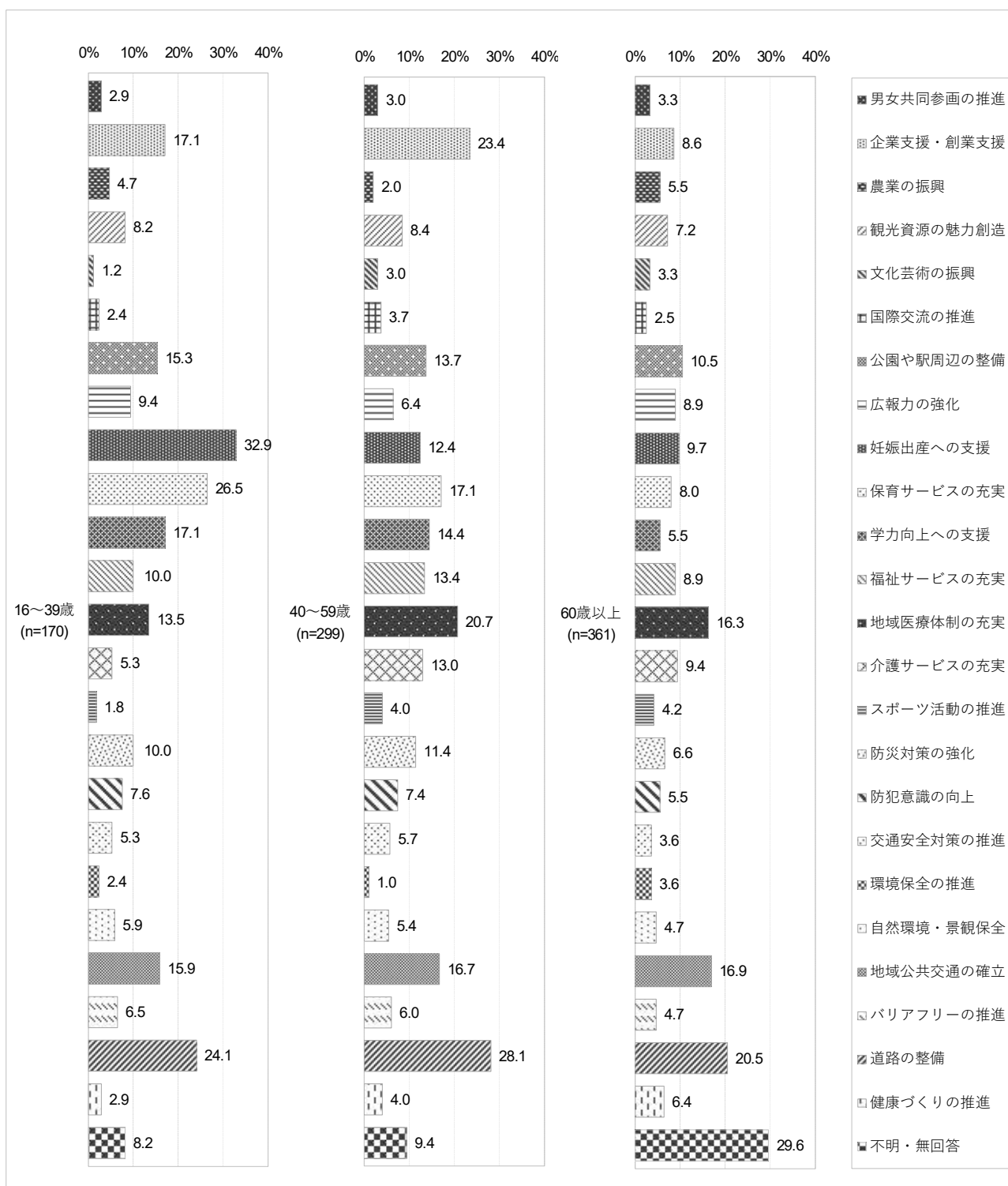
【全体結果】

「道路の整備」が23.6%で最も多く、次いで「地域医療体制の充実」が17.0%、「地域公共交通の確立」が16.3%で続いています。

年齢別にみると、「妊娠出産への支援」、「保育サービスの充実」、「学力向上への支援」では16～39歳を中心に、年齢が低いほど、回答の割合が高くなっています。「企業支援・創業支援」の回答の割合が高くなっています。



■年齢別



問18 香芝市を「働く場」「産み育てる場」「訪れる場」として選んでもらうために、問17に挙げた取り組み以外に、どのような取り組みが必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

主な意見を抜粋し、「特になし」、「わからない」などは省略している。

内容	件数		
●教育・子育て支援 ・子育て世代への手当や補助金など経済的支援 ・給食費無償化 ・子どもの医療費無償化 ・おむつ無料配布 ・多子・第3子対策 ・習い事や塾への援助による格差是正 ・保育所やこども園、学童など子どもを安心して預けられる場所の確保 ・AI やデジタル技術を用いた教育 ・子どもの居場所づくり、子ども食堂 ・ヤングケアラーのサポート ・小学校統廃合の中止・再検討 ・妊娠・出産・子育ての相談がすぐできるようにする ・多様性に対する取り組み ・子育てイベントを民間団体にも広く募集、場所を提供 ・明石市の子育て施策	59	・大阪への交通の利便性の up ・移動手段のないお年寄りを運ぶ仕組み	
		●道路整備 ・主要駅周辺の道路整備 ・通学路整備 ・運転しやすい道路 ・人口増に伴う道路拡張 ・狭い道の拡幅工事 ・道路の車線が消えている所が多いので整備 ・自転車道の整備	20
		●雇用・就労 ・女性が働きやすい環境の整備 ・働く場を増やす ・リモートワークの環境整備 ・一度職を離れても働きたいと思った時に悩まず働けるような支援 ・高齢者が働ける場 ・専業主婦への援助 ・賃上げ ・農業と工業の充実	15
●商業施設誘致 ・大型・複合商業施設・ショッピングモールの誘致 ・大手スーパーやコストコの誘致 ・買い物場所を増やす ・各駅前に目玉となるような商業施設の設置 ・五位堂駅周辺の商業施設の増加 ・空いている土地に商業施設を増やす ・赤ちゃん・子ども用品が置いてある施設 ・有名な飲食店 ・娯楽・遊戯施設	32	●観光産業の発展 ・観光資源の創造や洗い出し ・観光スポットを年代別でルート化 ・観光の目玉になるような場所を整備 ・歴史的な地を整備し発信 ・ロケを誘致し、聖地巡礼機会をつくる ・道の駅設置 ・イベントを観光事業と合わせて実施	12
●企業誘致 ・IT 産業の誘致 ・工場の誘致 ・大企業誘致 ・企業を呼び込む取り組み	31	●医療体制の充実 ・産婦人科の充実 ・小児科の充実、専門病院の設置 ・総合医療センターなど大きい安心してまかせられる病院の設置 ・障がいがある方でもしっかりと対応してくれる歯科医 ・土日関わらず診察してもらえる病院	10
●市の広報の充実 ・市の魅力の PR ・インスタの活用 ・発信する場(ラジオなど) ・オリジナルグッズの発売	23	●イベント実施 ・わくわくするイベントを通年で ・地域の特性を活かしたイベント ・音楽フェスなど他県から来たいと思えるようなイベント	7
●公共交通 ・地域公共交通の充実・不便さの解消 ・バス・タクシー等の移動手段をもっと分かりやすく ・交通ネットワークの形成 ・JR などの本数の増加 ・二上駅に急行電車をとめてほしい	21	●公園整備 ・スポーツができる公園 ・子どもを十分に遊ばせられる公園 ・バーベキューができる ・犬と訪れられる公園 ・安全面での整備(城山児童公園など)	7
		●居場所の設置 ・ゆるく年齢問わず交流したりできる場	7

・みんなの居場所 ・動物も共存	
●駅前整備 ・主要駅周辺・駅前の整備 ・五位堂駅南の駅通りをにぎやかに ・駅から自宅までに立ち寄れるがあると働く場としても有効	6
●子育て世代以外への支援 ・独身者にも住んでもらえる施策 ・働き終えた方や子育てを終えた方への支援	3
●財政の健全化 ・助成金の精査 ・ふるさと納税の活用	3
●デジタル化の推進 ・アンケートなどのWEB化 ・AI導入やデジタル教育	3
●文化ホール設置 ・香芝市で演奏会のできる場所	3
●市民との対話 ・住民の要望に耳を傾ける ・市民とのグループLINE	3
●他自治体を参考にする ・ほかの市と同じような制度にする(高校無償化など) ・近隣自治体の取組み・実績を比較	3
●福祉・介護支援 ・健康寿命対策 ・介護される者、する者両方の手助けになる取り組み ・地域福祉の充実	3
●経済的支援 ・支援金 ・物価上昇への対応	3
●動物愛護 ・避妊・去勢の助成	3
●渋滞緩和 ・五位堂駅踏切周辺の渋滞緩和	2
●駐車場の整備 ・駅前無料駐車場が欲しい ・駅周辺の駐車場を安く	2
●自然の保護 ・豊かな自然を守ってほしい ・ソーラー設置しないでほしい	2
●都市ガスの整備	2
●他自治体との差別化 ・オンリーワンの価値 ・徹底的なベッタタウン化	2

●スポーツ・芸術支援 ・大会実施 ・ゲートボール推進	2
●住環境整備	2
●図書館整備	2
●名産品の作成	2
●高齢者支援 ・高齢者にも住みよい街に(高齢者が元気で動けるのも節税になる)	1
●産学連携 ・市内にある大学や高校と地域の企業が交流、企業体験	1
●音楽祭の開催 ・小規模なものをあちらこちらで実施	1
●ごみ回収の充実 ・ごみの各戸回収	1
●行政の市民に向けた積極的な行動 ・政策説明会等を開催し香芝を説明し、アイデアを交わす	1
●市民の声を聴く市政 ・住民の要望に耳を傾ける	1
●コミュニティづくり ・賃貸に住む人も含めたコミュニティづくり	1
●他市との連携 ・葛城市などと連携して、事業を実施	1
●市政の充実 ・公約通り仕事をする	1
●二上山の魅力向上 ・登頂者の名前掲示をし、何回も登りたくなるような山にする	1
●健康増進 ・体と心が健康になる的を得た知識・商品	1
●個性を出す ・〇〇といえば香芝と言ってほしい	1
●地域産業の強化	1
●街灯の整備	1
●空き地の有効活用	1
●空き家対策	1
●外食産業の強化	1
●政策の取捨選択	1
●幸福度向上の取組み	1
●少子高齢化への対応	1
●農業学校の設置	1
●市民全般への幅広い支援	1
●水道の水洗化	1

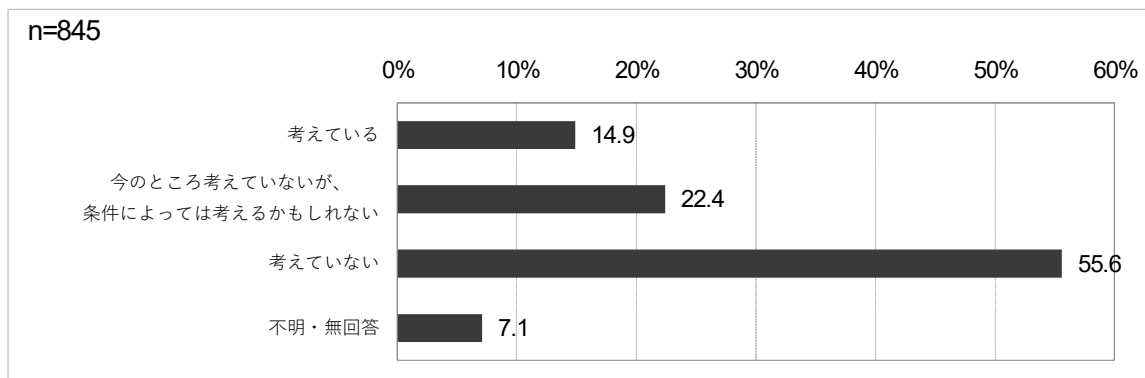
<産業振興・人の流れの創出について>

問19 あなたは今後、就職や転職を考えていますか。(1つに○)

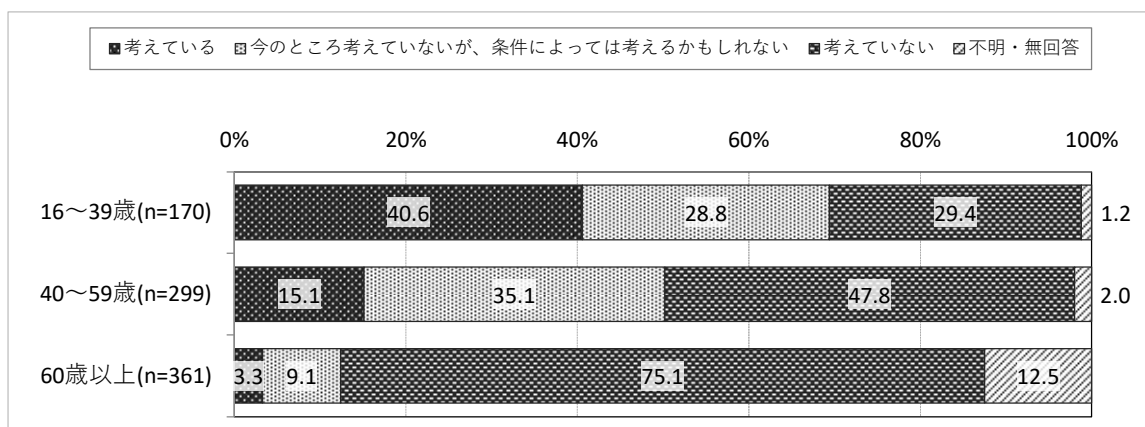
【全体結果】

「考えていない」が55.6%で最も多くなっています。

年齢別にみると、年齢が低いほど、「考えている」の割合が高くなっています。



■年齢別



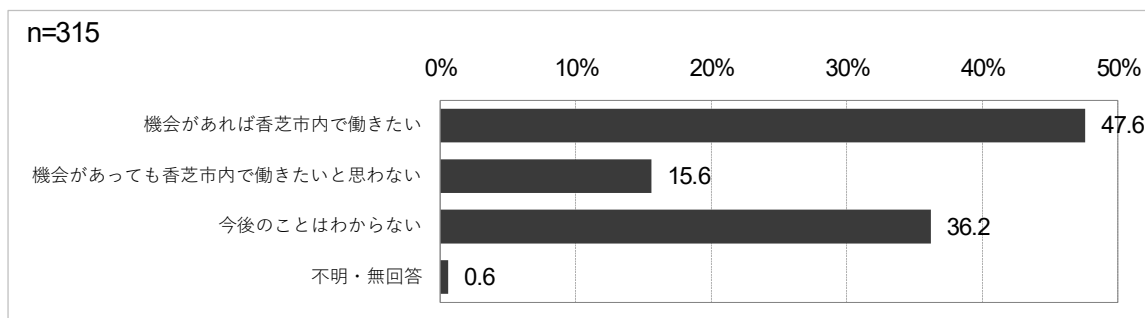
問20 問19で「1.」または「2.」に○をつけた方のみお答えください。

転職・就職の際、香芝市内で働く機会があれば、働きたいと思いますか。(1つに○)

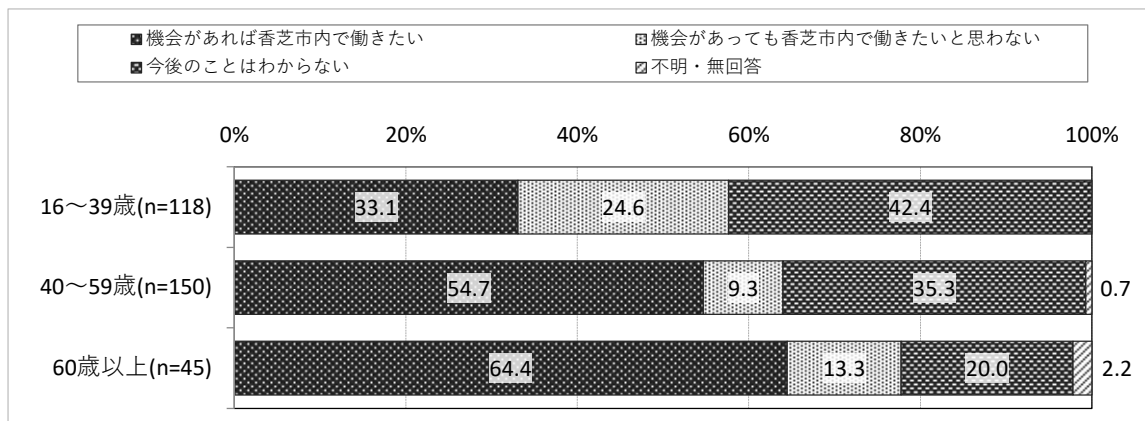
【全体結果】

「機会があれば香芝市内で働きたい」が47.6%で最も高くなっています。

年齢別にみると、16～39歳が他の世代と比べ「機会があれば香芝市内で働きたい」では、回答割合低くなくっており、「機会があっても香芝市内で働きたいと思わない」が高くなっています



■年齢別



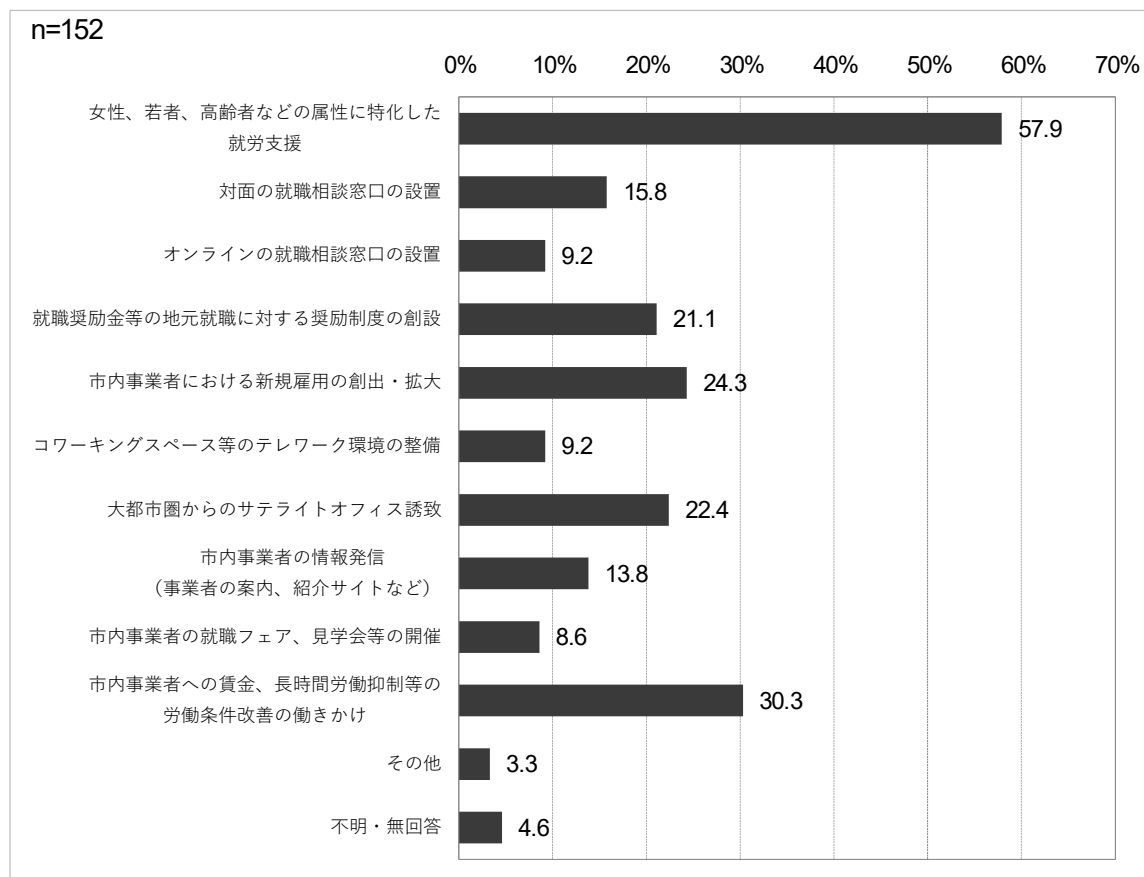
問21 問20で「1.」に○をつけた方のみお答えください。

就労・雇用について、香芝市にどのような支援策を望みますか。(あてはまるもの3つ以内に○)

【全体結果】

「女性、若者、高齢者などの属性に特化した就労支援」が57.9%で最も多く、次いで「市内事業者への賃金、長時間労働抑制等の労働条件改善の働きかけ」が30.3%で続いています。

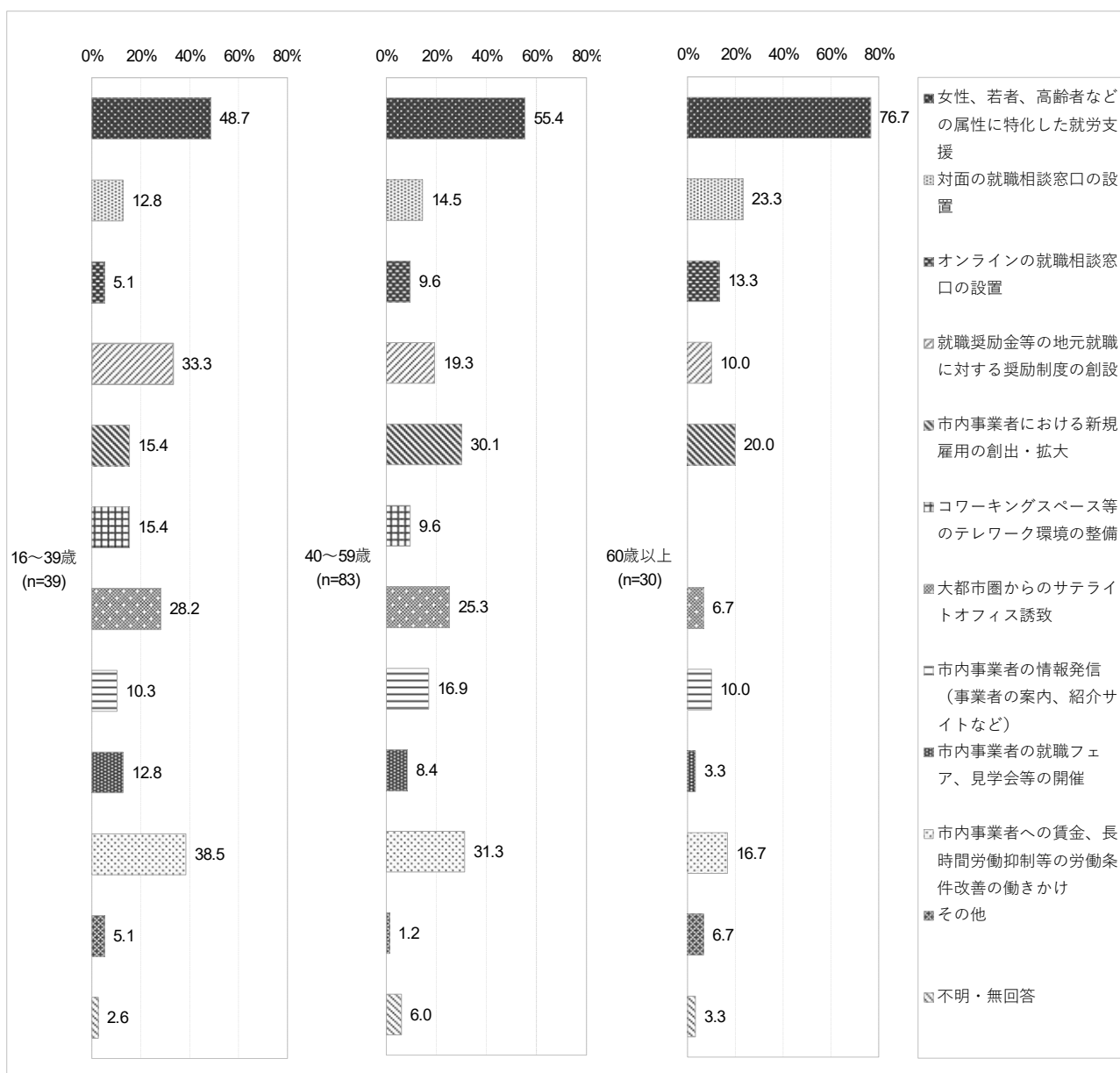
年齢別にみると、「女性、若者、高齢者などの属性に特化した就労支援」では、年齢が高いほど、回答の割合が高くなっています。一方で、「市内事業者への賃金、長時間労働抑制等の労働条件改善の働きかけ」では、年齢が低いほど、回答の割合が高くなっています。「就労援助金等の地元就職に対する援助制度の創設」では、16～39歳の回答の割合が高く、「市内事業者における新規雇用の創出・拡大」では、40～59歳の回答の割合が高くなっています。



●「11.その他」回答一覧

内容	件数
誰もが、その意欲・能力に応じて就労できるような求人情報	1
香芝市内にハローワークを設ける	1
子育てにおけるお金だけでなく、先輩ママとの対話できる場・環境	1
市の新規採用職員の年令上限の緩和	1
大阪市内など都市圏と同じくらいの賃金または在宅ワークなどの推進	1

■年齢別

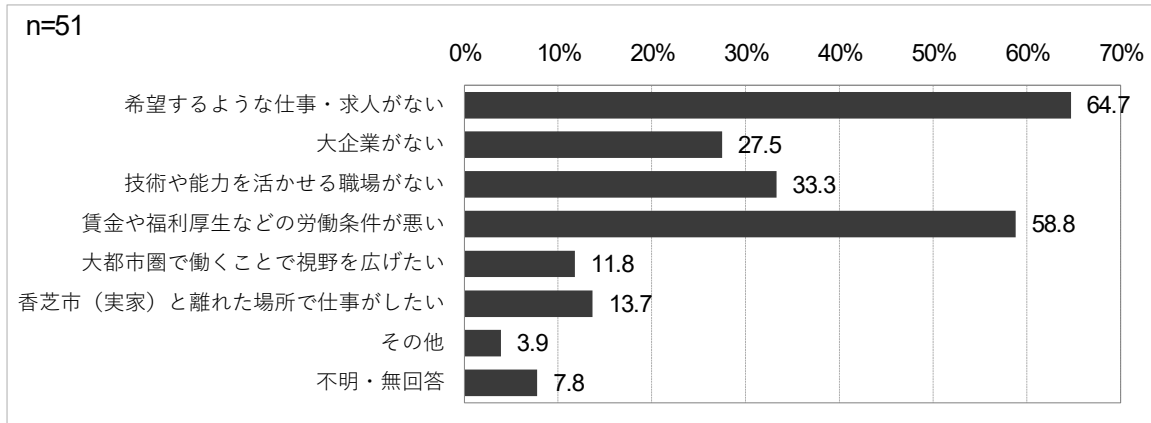


問22 問20で「2.」に○をつけた方のみお答えください。

香芝市内で働きたいと思わない理由は何ですか。(あてはまるもの3つ以内に○)

【全体結果】

「希望するような仕事・求人がない」が64.7%で最も多く、「賃金や福利厚生などの労働条件が悪い」が58.8%で続いています。



●「7.その他」回答一覧

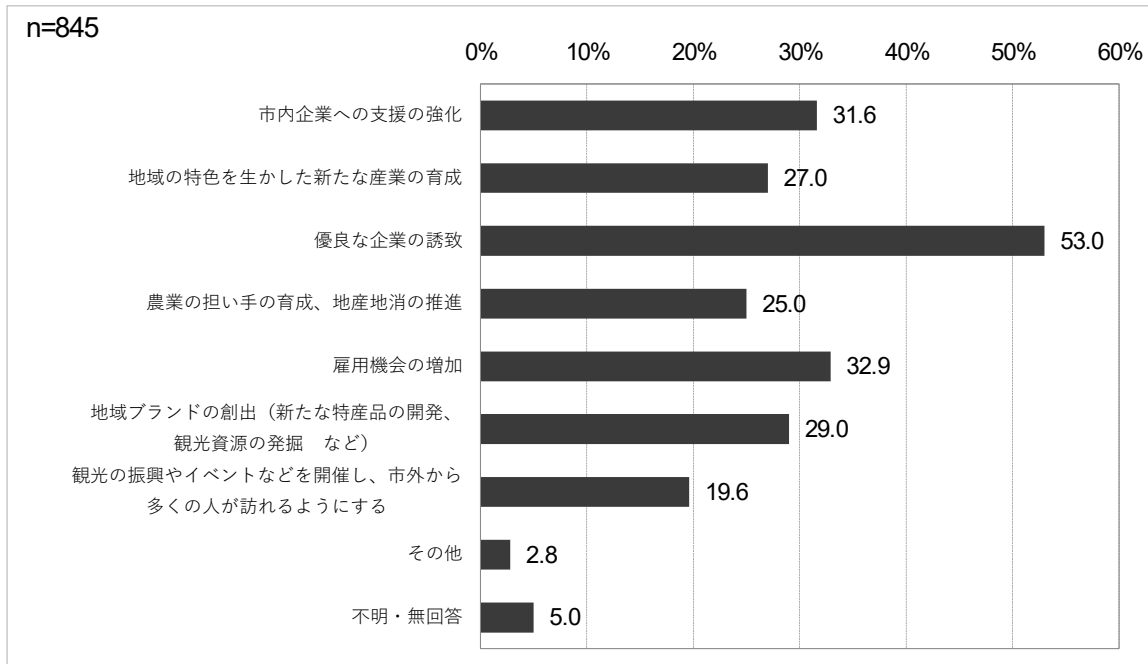
内容	件数
自営	1
年齢的に就労は難しい	1
魅力的でない	1

問23 すべての方にうかがいます。
市内産業の活性化を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

【全体結果】

「優良な企業の誘致」が53.0%で最も多く、次いで「雇用機会の増加」が32.9%、「市内企業への支援の強化」が31.6%で続いています。

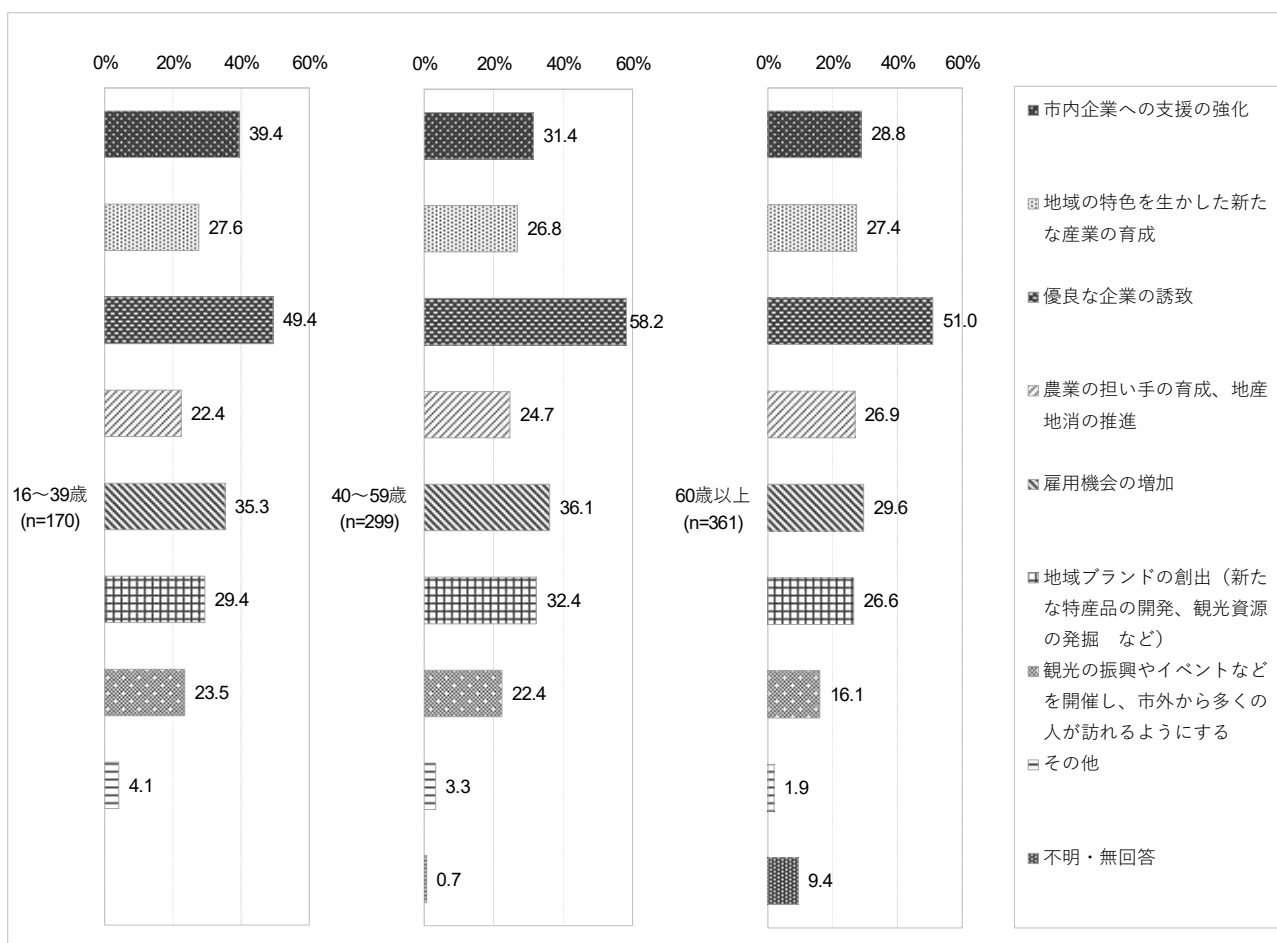
年齢別にみると、「市内企業への支援の強化」では、年齢が低いほど、回答の割合が高くなっています。



●「8.その他」回答一覧

内容	件数
(企業活性化よりも)ベットタウンとして、教育・子育てなど住みやすいまちづくりを推進	3
若者の起業支援	2
チャレンジショップの実施	2
起業・創業支援	2
賃金の up	2
活性化はできない	2
ムリにしなくとも良い	1
道の駅のように農作物を多く販売できる場所を作る	1
急行電車を停車させる	1
道路・公共交通の充実	1
移転ができない工場・研究所、遊園地などの誘致	1
IT 関連企業の誘致	1
ベンチャー企業の支援	1
わからない	2

■年齢別



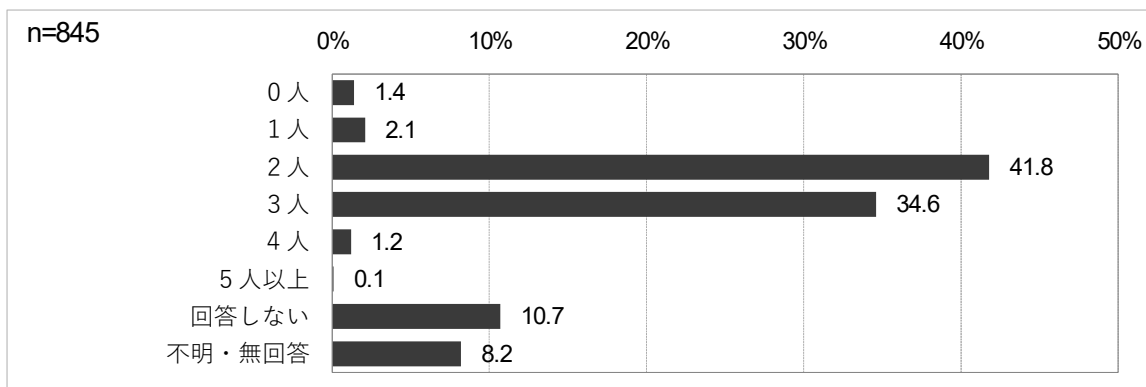
<出産・子育て支援について>

問24 あなたにとって、①理想的な子どもの人数、②予定している(いた)子どもの人数、③現在の子どもの人数はそれぞれ何人ですか。(あてはまるものにそれぞれ1つに○)

①理想的な子どもの人数

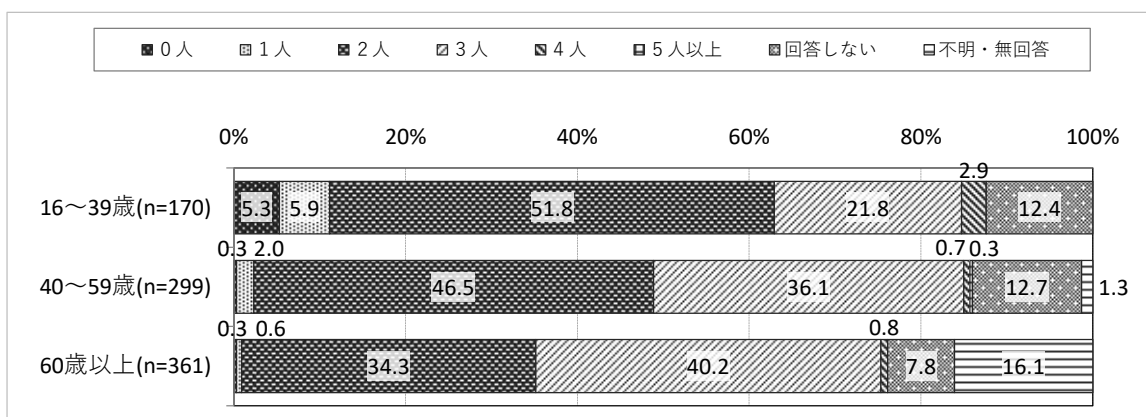
【全体結果】

「2人」が41.8%で最も多く、次いで「3人」が34.6%が続いています。平均(※)は、2.4人となっています。年齢別にみると、年齢が低いほど、「0人」、「1人」、「2人」の回答割合が高くなっています。前回調査(令和元年)からの変化をみると、「2人」が減少しています。

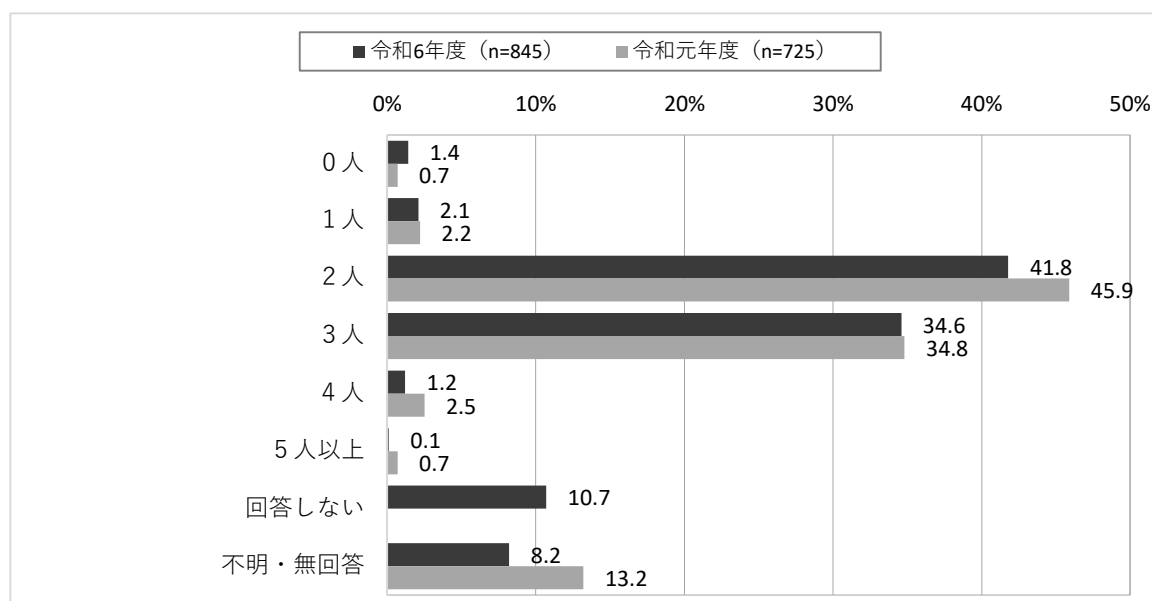


※平均は、「回答しない」、「不明・無回答」を除き算出しています。

■年齢別



■前回調査(令和元年)からの変化

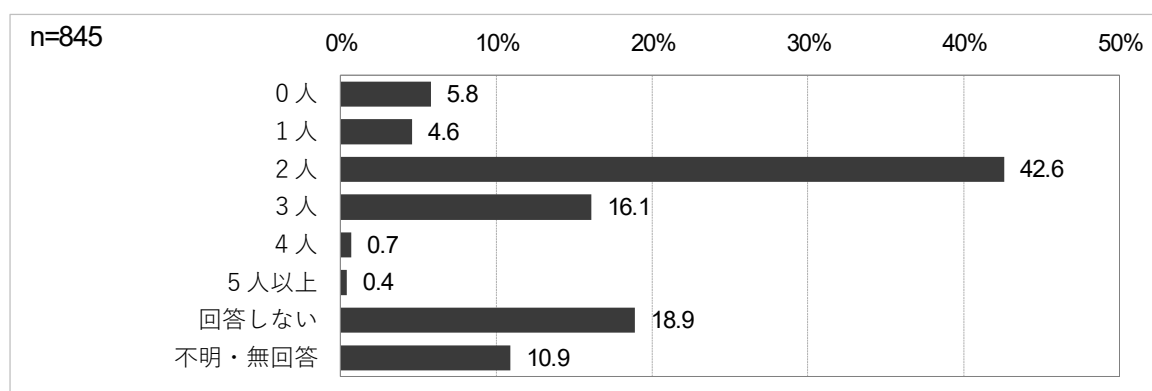


※前回の選択肢に「回答しない」はありませんでした。

②予定している(いた)子どもの人数

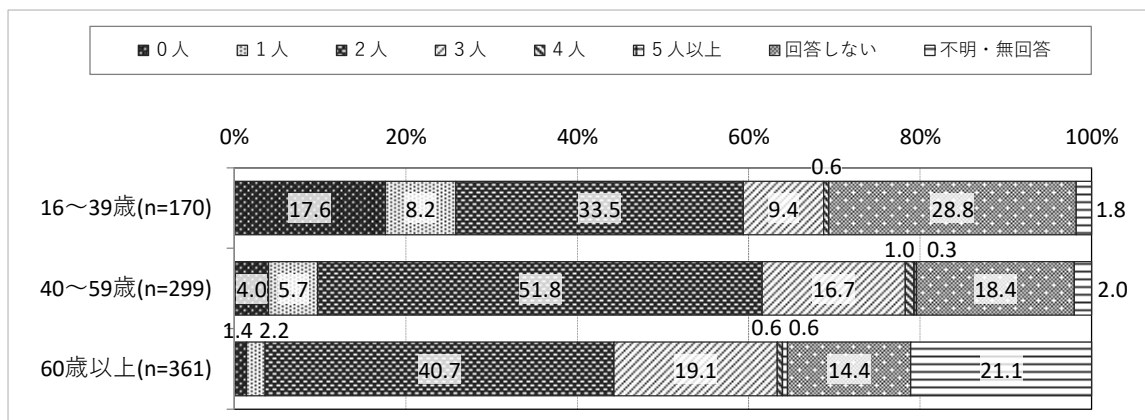
【全体結果】

「2人」が42.6%で最も多く、次いで「3人」が16.1%が続いています。平均(※)は、2.0人となっています。年齢別にみると、「0人」では16～39歳で回答割合が高くなっています。「2人」では、40～59歳の回答割合が高くなっています。「3人」では、年齢が上がるにつれ回答割合が高くなっています。前回調査(令和元年)からの変化をみると、「2人」は減少し、「3人」が増加しています。

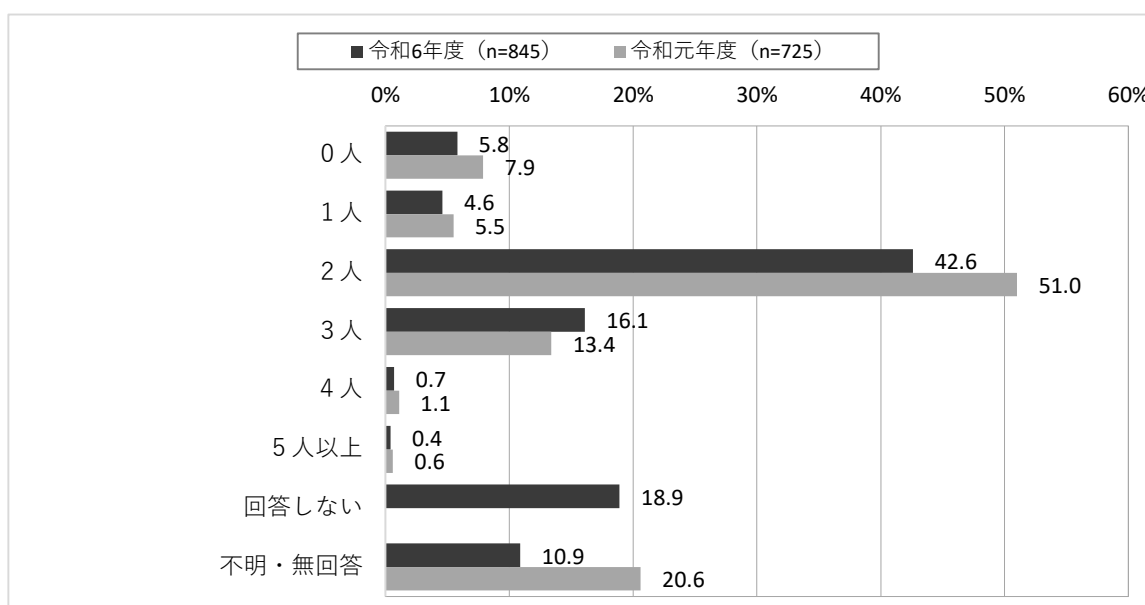


※平均は、「回答しない」、「不明・無回答」を除き算出しています。

■年齢別



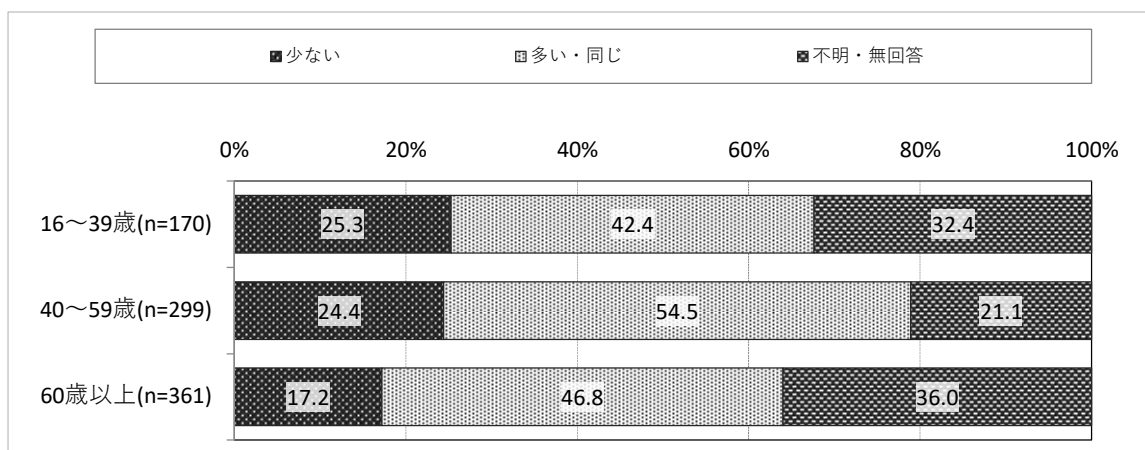
■前回調査(令和元年)からの変化



※前回の選択肢に「回答しない」はありませんでした。

問24で①理想的な子どもの人数より②予定している(いた)子どもの人数が少ない

■年齢別



※「回答しない」は「不明・無回答」として集計しています。

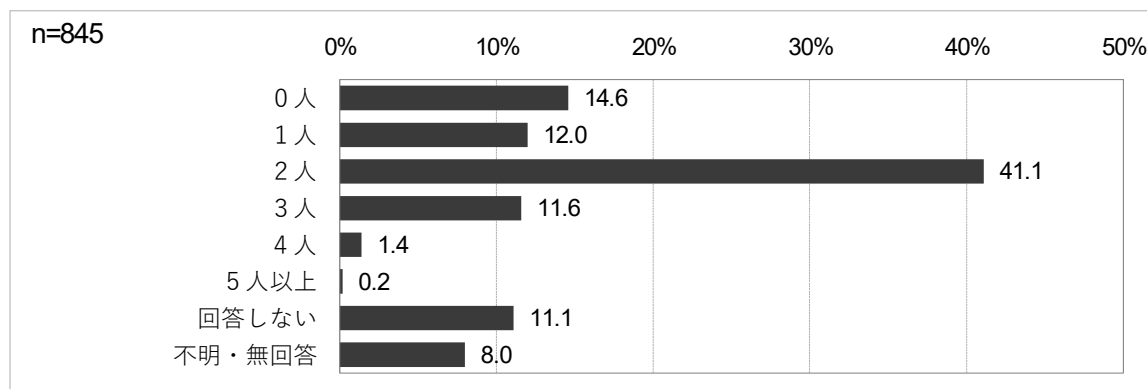
③現在の子ども的人数

【全体結果】

「2人」が41.1%で最も多く、次いで「0人」が14.6%、「1人」が12.0%が続いています。平均(※)は、1.7人となっています。

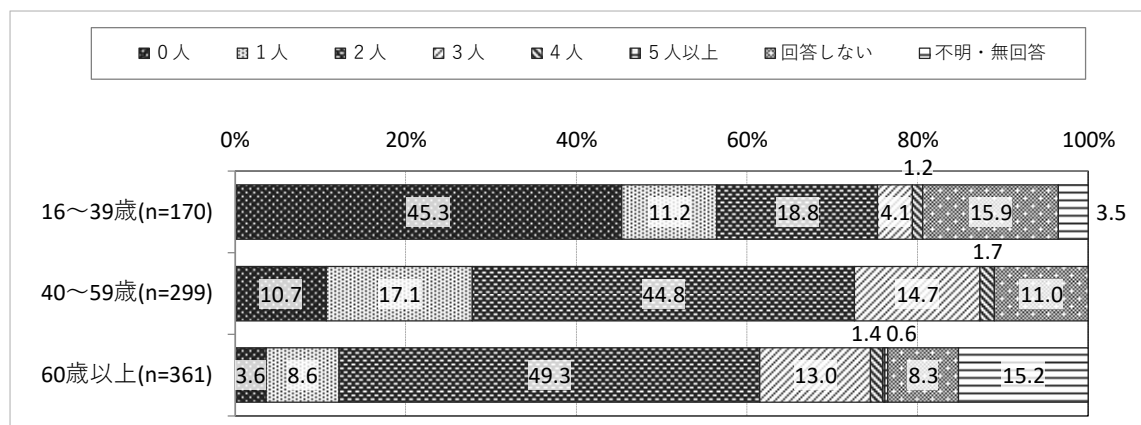
年齢別にみると、「0人」では16～39歳で回答割合が高くなっています。「2人」、「3人」では40歳以上の回答割合が高くなっています。

前回調査(令和元年)からの変化をみると、「0人」は減少しています。

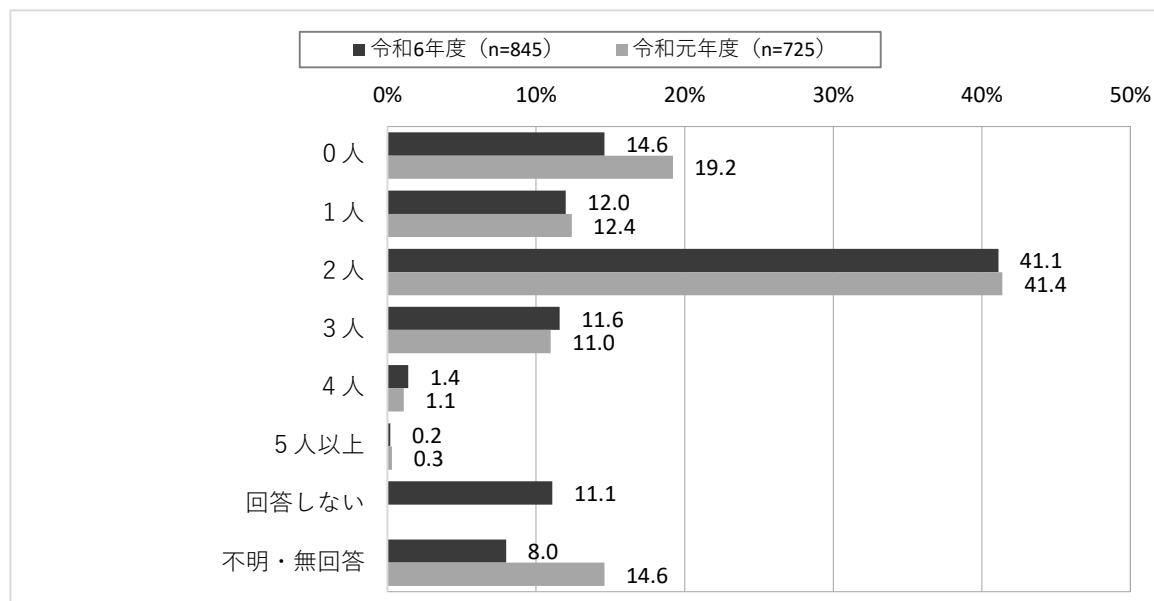


※平均は、「回答しない」、「不明・無回答」を除き算出しています。

■年齢別



■前回調査(令和元年)からの変化



※前回の選択肢に「回答しない」はありませんでした。

■クロス集計

理想的な子どもの人数ごとに、現在の子どもの人数をみると、理想の子どもの人数が「2人」までは、理想的な子どもの人数と現在の子どもの人数が一致している回答割合が最も多くなっています。

一方、理想的な子どもの人数が「3人」、「4人」、「5人以上」では、現在の子どもの人数が理想より少ない回答割合が最も多くなっています。いずれも実際の子どもの人数が「2人」の人が多く、理想よりも少ない人が多いことがうかがえます。

単位：％

		合計人数	③現在の子どもの人数						不明・無回答
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	
全体		845	14.6	12.0	41.1	11.6	1.4	0.2	19.1
①理想的な子どもの人数	0人	12	83.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	1人	18	33.3	44.4	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6
	2人	353	18.7	17.6	52.1	5.1	0.6	0.0	5.9
	3人	292	8.2	8.6	49.0	24.7	2.4	0.7	6.5
	4人	10	10.0	0.0	40.0	20.0	30.0	0.0	0.0
	5人以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

黒く囲った部分は、「理想」より「現在」が少ない

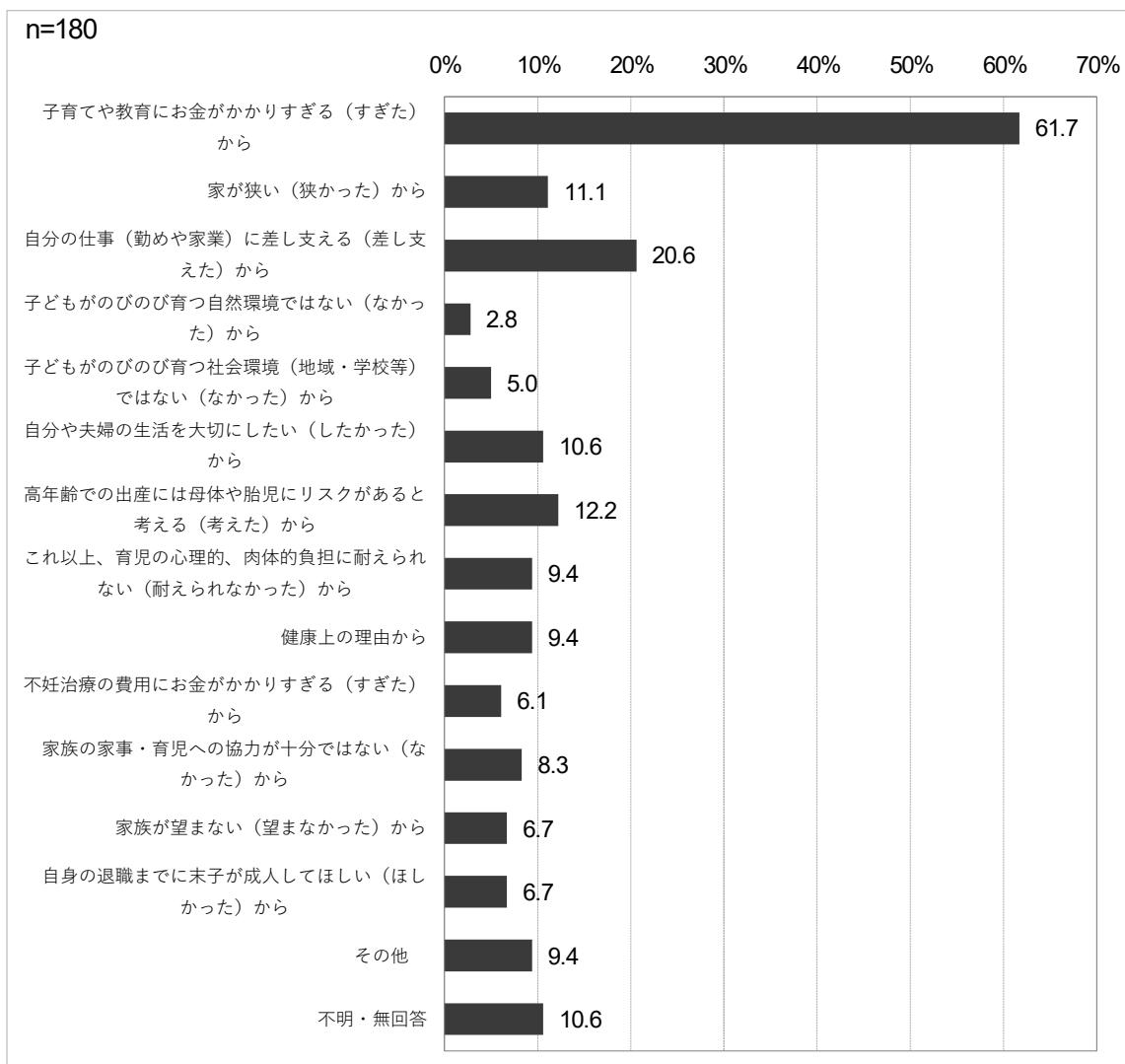
※表の見方

- ・「①理想的な子どもの人数」ごとに「③現在の子どもの人数」を集計。回答割合は「合計人数」に対する割合。
- ・「③現在の子どもの人数」を横に足したものが100%。（「回答しない」は「不明・無回答」として集計）
- ・数値が白抜きの部分は、「①理想的な子どもの人数」における各人数で最も回答割合が高いことを意味する。

問25 理想の子ども数よりも、予定している(いた)子ども数が少ない方(問24で①より②が少ない方)にうかがいます。
 予定している(いた)子ども数が、理想の人数より少ないのはなぜですか。
 (あてはまるものすべてに○)

【全体結果】

「子育てや教育にお金がかかりすぎる(すぎた)から」が61.7%で最も多く、次いで「自分の仕事(勤めや家業)に差し支える(差し支えた)から」が20.6%で続いています。
 年齢別にみると、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられない(耐えられなかった)から」、「子どもがのびのび育つ自然環境ではない(なかった)から」、「子どもがのびのび育つ社会環境(地域・学校等)ではない(なかった)から」では、年齢が低いほど、回答割合が高くなっています。
 「家族の家事・育児への協力が十分ではない(なかった)から」、「家族が望まない(望まなかった)から」では、60歳以上の回答割合が他の世代と比べ、最も高くなっています。

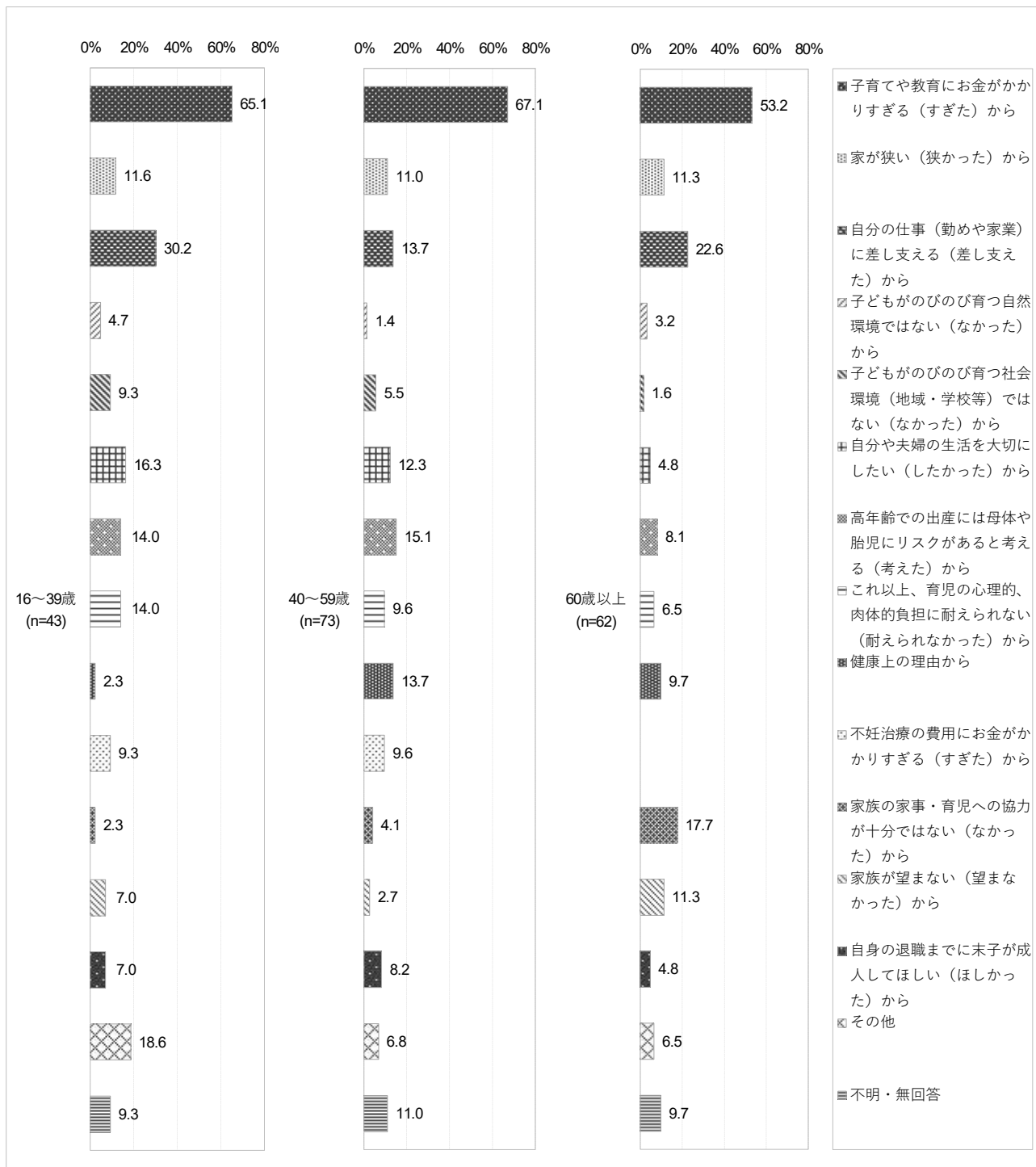


●「14.その他」回答一覧

内容	件数
未婚・独身のため	4
子どもに障害があったから	2
タイミング	1
家族の介護	1
今のように病理保育もなかった(ので、親類が近くにいない環境では負担が重かった)	1

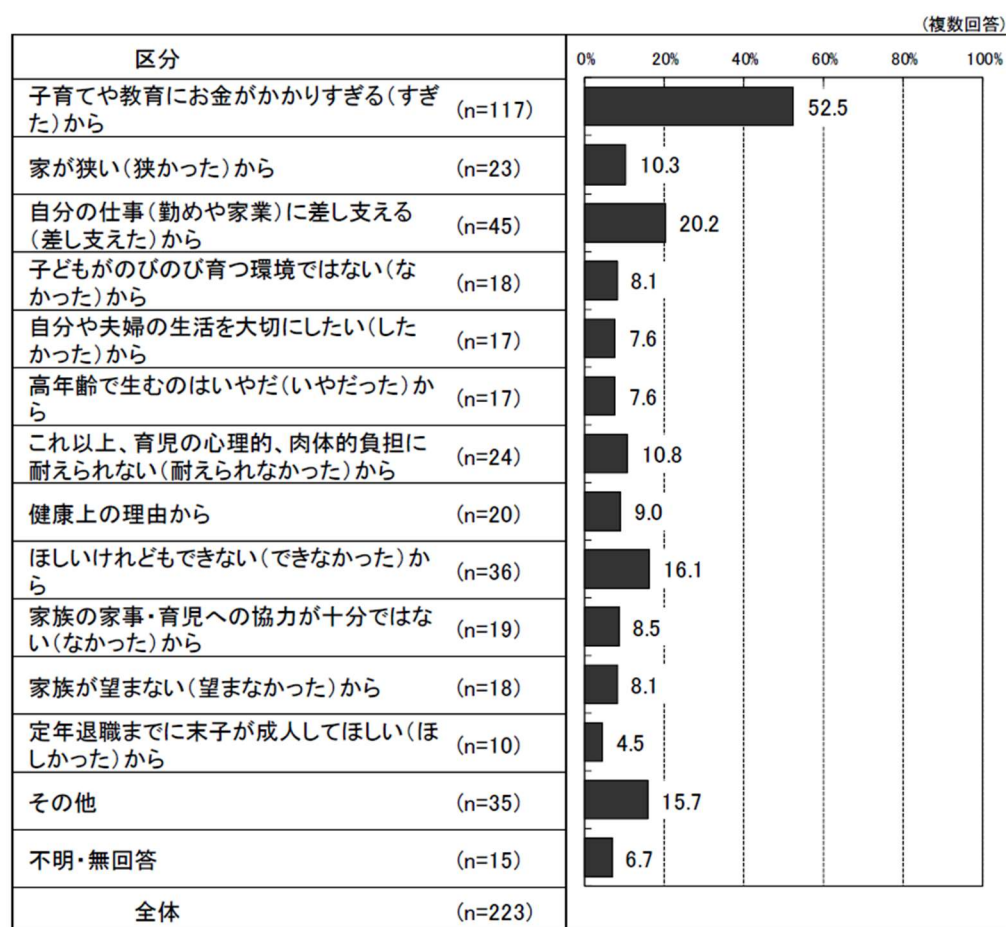
子どもはほしくないため	1
保育園に入れないから	1
亡くなったので	1

■年齢別



■前回調査(令和元年)結果

※令和元年度調査と複数の項目が異なるため、参考として前回結果を掲載しています。

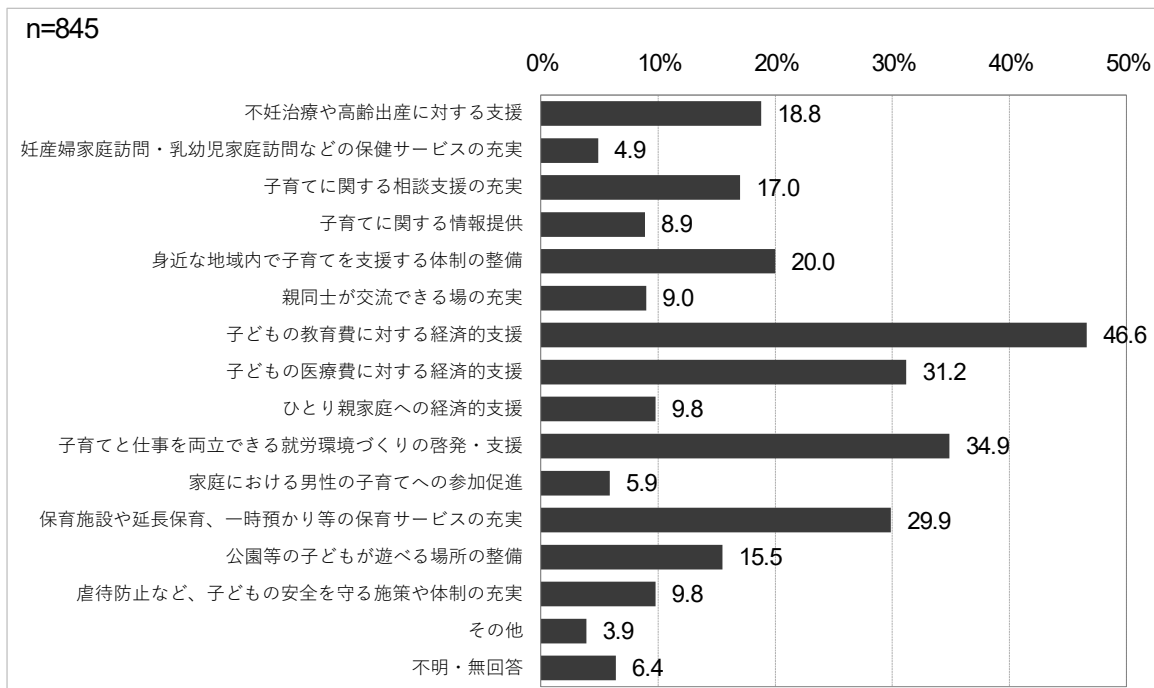


問26 すべての方にうかがいます。

香芝市で子どもを産み育てやすくするためには、子育て支援について、今後さらに何が必要だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に○)

【全体結果】

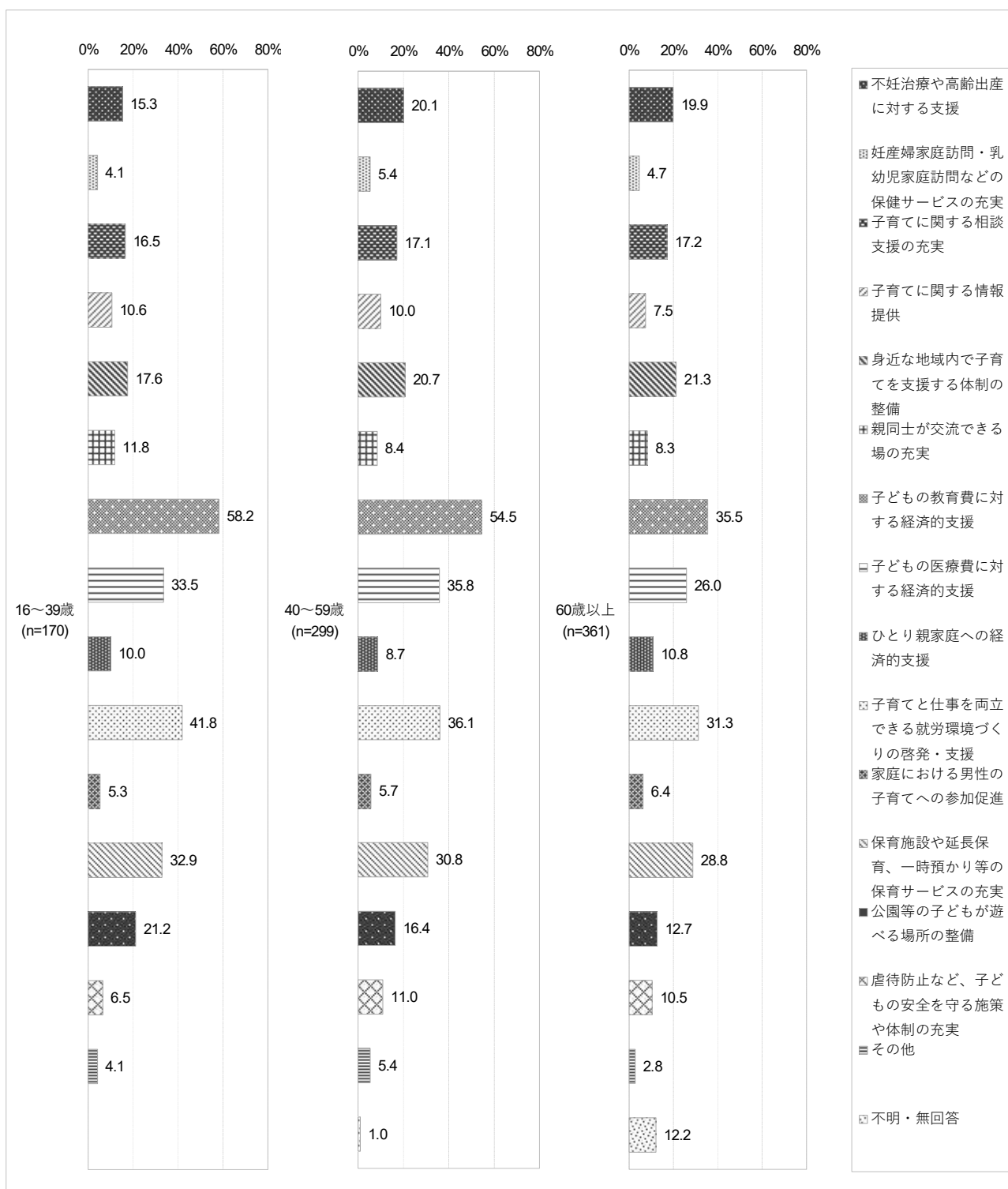
「子どもの教育費に対する経済的支援」が46.6%で最も多く、次いで「子育てと仕事を両立できる就労環境づくりの啓発・支援」が34.9%、「子どもの医療費に対する経済的支援」が31.2%が続いています。
年齢別にみると、どの世代でも、傾向は大きく変わりませんが、「子どもの教育費に対する経済的支援」では、16～59歳の回答割合が、60歳以上を大きく上回っています。



●「15.その他」回答一覧

内容	件数
産婦人科や小児科の充実	3
経済的支援	2
学校統廃合の中止	2
校区の見直し	2
明石市のような子育て支援策	2
公教育の充実	1
学校以外で学べる場の創出	1
学力レベル向上、運動能力の向上	1
高齢者との交流の場所	1
国の支援もあるので香芝市としては他の事業に注力すべき	1
無痛分娩できる産婦人科の充実	1
独身男女の出会いの場	1
小学生でも一時預かりのサービスがほしい(学童まで必要はないが、月に何回か預かってほしい時がある)	1
心身共に健康にすること	1
待機児童を減らす、公立幼稚園を4年保育にする	1
若い者が働く所がない為、市内で住めなく市外へ出ていく	1
Q25の表現から感じる行政仕事感をなくす	1
50年前は何もなかった？	1
わからない	2

■年齢別

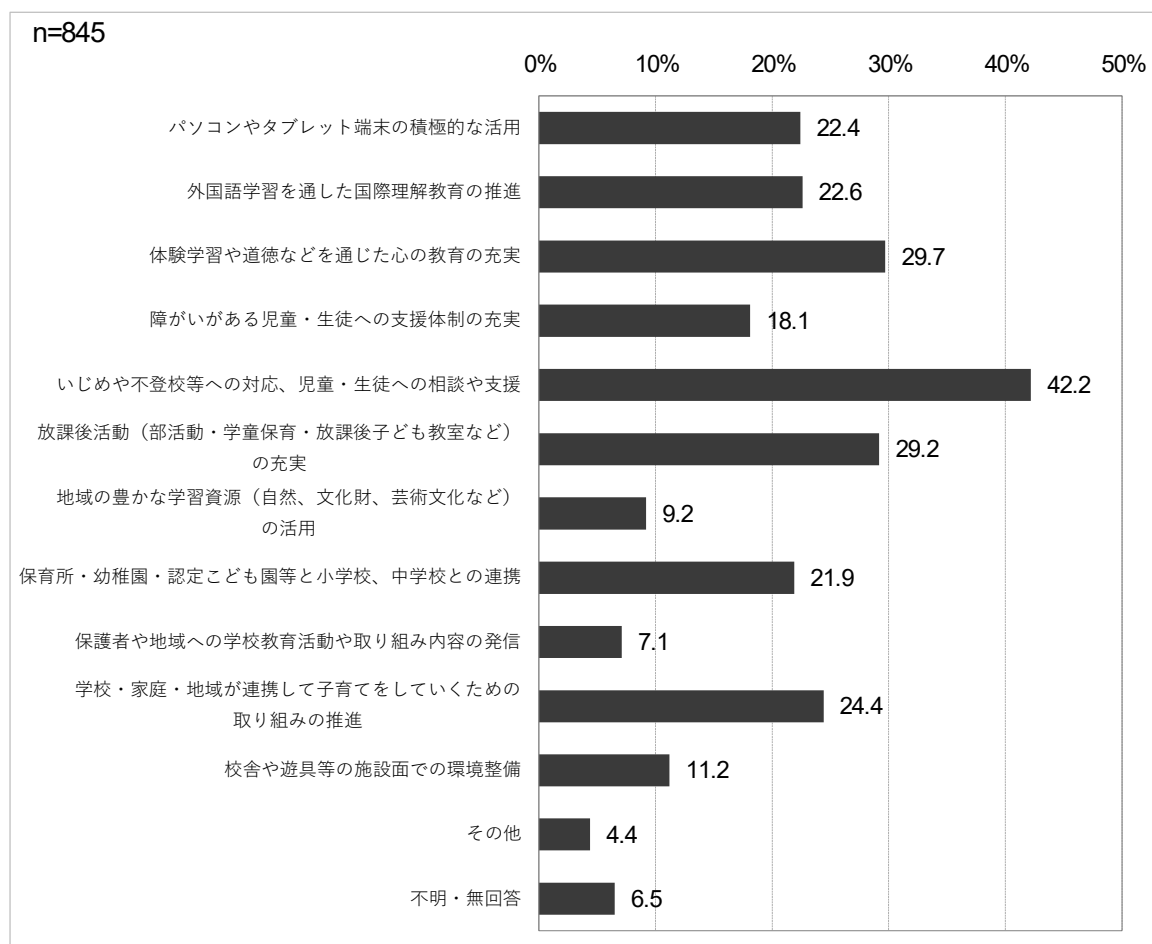


問27 香芝市で子どもを産み育てやすくするためには、学校教育環境について、今後さらに何が必要だと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に○)

【全体結果】

「いじめや不登校等への対応、児童・生徒への相談や支援」が42.2%で最も多く、次いで「体験学習や道徳などを通じた心の教育の充実」が29.7%、「放課後活動(部活動・学童保育・放課後子ども教室など)の充実」が29.2%で続いています。

年齢別にみると、「いじめや不登校等への対応、児童・生徒への相談や支援」では、16～39歳と比べ、40歳以上で回答割合が高くなっています。逆に、「放課後活動(部活動・学童保育・放課後子ども教室など)の充実」、「校舎や遊具等の施設面での環境整備」では、年齢が低いほど、回答割合が高くなっています。

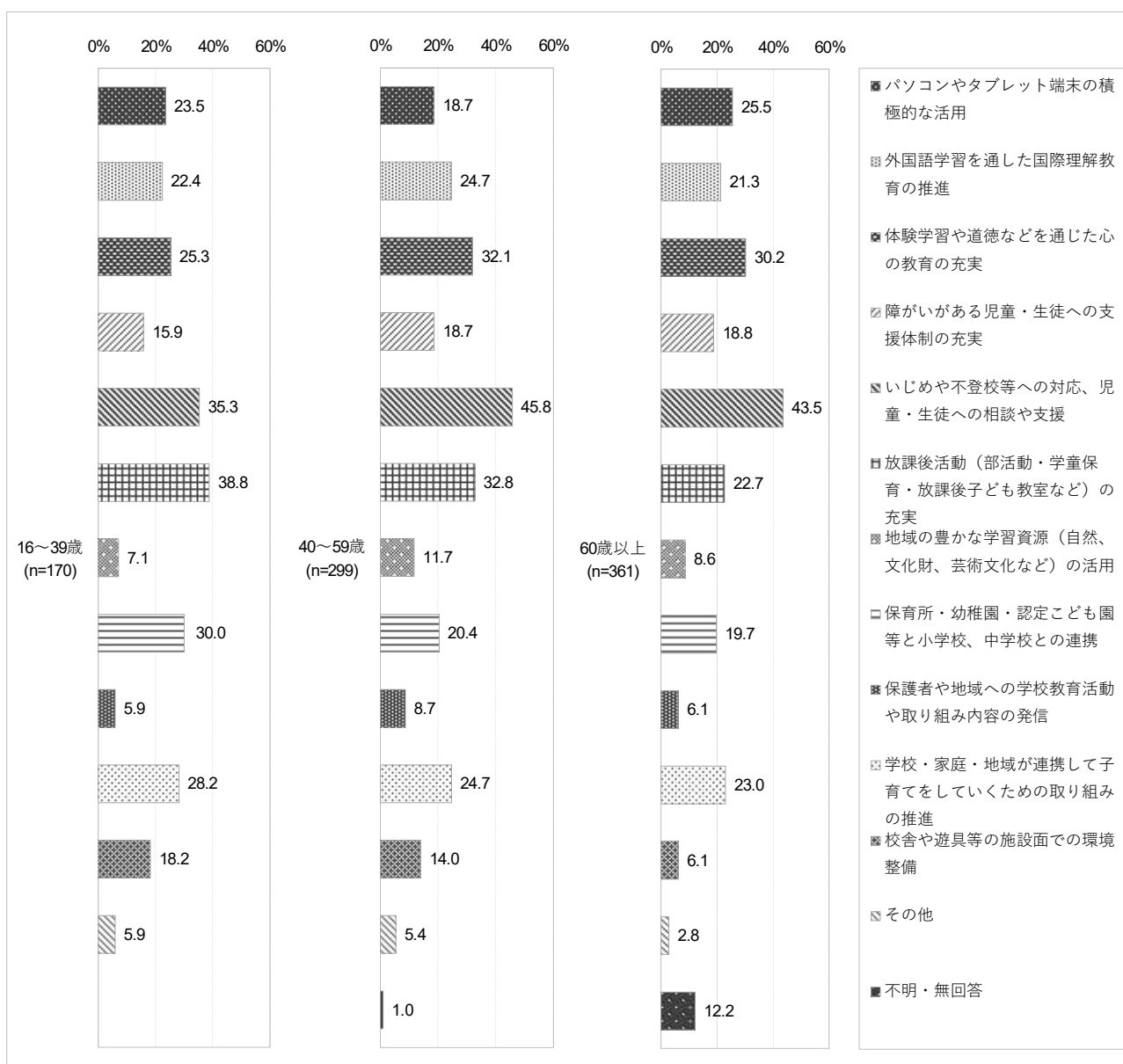


●「12.その他」回答一覧

内容	件数
教師の待遇を改善し、教師のモチベーションを上げる	2
教師の数を増やす	2
通学路の整備	2
学力差がつかないように塾代の補助など経済的支援	2
ひとりひとりを認め合い、とびぬけた力を伸ばせる環境づくり	1
学習成果の発表・発信	1
校区の見直し	1
高校・大学への支援	1
教師の質の向上	1
美術などの副教科の授業日を増やし、子ども達に「自分で作品を制作し、それが他人から評価される楽しさや大切さを学ぶ」機会を増やす	1
芸術鑑賞や職業体験の充実	1

コミュニティの形成	1
授業を中断させたり、暴言を吐く生徒への対応	1
加害児童とその親に対する厳正な対処	1
茶道を取り入れるなど価値観教育	1
学校備品(楽器・スポーツ用具・机など)の整備	1
3つ以上ある	1
わからない	2

■年齢別

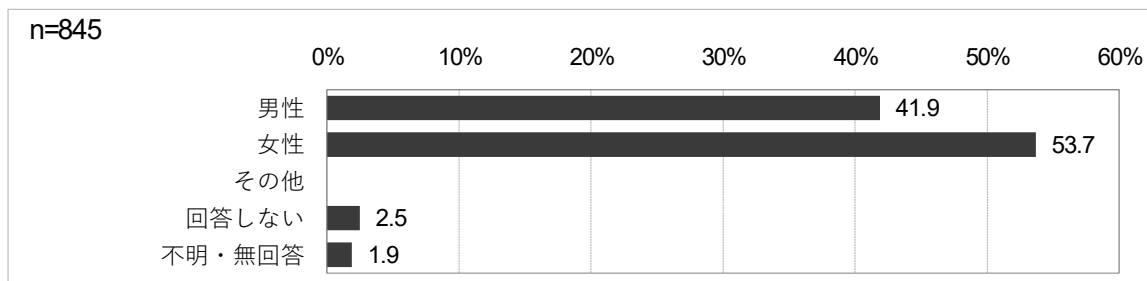


V. あなたご自身のことについて

問28 現在の社会生活上の性別(自分が日常生活を送っている性別)をお答えください。(1つに○)

【全体結果】

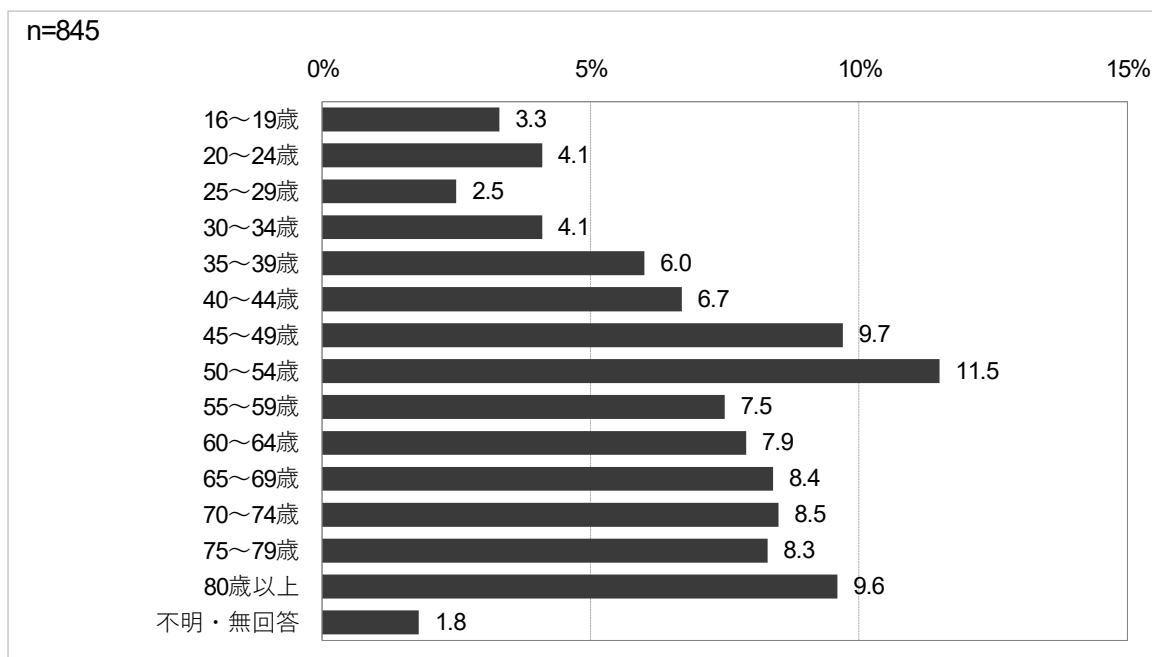
「女性」が53.7%、「男性」が41.9%となっています。



問29 年齢をお答えください。(1つに○)

【全体結果】

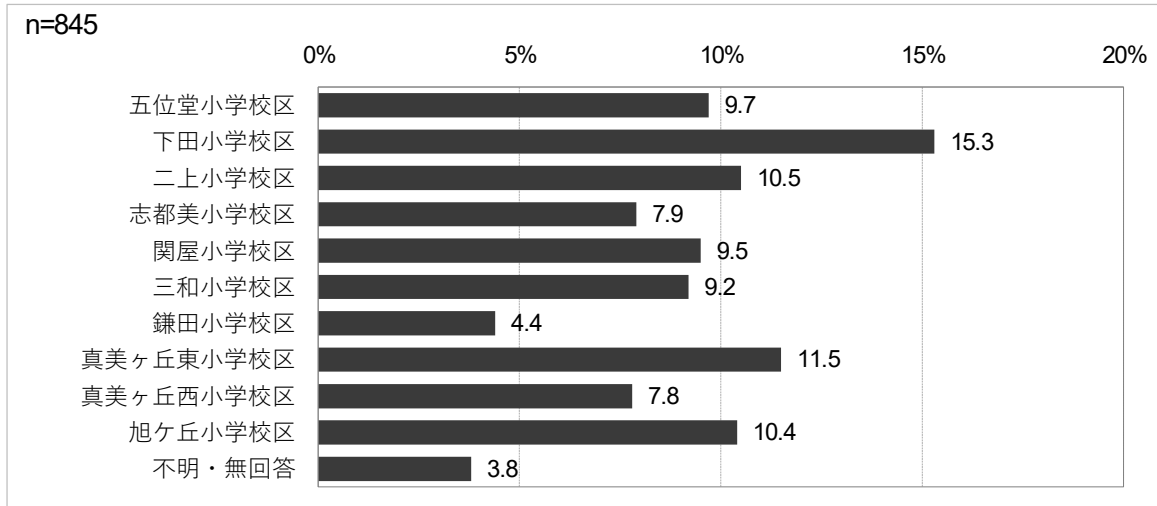
「50～54歳」が11.5%で最も多く、次いで「45～49歳」が9.7%、「80歳以上」が9.6%が続いています。



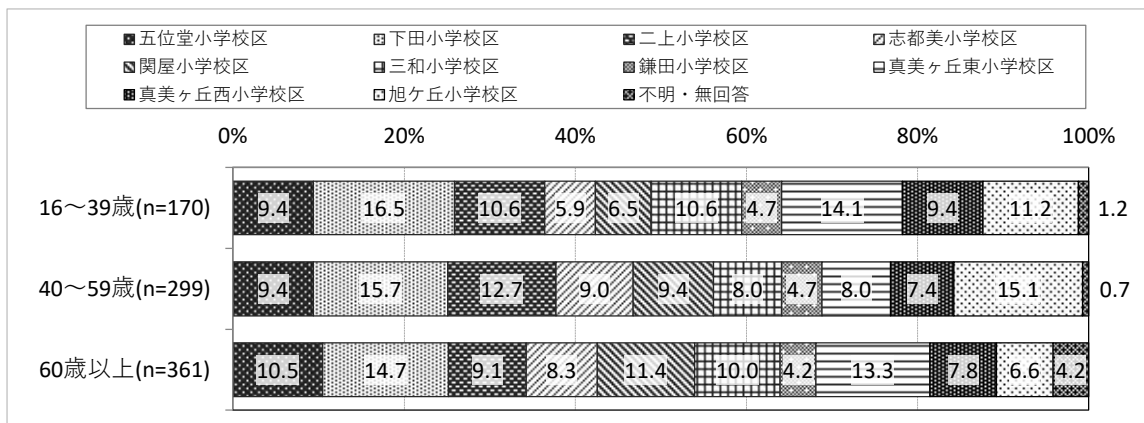
問30 お住まいの小学校区をお答えください。(1つに○)

【全体結果】

「下田小学校区」が15.3%で最も多く、次いで「真美ヶ丘東小学校区」が11.5%、「二上小学校」が10.5%で続いています。



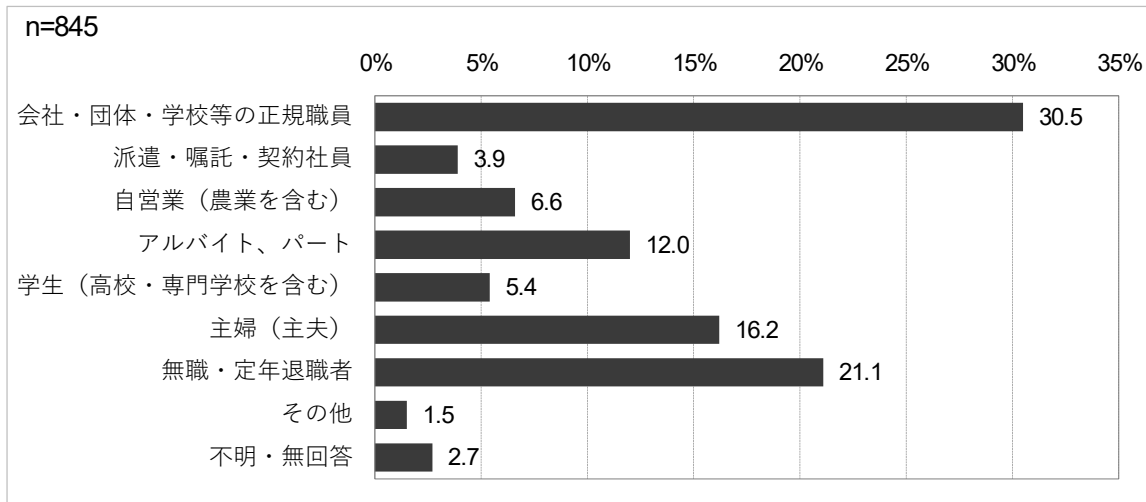
■年齢別



問31 主なお仕事をお答えください。(1つに○)

【全体結果】

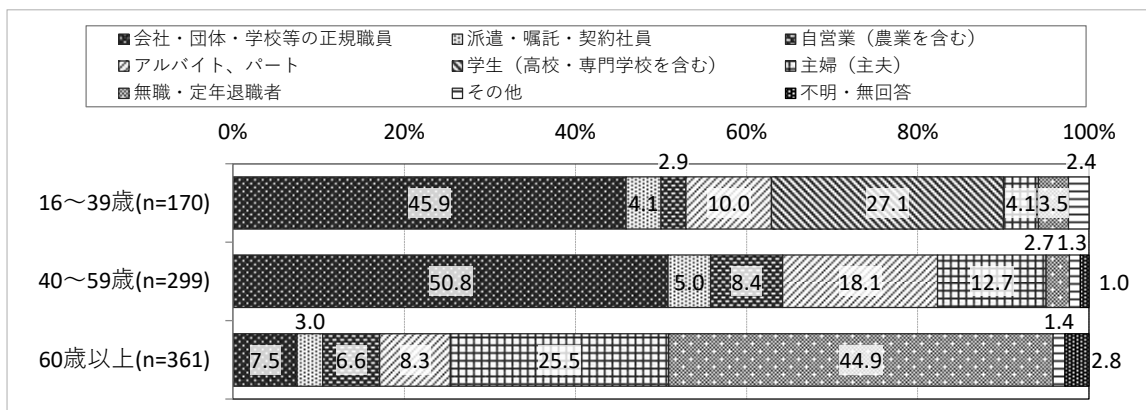
「会社・団体・学校等の正規職員」が30.5%で最も多く、次いで「無職・定年退職者」が21.1%、「主婦(主夫)」が16.2%が続いています。



●「8.その他」回答一覧

内容	件数
フリーランス	1
自由業	1
年金者	1
育休中	1

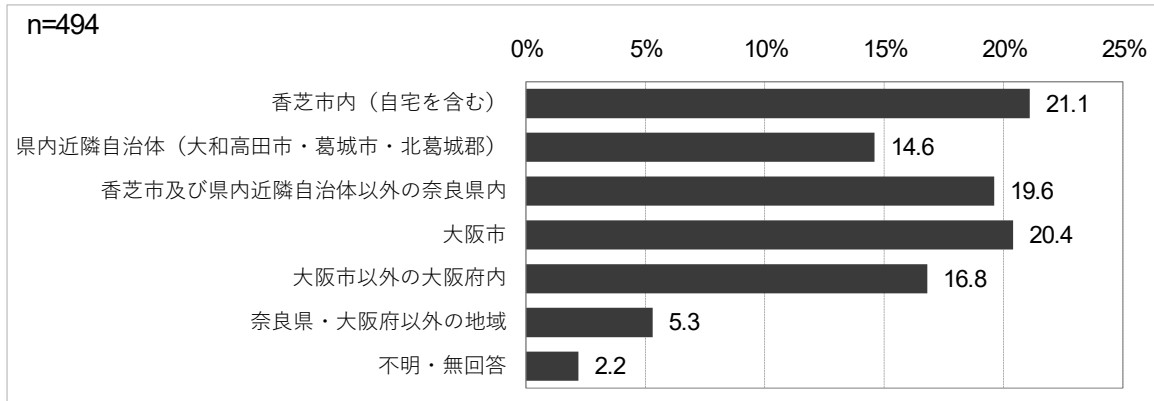
■年齢別



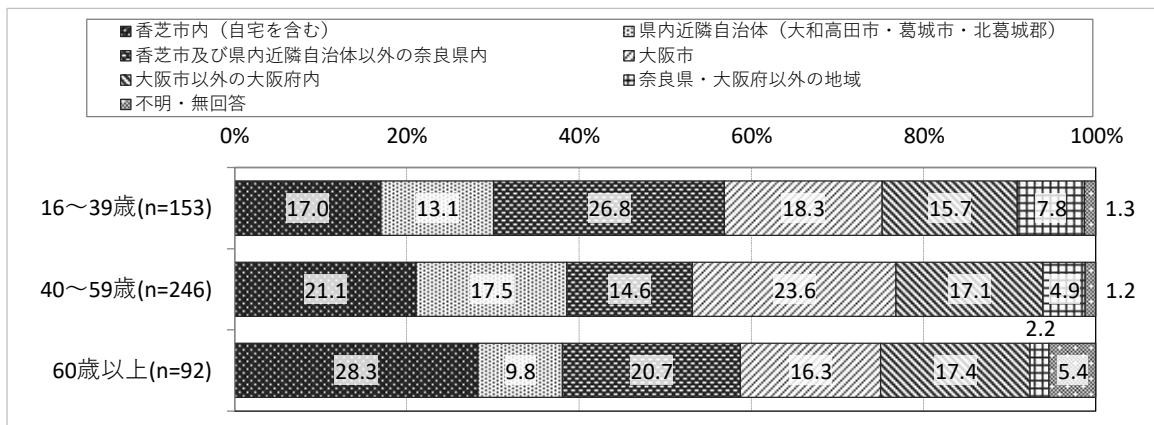
問32 問31で「1.」～「5.」に○をつけた方のみお答えください。
 主な就業先または通学先をお答えください。(1つに○)

【全体結果】

「香芝市内(自宅を含む)」が21.1%で最も多く、次いで「大阪市」が20.4%、「香芝市及び県内近隣自治体以外の奈良県内」が19.6%が続いています。



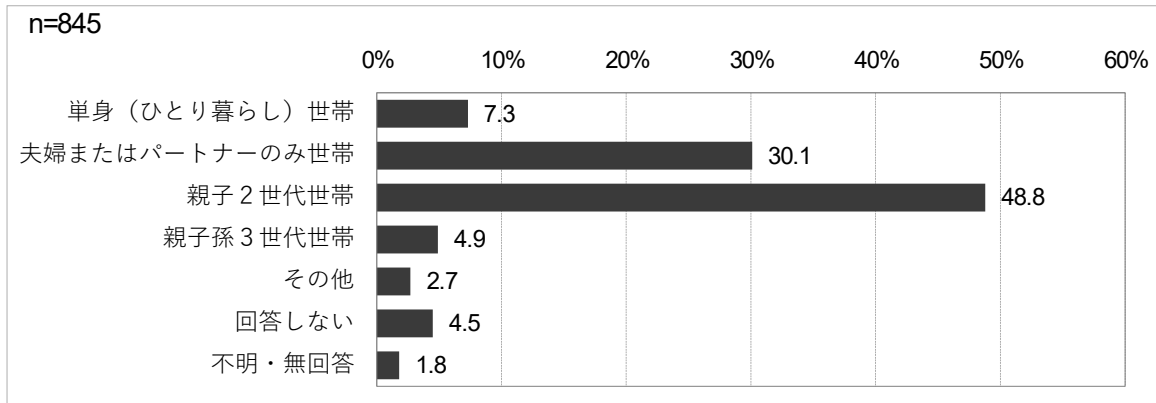
■年齢別



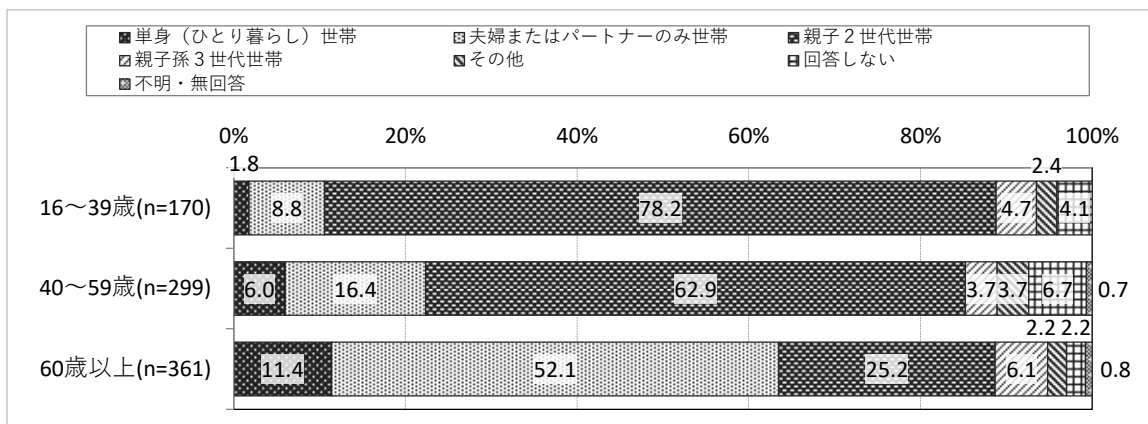
問33 すべての方にうかがいます。
家族構成をお答えください。(1つに○)

【全体結果】

「親子2世代世帯」が48.8%で最も多く、次いで「夫婦またはパートナーのみ世帯」が30.1%が続いています。



■年齢別



VI.「暮らしやすさ」や「幸福感(Well-Being)」について

地域における幸福度・満足度

1 現在、あなたはどの程度幸せですか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

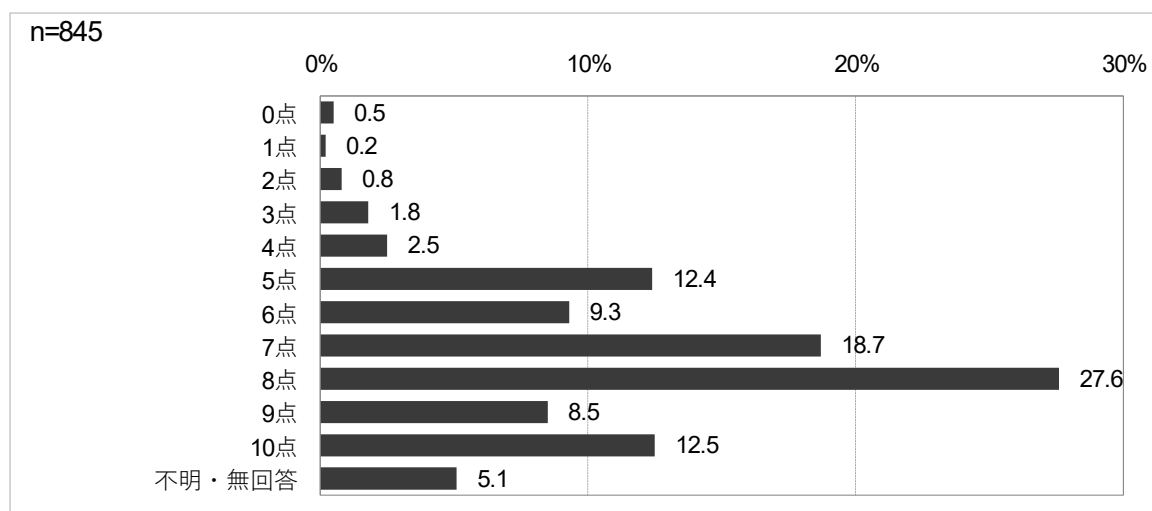
【全体結果】

「8点」が27.6%で最も多く、次いで「7点」が18.7%、「5点」が12.4%が続いています。平均(※)は、7.26点となっています。

年齢別にみると、16～39歳の平均が7.42点と最も高くなっています。

小学校区別にみると、三和小学校区の平均が7.61点で最も高く、鎌田小学校区の平均が6.95点で最も低くなっています。

主な就業先または通学先別にみると、奈良県・大阪府以外の地域の平均が7.42点で最も高く、大阪市の平均が7.02点で最も低くなっています。



※平均は、「不明・無回答」を除いて算出しています。

■年齢別

年齢	平均点
16～39歳 (n=168)	7.42
40～59歳 (n=292)	7.26
60歳以上 (n=334)	7.19

■小学校区別

小学校区	平均点
五位堂小学校区 (n=79)	6.99
下田小学校区 (n=123)	7.16
二上小学校区 (n=85)	7.09
志都美小学校区 (n=64)	7.34
関屋小学校区 (n=77)	7.23
三和小学校区 (n=76)	7.61
鎌田小学校区 (n=37)	6.95
真美ヶ丘東小学校区 (n=94)	7.46
真美ヶ丘西小学校区 (n=63)	7.59
旭ヶ丘小学校区 (n=84)	7.24

■主な就業先または通学先別

主な就業先または通学先	平均点
香芝市内（自宅を含む）（n=102）	7.26
県内近隣自治体（大和高田市・葛城市・北葛城郡）（n=72）	7.39
香芝市及び県内近隣自治体以外の奈良県内（n=96）	7.34
大阪市（n=99）	7.02
大阪市以外の大阪府内（n=81）	7.28
奈良県・大阪府以外の地域（n=26）	7.42

2 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

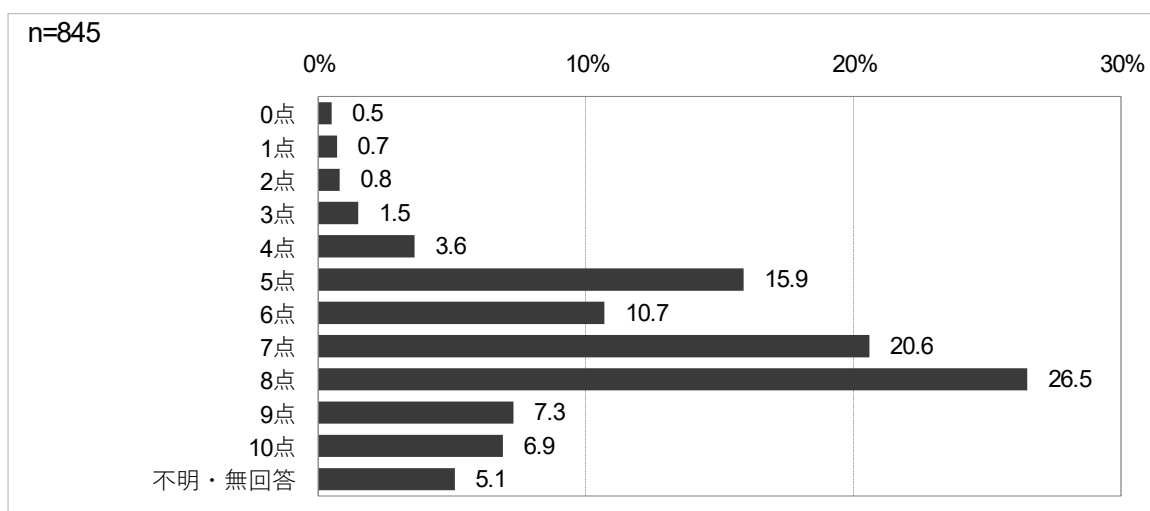
「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

【全体結果】

「8点」が26.5%で最も高く、次いで「7点」が20.6%が続いています。平均(※)は、6.90点となっています。年齢別にみると、40～59歳の平均が6.76点で最も低くなっています。

小学校区別にみると、真美ヶ丘東小学校区の平均が7.63点で最も高く、関屋小学校区の平均が6.30点で最も低くなっています。

主な就業先または通学先別にみると、奈良県・大阪府以外の地域の平均が7.15点で最も高く、大阪市の平均が6.52点で最も低くなっています。



※平均は、「不明・無回答」を除いて算出しています。

■年齢別

年齢	平均点
16～39歳 (n=168)	7.02
40～59歳 (n=293)	6.76
60歳以上 (n=333)	7.01

■小学校区別

小学校区	平均点
五位堂小学校区 (n=79)	6.72
下田小学校区 (n=124)	6.90
二上小学校区 (n=85)	6.71
志都美小学校区 (n=65)	6.66
関屋小学校区 (n=76)	6.30
三和小学校区 (n=76)	7.12
鎌田小学校区 (n=36)	6.92
真美ヶ丘東小学校区 (n=94)	7.63
真美ヶ丘西小学校区 (n=63)	7.30
旭ヶ丘小学校区 (n=84)	6.77

■主な就業先または通学先別

主な就業先または通学先	平均点
香芝市内（自宅を含む） (n=102)	6.93
県内近隣自治体（大和高田市・葛城市・北葛城郡） (n=72)	6.85
香芝市及び県内近隣自治体以外の奈良県内 (n=96)	6.78
大阪市 (n=100)	6.52
大阪市以外の大阪府内 (n=82)	6.95
奈良県・大阪府以外の地域 (n=26)	7.15

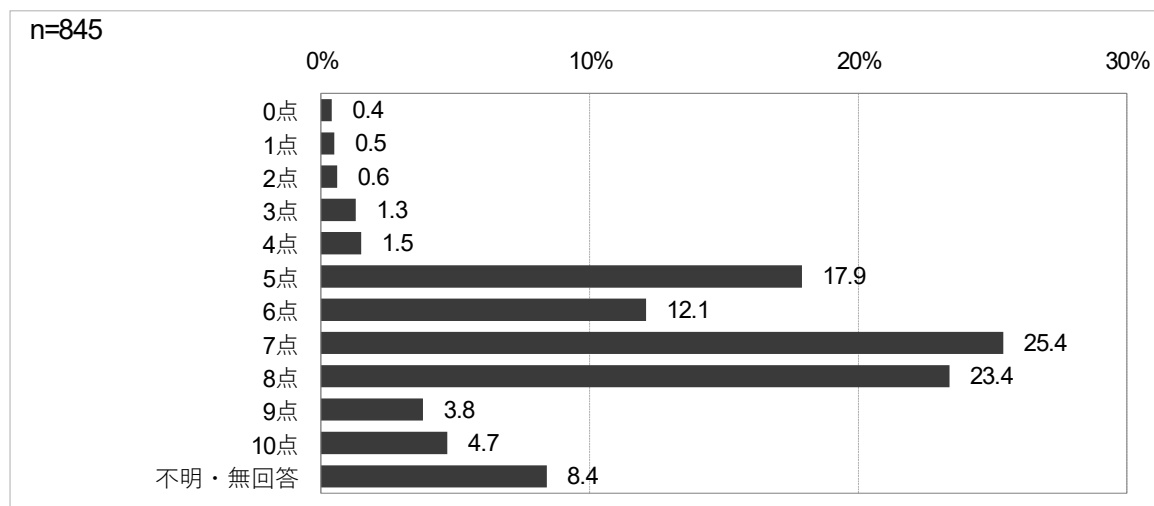
3 あなたの町内(集落)の人々は、大体において、どれぐらい幸せだと思いますか。
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字を1つだけお答えください。
(ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。)

【全体結果】

「7点」が25.4%で最も多く、次いで「8点」が23.4%が続いています。平均(※)は、6.77点となっています。
年齢別にみると、60歳以上の平均が6.84点となっています。

小学校区別にみると、真美ヶ丘西、真美ヶ丘東小学校区の平均が7.00点で、ともに最も高く、関屋小学校区の平均が6.36点で最も低くなっています。

就業先または通学先別にみると、奈良県・大阪府以外の地域の平均が6.88点で最も高く、大阪市の平均が6.53点で最も低くなっています。



※平均は、「不明・無回答」を除いて算出しています。

■年齢別

年齢	平均点
16～39歳 (n=166)	6.79
40～59歳 (n=282)	6.72
60歳以上 (n=319)	6.84

■小学校区別

小学校区	平均点
五位堂小学校区 (n=77)	6.44
下田小学校区 (n=118)	6.81
二上小学校区 (n=83)	6.96
志都美小学校区 (n=62)	6.98
関屋小学校区 (n=73)	6.36
三和小学校区 (n=75)	6.77
鎌田小学校区 (n=37)	6.78
真美ヶ丘東小学校区 (n=88)	7.00
真美ヶ丘西小学校区 (n=63)	7.00
旭ヶ丘小学校区 (n=81)	6.72

■主な就業先または通学先別

主な就業先または通学先	平均点
香芝市内（自宅を含む）（n=99）	6.80
県内近隣自治体（大和高田市・葛城市・北葛城郡）（n=69）	6.81
香芝市及び県内近隣自治体以外の奈良県内（n=94）	6.66
大阪市（n=95）	6.53
大阪市以外の大阪府内（n=79）	6.80
奈良県・大阪府以外の地域（n=25）	6.88

4 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う。

以下に当てはめて、いずれかの数字を1つだけお答えください。

非常にあてはまる＝5 ある程度あてはまる＝4 どちらとも言えない＝3

あまりあてはまらない＝2 全くあてはまらない＝1

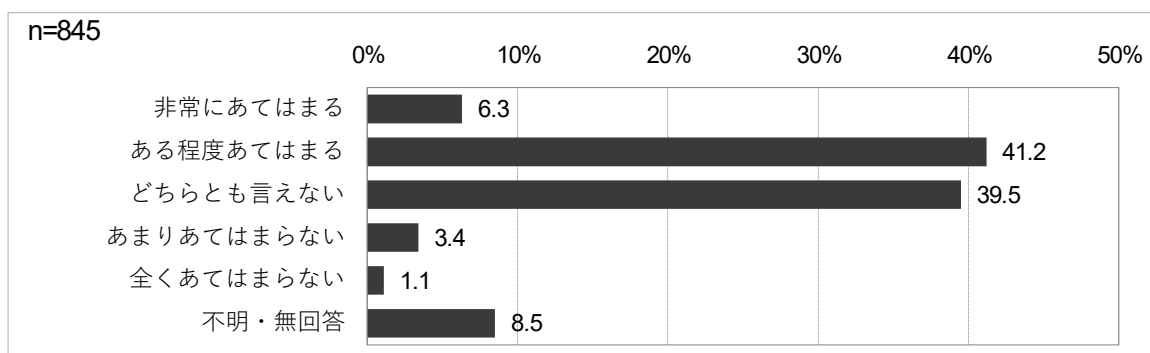
【全体結果】

「ある程度あてはまる」が41.2点で最も高く、次いで「どちらとも言えない」が39.5%で続いています。平均（※）は、3.53点となっています。

年齢別にみると、16～39歳の平均が3.69点で最も高くなっています。

小学校区別にみると、真美ヶ丘東小学校区の平均が3.64点で最も高く、鎌田小学校区の平均が3.24点で最も低くなっています。

主な就業先または通学先別にみると、香芝市内（自宅を含む）の平均が3.65点で最も高く、奈良県・大阪府以外の地域の平均が3.40点で最も低くなっています。



※平均は、「不明・無回答」を除いて算出しています。

■年齢別

年齢	平均点
16～39歳（n=164）	3.62
40～59歳（n=279）	3.49
60歳以上（n=323）	3.52

■小学校区別

小学校区	平均点
五位堂小学校区（n=76）	3.54
下田小学校区（n=118）	3.52
二上小学校区（n=84）	3.55
志都美小学校区（n=62）	3.56
関屋小学校区（n=73）	3.40
三和小学校区（n=76）	3.49
鎌田小学校区（n=37）	3.24
真美ヶ丘東小学校区（n=89）	3.64
真美ヶ丘西小学校区（n=62）	3.63
旭ヶ丘小学校区（n=78）	3.59

■主な就業先または通学先別

主な就業先または通学先	平均点
香芝市内（自宅を含む）（n=99）	3.65
県内近隣自治体（大和高田市・葛城市・北葛城郡）（n=71）	3.46
香芝市及び県内近隣自治体以外の奈良県内（n=93）	3.46
大阪市（n=95）	3.46
大阪市以外の大阪府内（n=80）	3.53
奈良県・大阪府以外の地域（n=25）	3.40

5 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。

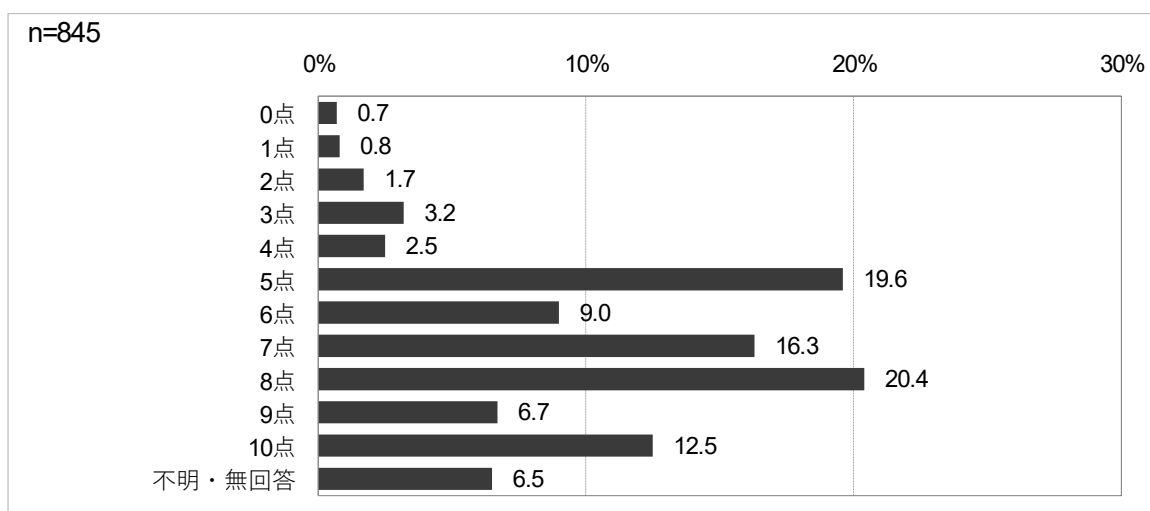
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

【全体結果】

「8点」が20.4%で最も高く、次いで「5点」が19.6%が続いています。平均(※)は、6.84点となっています。年齢別にみると、16～39歳の平均が7.17点で最も高くなっています。

小学校区別にみると、真美ヶ丘西小学校区の平均が7.33点で最も高く、関屋小学校区の平均が6.26点で最も低くなっています。

主な就業先または通学先別にみると、奈良県・大阪府以外の地域の平均が7.54点で最も高く、大阪市の平均が6.70点で最も低くなっています。



■年齢別

年齢	平均点
16～39歳 (n=168)	7.17
40～59歳 (n=290)	6.89
60歳以上 (n=326)	6.60

■小学校区別

小学校区	平均点
五位堂小学校区 (n=77)	6.71
下田小学校区 (n=121)	6.65
二上小学校区 (n=84)	6.89
志都美小学校区 (n=63)	6.76
関屋小学校区 (n=76)	6.26
三和小学校区 (n=75)	7.32
鎌田小学校区 (n=37)	6.38
真美ヶ丘東小学校区 (n=91)	7.04
真美ヶ丘西小学校区 (n=63)	7.33
旭ヶ丘小学校区 (n=84)	6.88

■主な就業先または通学先別

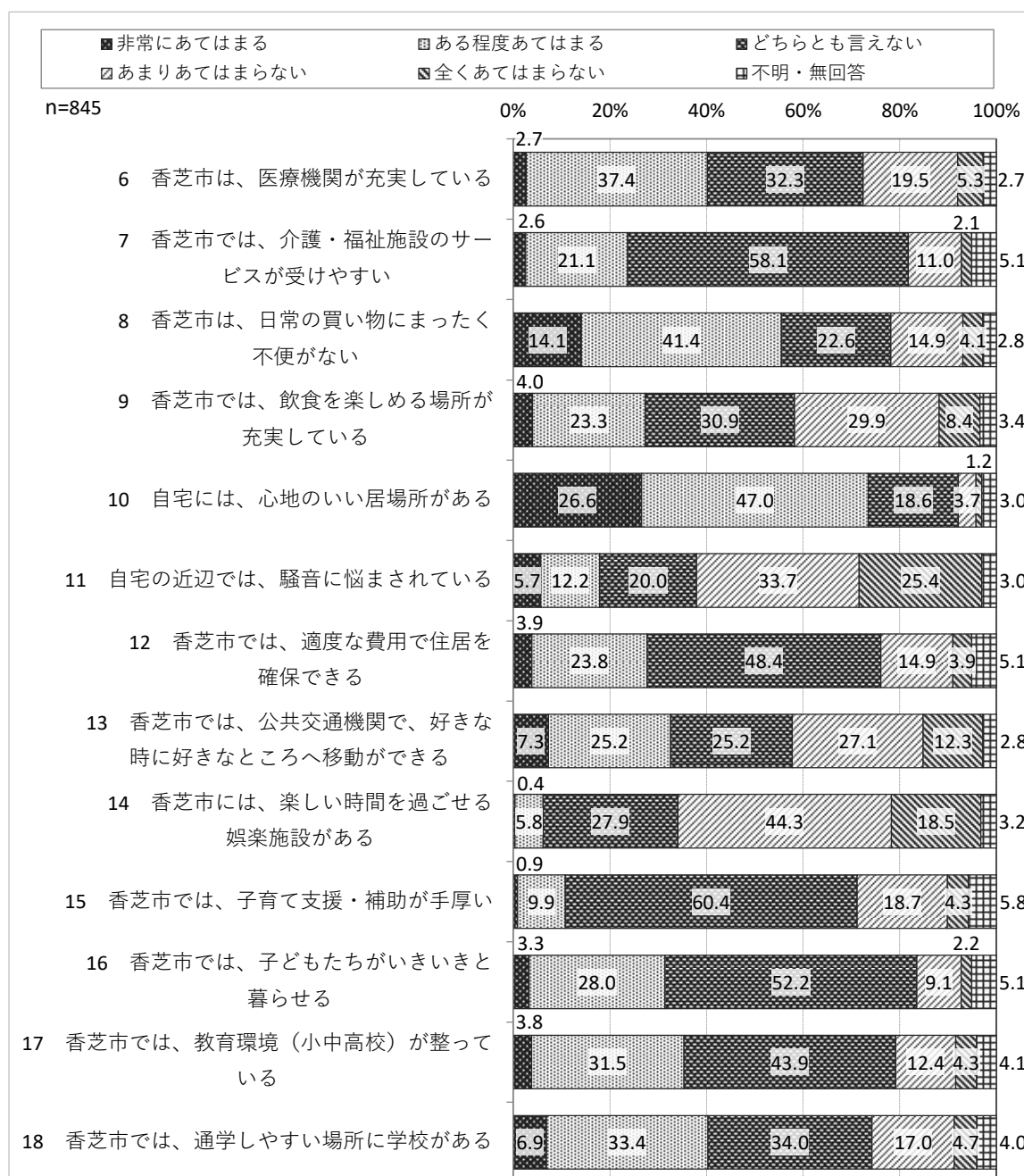
主な就業先または通学先	平均点
香芝市内（自宅を含む） (n=100)	6.93
県内近隣自治体（大和高田市・葛城市・北葛城郡） (n=71)	6.97
香芝市及び県内近隣自治体以外の奈良県内 (n=96)	6.77
大阪市 (n=99)	6.70
大阪市以外の大阪府内 (n=80)	7.08
奈良県・大阪府以外の地域 (n=26)	7.54

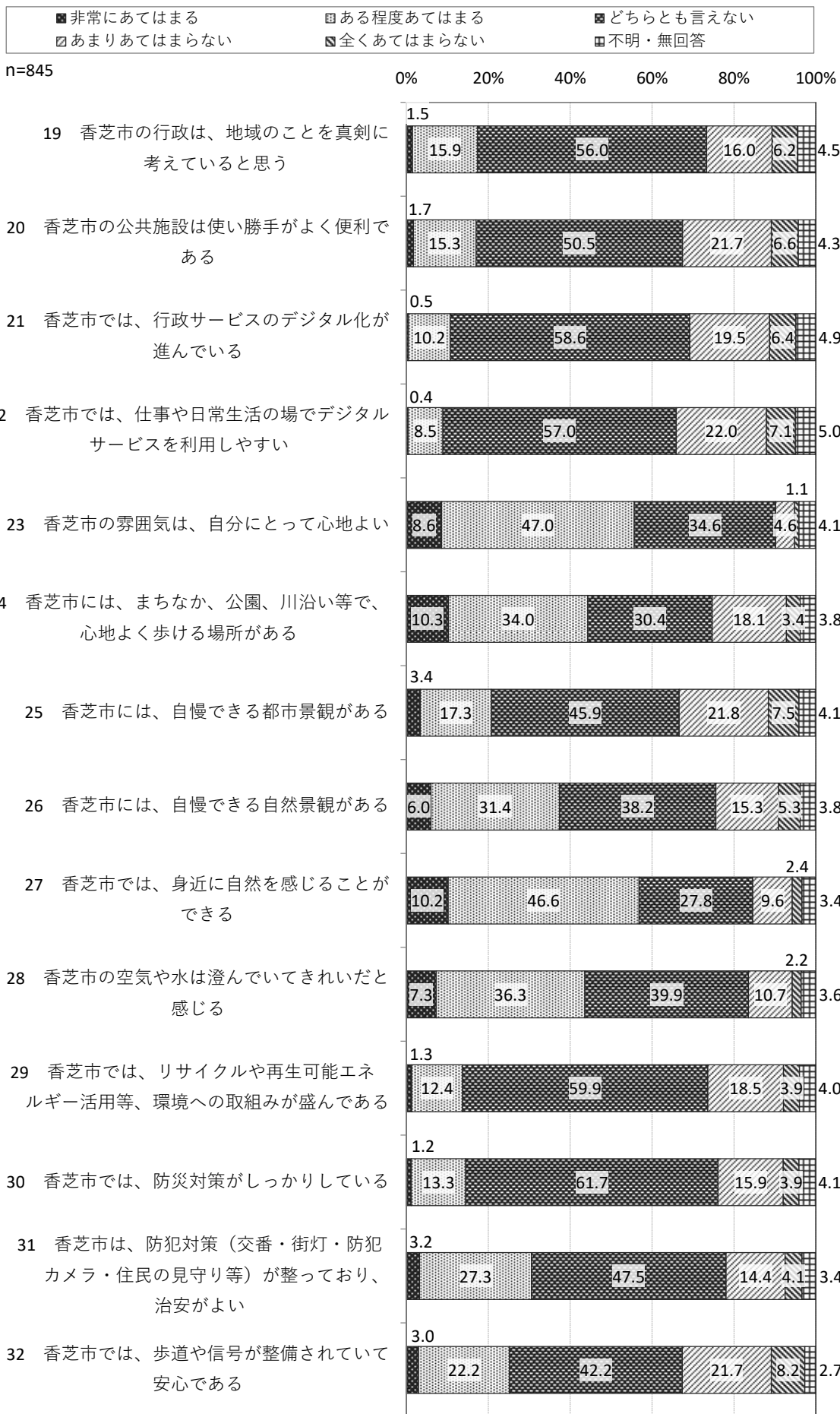
以下の質問について、該当すると思うものを5～1の中から選び、それぞれ1つに○をつけてください。

◆生活環境

【全体結果】

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」の合計では、「自宅には、心地のいい居場所がある」が73.6%で最も多く、次いで「香芝市は、日常の買い物にまったく不便がない」が58.5%、「香芝市では、身近に自然を感じることができる」が56.8%、「香芝市の雰囲気は、自分にとって心地よい」が55.6%で続いています。一方で、「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計では、「香芝市には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」が62.8%で最も多く、次いで「自宅の近辺では、騒音に悩まされている」が59.1%で、「香芝市では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」が39.4%で、「香芝市では、飲食を楽しめる場所が充実している」が38.2%で続いています。



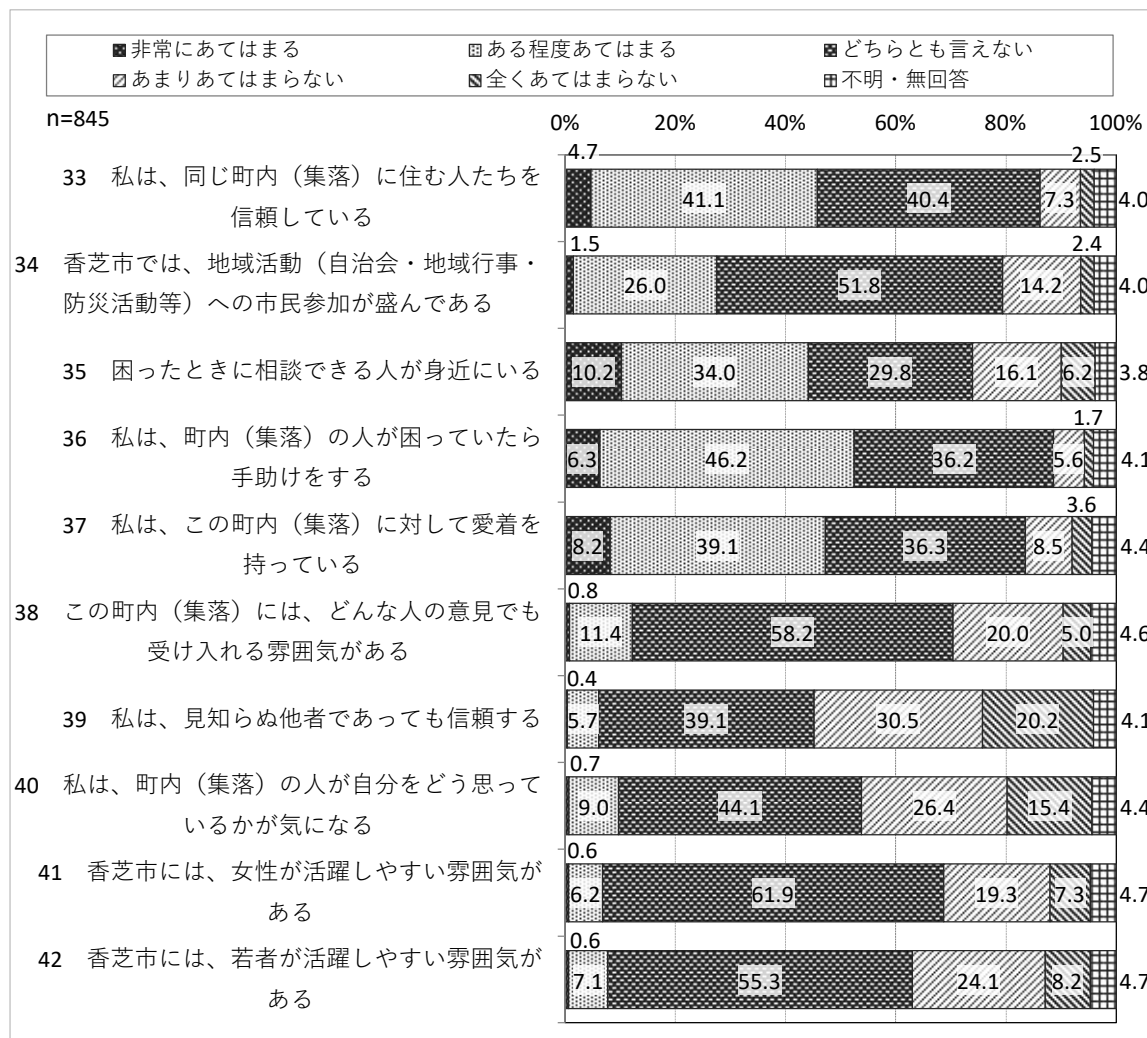


◆身の回りの人間関係

【全体結果】

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」の合計では、「私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」が52.5%で最も多く、次いで「私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している」が45.8%で続いています。

一方で、「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計では、「私は、見知らぬ他者であっても信頼する」が50.7%で最も多く、次いで「私は、町内(集落)の人が自分をどう思っているかが気になる」が41.8%で続いています。



◆自分らしい生き方

【全体結果】

「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」の合計では、「将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」が69.8%で最も多く、次いで「私は、精神的に健康な状態である」が57.9%が続いています。一方で、「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計では、「香芝市では、適切な収入を得るための機会がある」が45.2%で最も多く、次いで「香芝市では、やりたい仕事を見つけやすい」が44.7%が続いています。

